

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 合同調査

第6回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
2013年
報告書

雇用形態の変容と労働観の変化。無業者増加問題をはじめ、若者への職業観育成指導は今、日本が取り組むべき大きな課題となっています。

行政、学校教育はむろんですが、若者にとって最も身近な大人である「保護者」ができることはなんでしょうか。

進路に関する保護者と子のコミュニケーションのあり方と、大人ができる高校生のよりよい進路選択へのサポートを探りたい。一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートマーケティングパートナーズは全国の高校生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と様々な進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してまいりました。その6回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 相川順子
進路対策委員長 鈴木敏彦

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
進学事業本部長 田中浩嗣

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせ▼
㈱リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研

<http://souken.shingakunet.com/>

※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』No.50(リクルート)にも掲載しています。

※ 出版・印刷物等へデータ転載する際には、“一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルートマーケティングパートナーズ調べ”と付記していただきますようお願い申し上げます。

調査結果トピックス

I 親子コミュニケーションの実態

■進路について親子で「話す」割合は、高校生は78%、保護者は89%。保護者は話しているとの認識が高校生よりも高い。高校生は「話す」割合が2011年より増加。

- ・高校2年生の時点で、卒業後の進路について保護者との対話頻度は「よく話をする」高校生は16%、「話す・計」で78%。一方、子どもと「よく話をする」保護者は22%、「話す・計」で89%。高校生よりも保護者のほうが「話している」認識が高い。過去調査との比較では、高校生は2011年調査より「話す・計」の割合がやや増加した。【5ページ】

■保護者からの進路選択のアドバイスを、高校生の66%が「してほしい」。一方、保護者のアドバイス「している」は79%。高校生は前回(2011年)よりアドバイス「してほしい」割合が増加。

- ・進路選択について保護者からアドバイスしてほしいかという質問に「たくさんアドバイスしてほしい」高校生は10%、「してほしい・計」で66%。一方、子どもへの相談・アドバイスを「よくしている」保護者は24%、「している・計」で79%。過去調査と比較すると、高校生の「してほしい・計」は2011年調査より増加。【12ページ】

II 進学すること・働くことに関する考え

■高校生・保護者とも「やりたいことができる」「個性や能力を生かせる」学校に進学したい・進学してほしい。

- ・進学を希望する高校生・保護者の進学の価値観は、前回調査同様に「やりたいことができる学校」「個性や能力を生かせる学校」が約9割に達し、上位。ついで「社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校」「就職率が高い学校」と、高校生・保護者とも、進学先を卒業した後の進路・就職への意識も高い。【20～21ページ】

■希望する職業は高校生・保護者とも「公務員」が突出。社会に貢献できて、雇用が安定していることから人気。

- ・高校生が就きたい職業、保護者が子どもに将来就いてほしい職業どちらも「公務員」がトップ。続いて「教師」「看護師」など、安定した雇用があり資格取得でどこに行っても働ける職業に人気が集まった。【22～24ページ】

III 進路にまつわる期待と不安

■進路を考えると、高校生の7割が「不安」。進路について保護者と話す高校生は比較的「楽しい」の割合が高く、進路を前向きに捉えている。

- ・高校生の進路を考えるとときの気持ちは「不安な気持ち」「どちらかという不安」あわせて70%が不安を感じている。一方、「楽しい・計」は25%。
- ・進路対話頻度別にみると、話をする層のほうが話をしない層に比べ「楽しい・計」の割合が高く、進路を考えることに前向きな姿勢がみられる。【27ページ】

■未来社会について、高校生・保護者とも2009年以降「好ましい」認識が増加。

- ・これからの社会について「非常に好ましくない」「あまり好ましい社会ではない」と感じている高校生は55%、保護者は61%と過半数だが、過去調査と比較すると2009年から「好ましくない」は減少し、「好ましい」が増加している。
- ・「好ましい」と思う理由について、高校生では「アベノミクス」「東京オリンピック開催」を受けて、これからの社会を楽観的に捉えているコメントが多くみられた。【32～33ページ】

IV 家庭教育と自立意識

■「なぜ学び・なぜ働くのか」についての話し合いは「ある」が前回調査から増加。保護者からは自身の経験を踏まえ「勉強しておいたほうが良い」というアドバイスも。

- ・「なぜ学ぶのか」話し合った経験について高校生の24%、保護者の56%が「ある」と回答。それぞれ2011年より割合が増加。「なぜ働くのか」話し合った経験は高校生の18%、保護者の48%が「ある」。どちらのテーマも前回調査から「ある」の割合が増加。【38～39ページ】

V 保護者の動きと学校への要望

■進学先についての情報収集を「行った」保護者が過去調査より増加傾向。進学情報の入手先ではインターネット経由の情報収集が増加している。

- ・子どもの進路選択行動への関与について保護者が「行ったことがある」行動は、「子どもに合う分野をアドバイスする」など『アドバイス』が多いが、「入試方法」「資料請求」「見学」などの『調べる』行動を「行ったことがある」は過去調査より増加傾向。【47ページ】
- ・進学情報の入手先では「学校のホームページ」などのインターネット経由した手段が過去調査から増加している。また、「説明会・オープンキャンパス」への参加も増加傾向。【44ページ】

VI グローバル化社会における高校生と保護者の意識

■将来へのグローバル化の影響は高校生・保護者ともに約半数が「ある」と回答。

■グローバル社会で通用する人材になりたいと考える高校生は54%。保護者は「どちらでもよい」が49%と多数派だが、「子ども自身が考えること」との意見もみられる。

- ・自分の将来に社会・経済のグローバル化の影響があると思う高校生は50%。一方、子どもの将来にグローバル化の影響があると思う保護者は48%。【54ページ】
- ・グローバル社会で通用する人材に「なりたい」と考える高校生は54%(なりたい・計)。一方、子どもに「なってほしい」と考える保護者は39%(なってほしい・計)で、「どちらでもよい」(49%)のほうが多数派となった。【55～56ページ】

コンテンツ

| | |
|----------------------------------|----|
| 調査概要・回答者プロフィール | 4 |
| I 親子コミュニケーションの実態 | |
| 1. 進路について話す頻度 | 5 |
| 2. 進路について話す内容 | 6 |
| 3. 進路について話さない理由 | 7 |
| 4. 保護者がよく使う言葉 | 8 |
| 5. 希望進路・進路の悩みの共有度 | 10 |
| 6. 保護者からのアドバイス | 12 |
| 7. 進路選択についての相談相手 | 13 |
| 8. 進路選択について影響を受ける人物 | 14 |
| 9. 進路選択について保護者が取る態度 | 16 |
| 10. 保護者の行動・態度 | 17 |
| 11. 保護者にしてほしい行動・態度 | 18 |
| 12. 保護者にやめてほしい行動・態度 | 19 |
| II 進学すること・働くことに関する考え | |
| 13. 進学についての価値観 | 20 |
| 14. 将来就きたい・就かせたい職業 | 22 |
| 15. 目指している・あこがれている人 | 25 |
| III 進路にまつわる期待と不安 | |
| 16. 進路選択の意識と将来への自信 | 26 |
| 17. 進路を考える時の気持ち | 27 |
| 18. 進路選択についての気がかり | 28 |
| 19. 将来働くことについての気がかり | 29 |
| 20. 未来社会への認識 | 32 |
| 21. 保護者がアドバイスすることの困難 | 34 |
| IV 家庭教育と自立意識 | |
| 22. 家庭教育の実施状況 | 36 |
| 23. なぜ学び・働くのかについての話し合い | 38 |
| 24. 保護者の仕事についての会話 | 40 |
| 25. 自立についての認識 | 41 |
| V 保護者の動きと学校への要望 | |
| 26. 進学情報の必要性・入手方法 | 43 |
| 27. 進学先検討の重視点 | 45 |
| 28. 保護者の進路選択行動 | 47 |
| 29. 家庭と学校の役割に関する認識 | 50 |
| 30. 進路指導への要望 | 51 |
| 31. キャリア教育の認知と期待 | 53 |
| VI グローバル化社会における高校生と保護者の意識 | |
| 32. 将来の進路に対するグローバル化社会の影響 | 54 |
| 33. グローバル社会で通用する人材になりたい(なってほしい)か | 55 |
| 34. グローバル社会で通用する人材になるために必要な力 | 57 |
| 35. 子どもを留学させたいか／その理由 | 59 |
| 36. 学生時代に積みたい海外経験／その理由 | 61 |

調査概要・回答者プロフィール

▶ 調査概要

- 調査実施者 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 / 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
- 調査対象 全国の高校2年生とその保護者
全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高等学校27校
2年生2クラス分の高校生と保護者
- 調査期間 2013年9月24日～10月31日
- 調査方法 学校を通じた質問紙による自記式調査
①高校生：ホームルームにてアンケートに回答
②保護者：高校生から保護者へアンケートを手渡し
③学級担任が高校生と保護者分を取りまとめ、その後学校責任者が学校分として返送
- 有効回答数 高校生2,043人 ※全問無回答1人を除く
保護者1,696人 ※全問無回答8人を除く

▶ 回答者プロフィール

【高校生】

- 性別 男子45.9% 女子52.6% (無回答1.6%)
- 所属学科 普通科68.1% 専門学科26.8% 総合学科5.0%
- 地域分布 北海道10.5% 岩手県10.5% 富山県11.2% 東京都11.0% 神奈川県11.0%
静岡県11.7% 滋賀県12.3% 香川県10.7% 佐賀県11.0%
- 高校卒業後の希望進路
大学進学59.4% 短大進学 3.6% 専門学校進学15.9% 海外の大学等への進学0.4%
就職18.2% パート・アルバイト0.3% その他1.9% (無回答0.2%)

【保護者】

- 続柄 父親11.4% 母親86.0% その他0.6% (無回答2.0%)
- 子どもの性別 男子43.9% 女子54.0% (無回答2.1%)
- 所属学科 普通科 64.2% 専門学科 30.5% 総合学科 5.3%
- 地域分布 北海道8.8% 岩手県11.4% 富山県12.5% 東京都10.0% 神奈川県9.4%
静岡県12.1% 滋賀県12.0% 香川県12.4% 佐賀県11.4%
- 子どもの高校卒業後の希望する進路
大学進学46.4% 短大進学 2.6% 専門学校進学9.7% 海外の大学等への進学0.4%
就職14.7% その他1.1% 子どもが希望する進路なら何でもいい22.9% (無回答2.2%)

【注】

※第4回調査(2009年)は、2009年9～10月に全国の高校2年生とその保護者を対象に実施
(有効回答数:高校生1,953人/保護者1,495人)

※第5回調査(2011年)は、2011年9～10月に全国の高校2年生とその保護者を対象に実施
(有効回答数:高校生1,959人/保護者1,417人)

※報告書内の表記について

- グラフの数値は、小数点第2位以下を四捨五入して表示している
- 本文の数値は、グラフ中の数値の小数点第1位を四捨五入して記載している
- <フリーコメント>末尾カッコ内は以下の属性を表す
高校生：[都道府県/性別/希望進路]
保護者：[都道府県/続柄/子どもの性別]

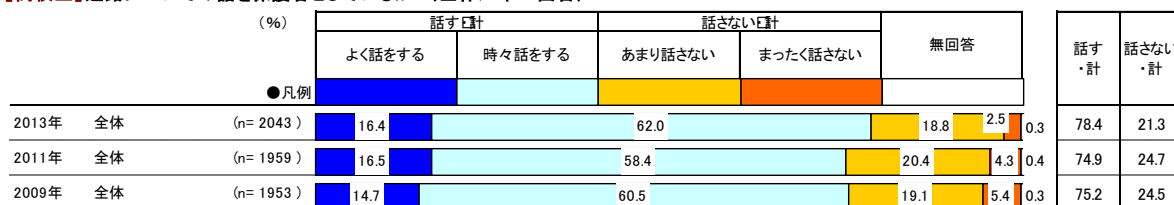
I 親子コミュニケーションの実態

1.進路について話す頻度

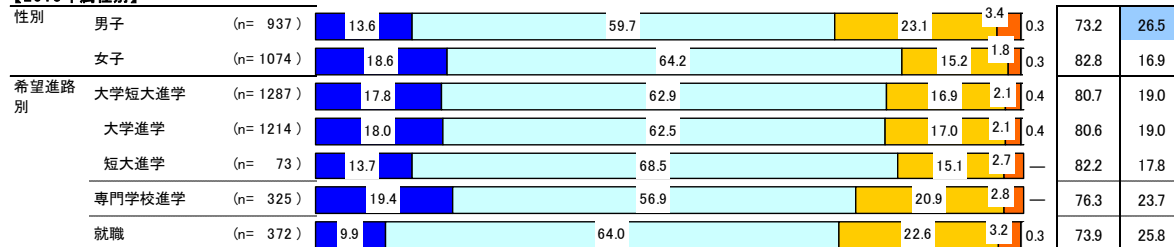
- ▶ 高校生の78%、保護者の89%が進路について「話す」。保護者の認識が高校生に比べ高い。
- ▶ 高校生は2011年から「話す」割合がやや増加。
- ▶ 「母親と娘」女性どうしの親子間での会話が活発。

- 高校2年生の時点で卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に、高校生の16%が「よく話をする」と回答。「時々話をする」の62%と合わせると78%が進路について会話している(話す・計)。
- 性別にみると、「話す・計」の割合は女子(83%)が男子(73%)よりも多い。
- 希望進路別にみると、「話す・計」は大学短大進学希望者は8割を占めるが、それに比べて専門学校進学・就職希望者は会話している割合がやや少ない。
- 同様に、保護者にも子ども(高校生)と話しているかと尋ねたところ、22%が「よく話をする」。「時々話をする」(67%)を合わせた「話す・計」89%は高校生の回答を上回る。
- 続柄×子ども性別にみると、母親×女子(娘)という女性どうしの親子間で「話す・計」の割合が相対的に高く、会話が活発であることがうかがえる。

【高校生】進路についての話を保護者としているか (全体/単一回答)



【2013年属性別】

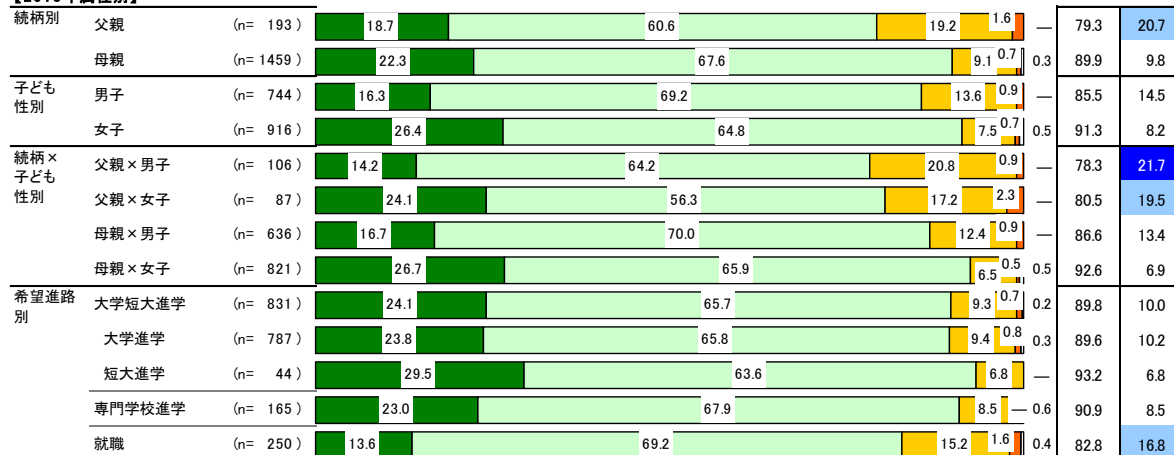


Kh_Q01

【保護者】進路についての話を子どもとしているか (全体/単一回答)



【2013年属性別】



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh_Q01

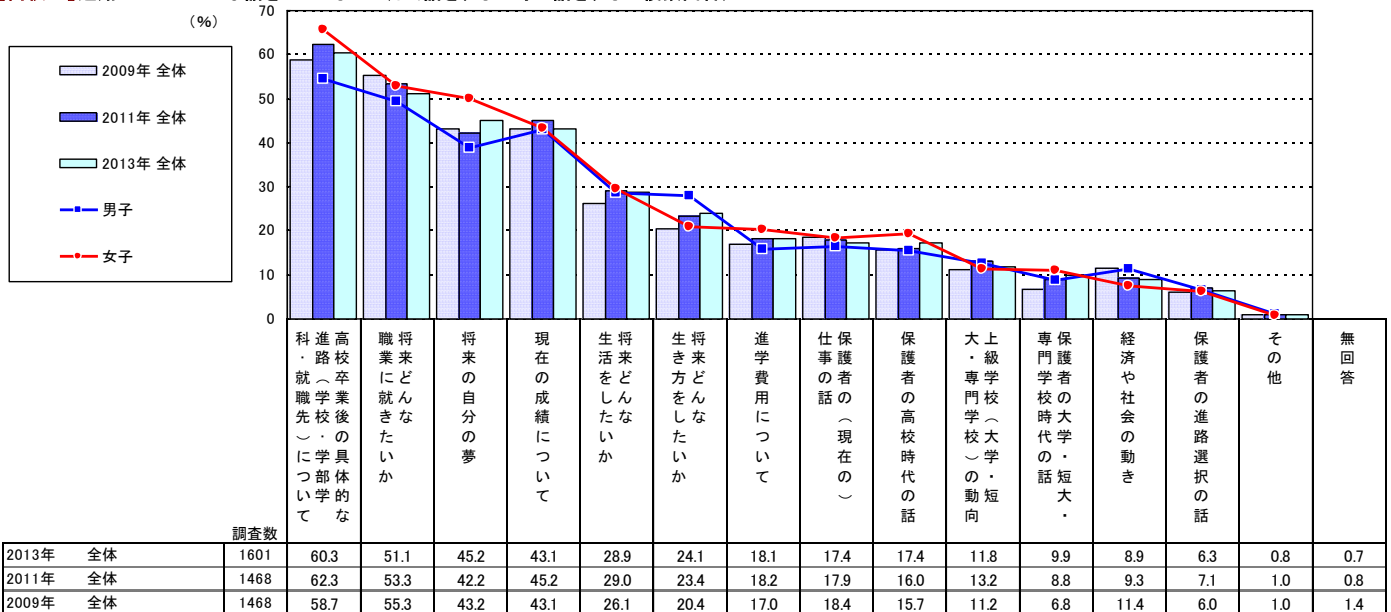
2.進路について話す内容

▶ 進路について話す内容のトップは、「卒業後の具体的な進路について」が6割。

- ① 卒業後の具体的な進路について(60%)
- ② 将来どんな職業に就きたいか(51%)
- ③ 将来の自分の夢(45%)
- ④ 現在の成績について(43%)
- ⑤ 将来どんな生活をしたいか(29%)

- 5ページの卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に会話がある(「よく話をする」～「時々話をする」)と回答した高校生に、どんな話をしているかすべて選んでもらった。トップは「高校卒業後の具体的な進路について」で6割。ついで「将来どんな職業に就きたいか」(51%)、「将来の自分の夢」(45%)、「現在の成績について」(43%)が挙げた。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、女子は男子に比べスコアが高い項目が多く、会話の内容が幅広い。特に「高校卒業後の具体的な進路について」「将来の自分の夢」は男子を大きく上回る。一方、女子よりも男子のほうがスコアが高いのは「将来どんな生き方をしたいか」。
- 希望進路別にみると、大学進学・短大進学・専門学校進学のトップは「高校卒業後の具体的な進路について」。一方、就職希望者は「将来どんな職業に就きたいか」がトップ。
- 進路対話頻度別(5ページの回答別)にみると、全項目で「時々話をする」層よりも「よく話をする」層のほうがスコアが高く、会話頻度が高いほうが進路について会話する内容が幅広いことがうかがえる。

【高校生】進路についてどんな話をしているか (よく話をする～時々話をする/複数回答)



【2013年属性別】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 2013年 全体 | 1601 | 60.3 | 51.1 | 45.2 | 43.1 | 28.9 | 24.1 | 18.1 | 17.4 | 17.4 | 11.8 | 9.9 | 8.9 | 6.3 | 0.8 | 0.7 | |
| 性別 | 男子 | 686 | 54.4 | 49.1 | 38.6 | 42.9 | 28.3 | 27.8 | 15.6 | 16.2 | 15.2 | 12.5 | 8.6 | 11.1 | 6.4 | 1.0 | 1.0 |
| | 女子 | 889 | 65.4 | 52.8 | 49.9 | 43.0 | 29.4 | 20.9 | 20.1 | 18.3 | 19.1 | 11.1 | 10.8 | 7.3 | 6.2 | 0.7 | 0.4 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 1038 | 65.8 | 47.6 | 45.5 | 46.7 | 27.6 | 24.0 | 19.5 | 15.9 | 16.1 | 14.3 | 11.8 | 9.2 | 6.1 | 0.7 | 0.4 |
| | 大学進学 | 978 | 65.8 | 47.9 | 44.4 | 47.1 | 27.9 | 24.2 | 19.5 | 15.6 | 16.2 | 13.8 | 12.2 | 9.1 | 6.0 | 0.7 | 0.4 |
| | 短大進学 | 60 | 65.0 | 43.3 | 63.3 | 40.0 | 23.3 | 20.0 | 18.3 | 20.0 | 15.0 | 21.7 | 6.7 | 11.7 | 6.7 | — | — |
| | 専門学校進学 | 248 | 56.5 | 52.8 | 54.8 | 33.5 | 27.4 | 21.4 | 23.8 | 15.7 | 15.3 | 12.9 | 7.3 | 6.9 | 6.9 | 0.4 | 1.2 |
| 就職 | 275 | 44.0 | 63.6 | 33.8 | 38.9 | 32.4 | 25.1 | 8.0 | 24.0 | 21.8 | 2.2 | 4.4 | 8.4 | 5.5 | 1.5 | 1.5 | |
| 進路対話頻度別 | よく話をする | 335 | 70.7 | 56.4 | 59.4 | 52.5 | 39.7 | 36.1 | 23.9 | 26.6 | 26.3 | 17.3 | 15.2 | 14.3 | 8.7 | 2.4 | 0.3 |
| | 時々話をする | 1266 | 57.6 | 49.7 | 41.4 | 40.6 | 26.0 | 20.9 | 16.5 | 15.0 | 15.1 | 10.3 | 8.5 | 7.5 | 5.7 | 0.4 | 0.9 |

※「2013年全体」降順ソート ※「経済や社会の動き」は2011年以前は「経済や企業の動き」で回答
 ※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

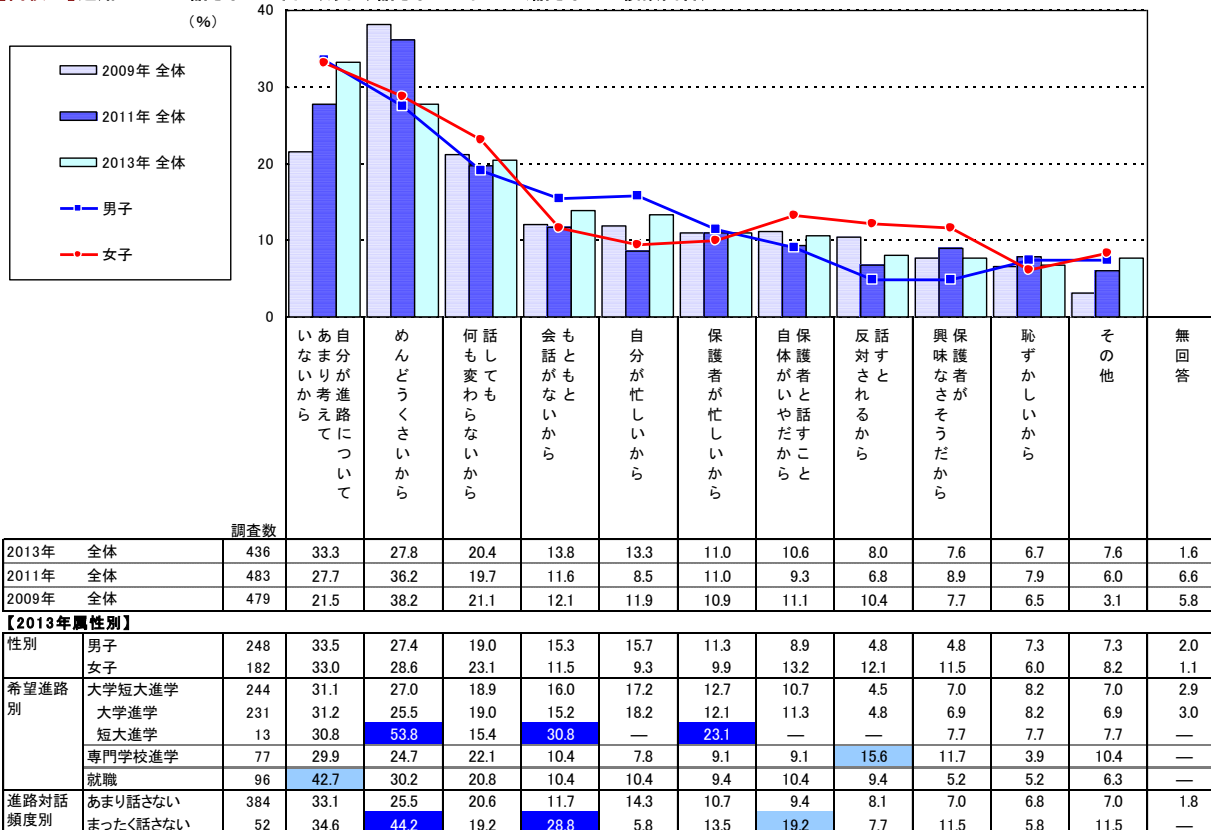
3.進路について話さない理由

▶ 進路について話さない理由のトップは「自分が進路についてあまり考えていないから」。

- ①自分が進路についてあまり考えていないから(33%)
- ②めんどくさいから(28%)
- ③話しても何も変わらないから(20%)
- ④もともと会話がないから(14%)
- ⑤自分が忙しいから(13%)

- 5ページの卒業後の進路について保護者と話しているかという質問に会話がない(「あまり話をしない」～「まったく話さない」と回答した高校生に、その理由をすべて選んでもらったところ、トップは「自分が進路についてあまり考えていないから」(33%)、ついで「めんどくさいから」(28%)と高校生自身の態度が1、2位に挙げた。以下「話しても何も変わらないから」(20%)、「もともと会話がないから」(14%)と保護者との関係による要因が続く。
- 過去調査と比較すると「自分が進路についてあまり考えていないから」は増加傾向。一方で「めんどくさいから」は減少している。また、「自分が忙しいから」は2011年よりやや増加した。
- 性別にみると、女子は男子に比べ「話す」と反対されるから」「保護者が興味なさそうだから」など保護者の否定的な態度についてのスコアが高い。一方、男子は「自分が忙しいから」が女子に比べてスコアが高い。

【高校生】進路について話さない理由 (あまり話さない～まったく話さない/複数回答)



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q01SQ2

4. 保護者がよく使う言葉

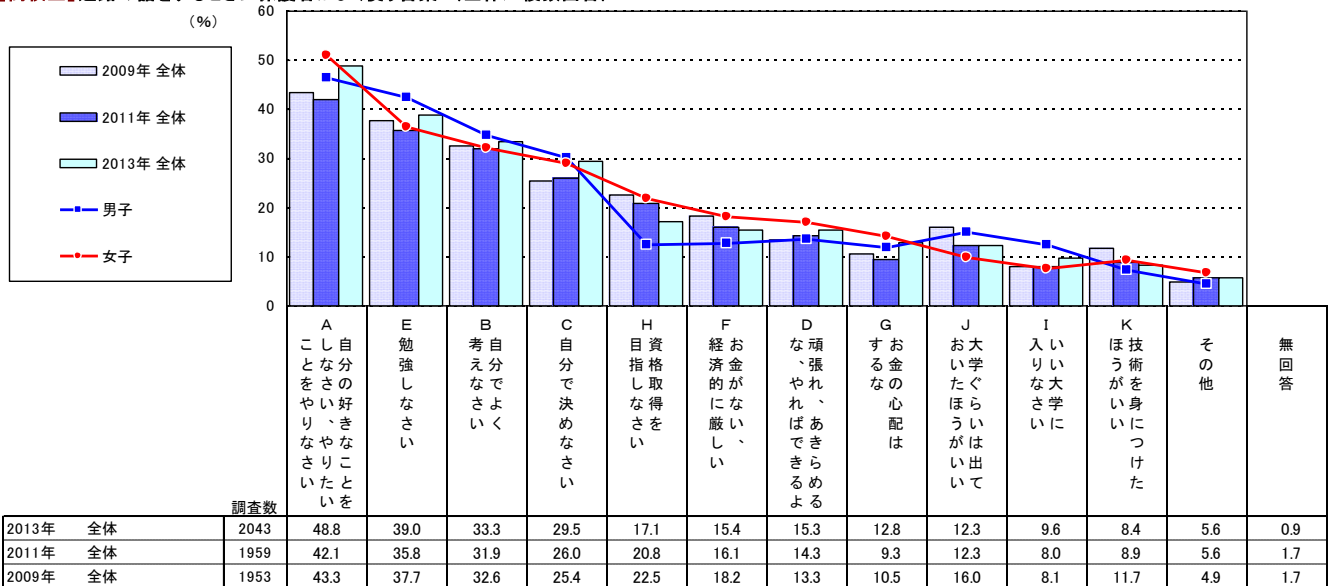
▶ 進路の話をするとき保護者がよく使う言葉について、高校生の認識トップは「自分の好きなことをしなさい」

- ① 自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい(49%)
- ② 勉強しなさい(39%)
- ③ 自分でよく考えなさい(33%)
- ④ 自分で決めなさい(30%)
- ⑤ 資格取得を目指しなさい(17%)

▶ 高校生は「自分の好きなこと」がまだ分からず、保護者にアドバイスを求める声もある。

- 進路の話をするとき保護者はどんな言葉を使うか、高校生と保護者に尋ねた。高校生の回答上位は上記のとおり。過去調査と比較すると上位項目は顔ぶれが同じだが、「好きなことをしなさい」は2011年より増加した。
- 女子は「好きなことをしなさい」「資格取得」「お金がない」のスコアが男子に比べ高く、幅広い言葉が使われている。男子は女子に比べ「勉強しなさい」「大学は出たほうがいい」「いい大学」がやや高い。
- 高校生に保護者の言葉への印象を書いてもらった。「好きなことをしなさい」「自分で考えなさい」「自分で決めなさい」では判断を任されることを前向きに捉えるコメントが多いが、一方で「一緒に考えて欲しい」と保護者にアドバイスを求める声も挙がっている。

【高校生】進路の話をするとき保護者がよく使う言葉（全体／複数回答）



【2013年属性別】

| 属性 | 調査数 | A | E | B | C | H | F | D | G | J | I | K | その他 | 無回答 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 男子 | 937 | 46.4 | 42.2 | 34.5 | 29.9 | 12.2 | 12.5 | 13.3 | 11.7 | 15.0 | 12.4 | 7.2 | 4.2 | 1.1 |
| 女子 | 1074 | 51.0 | 36.3 | 32.1 | 28.8 | 21.6 | 18.0 | 17.0 | 13.9 | 9.7 | 7.3 | 9.1 | 6.5 | 0.8 |
| 希望進路別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 大学短大進学 | 1287 | 49.0 | 43.2 | 33.3 | 30.5 | 12.6 | 15.8 | 15.8 | 14.8 | 15.8 | 13.6 | 5.3 | 4.6 | 1.2 |
| 大学進学 | 1214 | 49.3 | 43.2 | 33.4 | 30.3 | 12.0 | 15.8 | 15.9 | 14.9 | 15.6 | 14.2 | 5.0 | 4.6 | 1.2 |
| 短大進学 | 73 | 43.8 | 42.5 | 32.9 | 34.2 | 21.9 | 15.1 | 13.7 | 12.3 | 19.2 | 4.1 | 9.6 | 4.1 | — |
| 専門学校進学 | 325 | 47.7 | 32.3 | 32.0 | 24.6 | 22.5 | 15.4 | 16.0 | 12.6 | 6.2 | 4.0 | 15.4 | 5.8 | — |
| 就職 | 372 | 50.3 | 29.8 | 34.1 | 31.5 | 27.4 | 13.7 | 11.8 | 5.9 | 5.6 | 0.3 | 12.1 | 9.1 | 1.1 |
| 進路対話頻度別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 話す・計 | 1601 | 52.8 | 40.2 | 34.6 | 30.0 | 18.9 | 14.9 | 17.3 | 14.0 | 11.4 | 10.1 | 9.1 | 5.1 | 0.6 |
| 話さない・計 | 436 | 34.6 | 34.4 | 28.7 | 28.2 | 11.0 | 17.0 | 7.8 | 8.7 | 15.6 | 7.8 | 5.7 | 7.3 | 2.1 |

※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

KH_Q02

<フリーコメント> 保護者の言葉をどう感じるか【高校生】

■自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい

- 自分で決めさせてもらえるときはとてもうれしい[滋賀/女子/就職]
- 頑張りたいという気持ちが出てくる[岩手/男子/大学]
- いいことだと思うが、私に無関心なのかと思えてくる[滋賀/女子/大学]
- 楽観的すぎるが、親の立場としてはプレッシャーをかけにくいので仕方がない[富山/男子/大学]

■勉強しなさい

- イラつく、ただ「勉強しなくては」とは思う[静岡/男子/大学]
- やってるし、成績も悪いほうじゃないのに言われると、やろうと思っていたこともやる気が失せるからやめてほしい[岩手/女子/就職]
- 言われて腹が立つが、図星であり反省する[静岡/男子/大学]

■自分でよく考えなさい

- 自分もその通りだなと思うので、言われると改めて意識できるため、ありがたく感じている[神奈川/男子/大学]
- 決めかねているからいっしょに考えてほしい[香川/女子/専門学校]

■自分で決めなさい

- 自分のしたい事をする為に頑張らなければと思う[富山/男子/大学]
- 自分で決めなさいと言っておきながら反対する[岩手/女子/就職]

■資格取得を目指しなさい

- 就職に有利になるから取っておいた方が良かったと思った[岩手/女子/大学]
- やりたいと思えることでなくても、資格のために進路を決めるべきなのか[滋賀/女子/大学]

▶ 進路の話をするとき保護者がよく使う言葉について、保護者の認識トップは「自分の好きなことをしなさい」

- ① 自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい(55%)
- ② 自分でよく考えなさい(52%)
- ③ 資格取得を目指しなさい(35%)
- ④ 技術を身につけたほうがいい(33%)
- ⑤ 自分で決めなさい(27%)

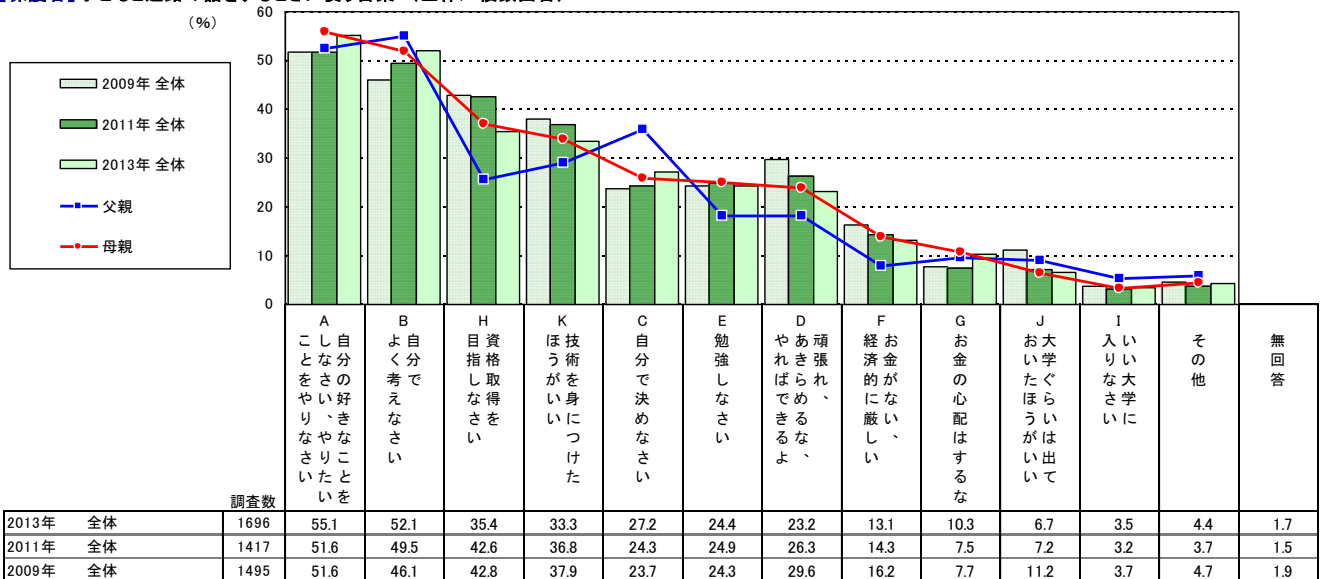
- 保護者の回答上位は上記のとおり。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 続柄別にみると、母親は父親に比べ「資格取得」が高く、父親は「自分で決めなさい」が比較的高い。
- 子ども性別にみると、「資格取得」は男子よりも女子のほうがスコアが高い。
- 希望進路別にみると、進路先により順位・スコアに差がある。大学短大進学では「自分の好きなことをしなさい」がトップだが、専門学校進学では1～2位に「資格取得」「技術」が挙がる。就職希望者では「自分でよく考えなさい」がトップ。

▶ 高校生・保護者ともトップは「自分の好きなことをしなさい」で一致。

2位は、高校生では「勉強しなさい」、保護者では「自分でよく考えなさい」が続き、認識に差。

- 「勉強しなさい」は、高校生では2位だが保護者においては上位5項目に届かない。高校生が感じているほど保護者は言っていないという認識である。保護者で「勉強しなさい」が多い属性は大学短大進学希望者で31%。
- 保護者は、高校生に比べ「資格取得を目指しなさい」「技術を身につけたほうがいい」のスコアが大幅に高く、子どもにスキル習得を推奨しているという認識が目立つ。また「自分でよく考えなさい」も高校生に比べ保護者のスコアが高く、両者の認識の差が大きい。

【保護者】子どもと進路の話をするときに使う言葉（全体／複数回答）



【2013年属性別】

| 続柄別 | 調査数 | A | B | H | K | C | E | D | F | G | J | I | その他 | 無回答 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 父親 | 193 | 52.3 | 54.9 | 25.4 | 29.0 | 35.8 | 18.1 | 18.1 | 7.8 | 9.3 | 8.8 | 5.2 | 5.7 | 1.0 |
| 母親 | 1459 | 55.7 | 51.8 | 36.9 | 33.8 | 25.8 | 24.9 | 23.8 | 13.8 | 10.6 | 6.2 | 3.2 | 4.2 | 1.8 |
| 子ども性別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 男子 | 744 | 53.6 | 53.6 | 26.7 | 31.2 | 27.8 | 28.1 | 24.9 | 12.4 | 10.1 | 9.4 | 4.8 | 4.8 | 1.9 |
| 女子 | 916 | 56.4 | 50.8 | 42.9 | 35.0 | 26.3 | 21.0 | 21.6 | 13.6 | 10.6 | 4.3 | 2.3 | 3.9 | 1.5 |
| 希望進路別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 大学短大進学 | 831 | 58.0 | 53.8 | 31.2 | 24.2 | 29.7 | 30.9 | 28.0 | 11.7 | 12.6 | 11.0 | 6.7 | 4.1 | 0.7 |
| 大学進学 | 787 | 58.1 | 54.0 | 29.5 | 23.6 | 30.0 | 30.9 | 28.1 | 11.6 | 13.1 | 11.4 | 7.1 | 4.2 | 0.8 |
| 短大進学 | 44 | 56.8 | 50.0 | 61.4 | 34.1 | 25.0 | 31.8 | 27.3 | 13.6 | 4.5 | 2.3 | — | 2.3 | — |
| 専門学校進学 | 165 | 43.0 | 41.8 | 60.0 | 60.6 | 15.8 | 17.0 | 18.2 | 10.9 | 9.7 | 1.8 | — | 2.4 | 1.2 |
| 就職 | 250 | 43.6 | 51.2 | 39.6 | 40.0 | 26.0 | 20.8 | 18.0 | 19.2 | 2.8 | 0.4 | 0.4 | 3.6 | 2.0 |
| 進路対話頻度別 | | | | | | | | | | | | | | |
| 話す・計 | 1502 | 56.8 | 53.1 | 36.1 | 33.1 | 27.3 | 24.2 | 24.4 | 13.1 | 10.5 | 6.2 | 3.3 | 4.3 | 1.5 |
| 話さない・計 | 189 | 42.3 | 43.9 | 29.6 | 34.9 | 27.0 | 25.9 | 14.3 | 12.7 | 9.0 | 10.1 | 4.8 | 4.8 | 2.1 |

※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

5. 希望進路・進路の悩みの共有度

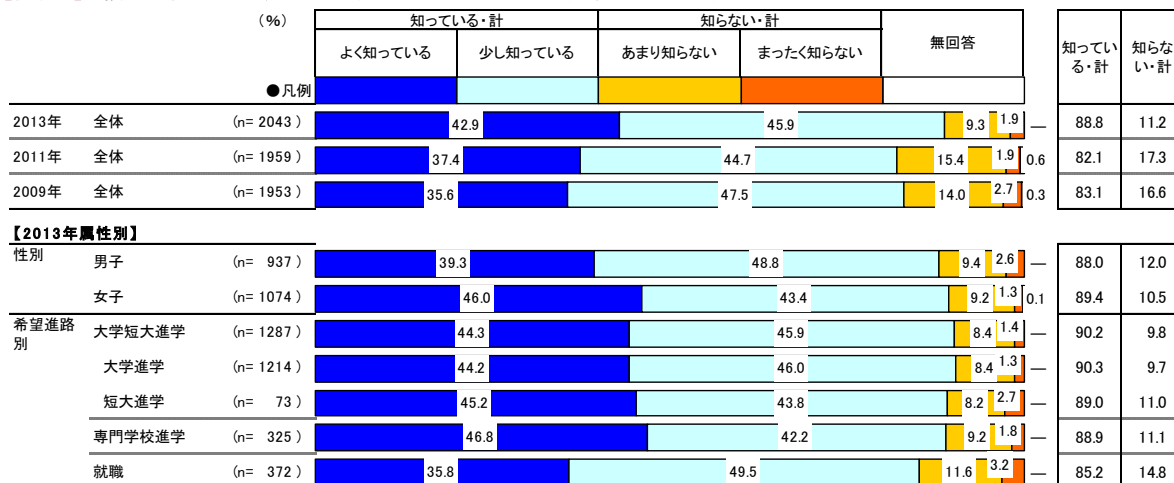
1) 希望進路の共有度

▶ 高校生の89%、保護者の92%が希望進路や進路に対する考えを「知っている」。保護者の認識が高校生に比べて高い。

▶ 高校生では2011年から「知っている・計」のスコアが増加。保護者では変動なし。

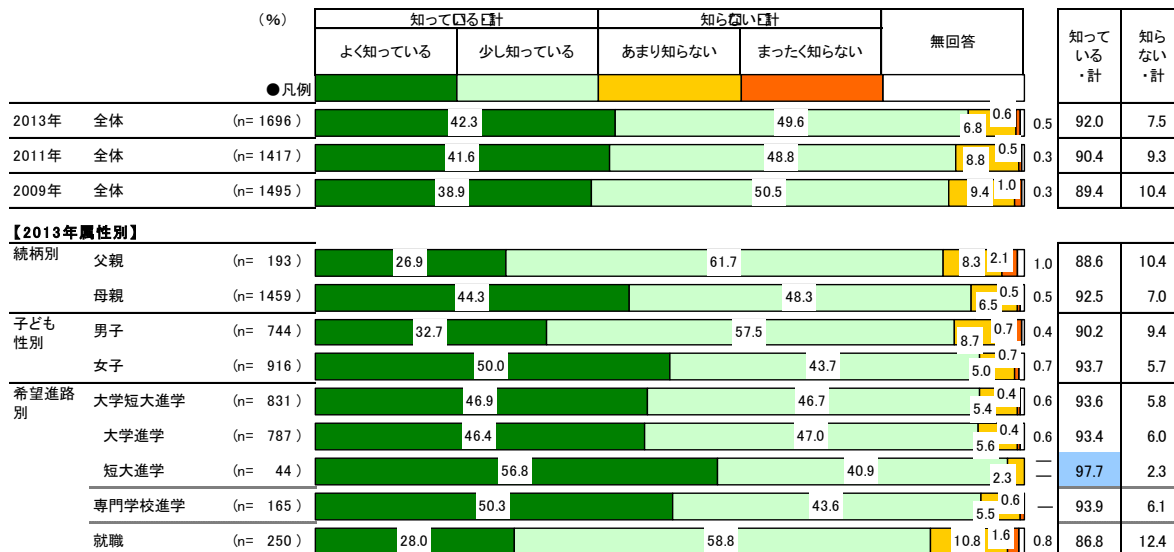
- 高校生の希望進路や進路についての考えを保護者はどの程度知っているかという質問に、高校生の43%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」の46%と合わせ89%が考えを共有している(知っている・計)。
- 性別にみると、「知っている・計」の割合は男女で大きな差は見られないが、女子はトップボックスの「よく知っている」が46%と男子(39%)を上回り、より深く共有していることがうかがえる。
- 希望進路別にみると、「よく知っている」は大学短大進学、専門学校進学の進学希望者で4割以上を占めるが、就職希望者は36%と共有度が相対的に低い。
- 同様に、保護者にも子ども(高校生)の希望進路や考えを知っているか尋ねたところ、42%が「よく知っている」。「少し知っている」(50%)を合わせた「知っている・計」92%は高校生の回答を上回る。
- 続柄別にみると、「よく知っている」の割合は母親(44%)が父親(27%)よりも高い。
- 子ども性別にみると、「よく知っている」の割合は女子(50%)のほうが男子(33%)よりも高い。

【高校生】保護者は希望進路や、進路に対する考えを知っているか (全体/単一回答)



Kh.Q03

【保護者】子どもの希望進路や、進路に対する考えを知っているか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh.Q02

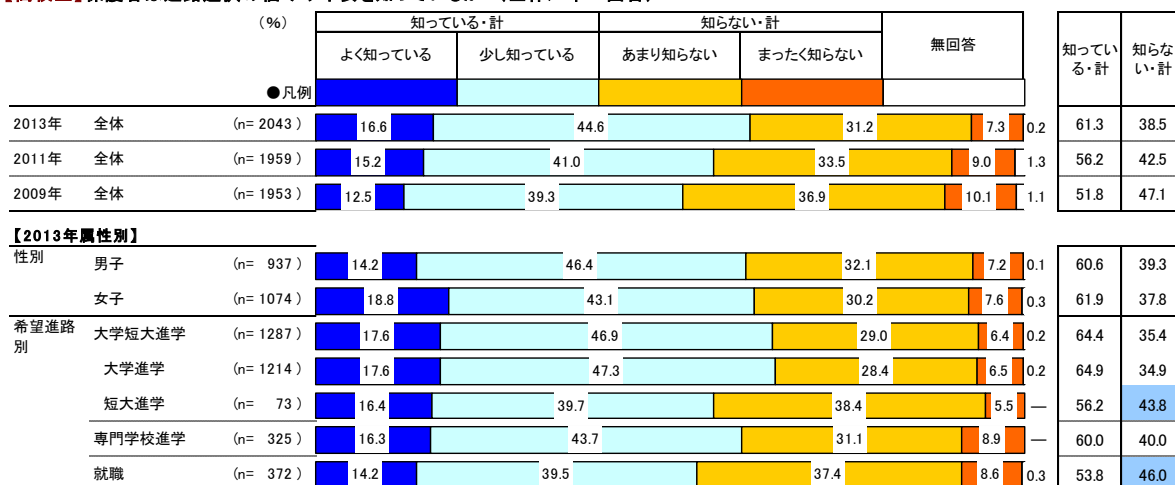
2)進路選択の不安の共有度

▶ 高校生の61%、保護者の72%が進路選択の悩みや不安を「知っている」。

▶ 高校生は過去調査から「知っている」が増加傾向。高校生・保護者の認識差は縮まり、共有が進んでいる。

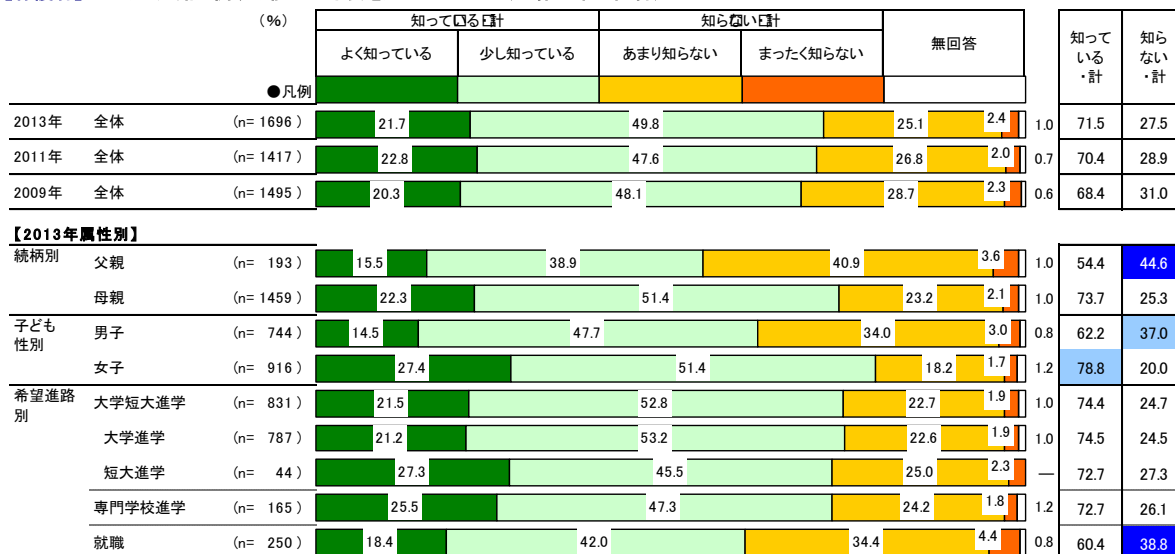
- 高校生の進路選択の悩みや不安を保護者はどの程度知っているかという質問に、高校生の17%が「よく知っている」と回答。「少し知っている」の45%と合わせ61%が共有(知っている・計)。過去調査と比較すると「知っている・計」の割合は2009年以降増加している。
- 性別にみると、「よく知っている」の割合は女子(19%)が男子(14%)よりもやや多い。
- 希望進路別にみると、「知っている・計」のスコアは大学短大進学、専門学校進学の進学希望者では6割を占めるが、就職希望者は53%と共有度が相対的に低い。
- 一方、保護者は、子ども(高校生)の進路選択の悩みや不安を22%が「よく知っている」。「少し知っている」(50%)を合わせた「知っている・計」は72%。希望進路の共有度と同様、「知っている・計」の割合は高校生を上回るが、そのスコア差は2009・2011年に比べ減少しており(2013年:高校生61%-保護者72%=11ポイント差)、保護者と子どもとの間で悩みや不安の共有が進んでいることがうかがえる。
- 続柄別・子ども性別にみると、希望進路の共有度(10ページ)同様、父親よりも母親、男子よりも女子のほうが「知っている・計」の割合が高く、共有度が高い。

【高校生】保護者は進路選択の悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)



Kh.Q08

【保護者】子どもの進路に関する悩みや不安を知っているか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

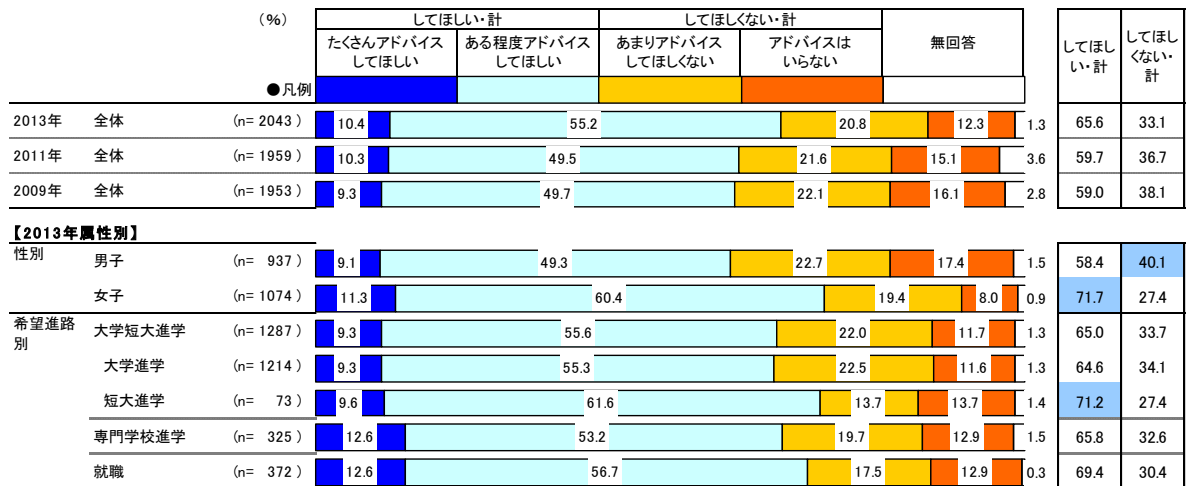
Hh.Q03

6.保護者からのアドバイス

▶ 高校生の66%が保護者からのアドバイスを「してほしい」。保護者の79%が相談・アドバイスを「している」。

- 進路選択について保護者からアドバイスしてほしいかという質問に、高校生の10%が「たくさんアドバイスしてほしい」。「ある程度アドバイスしてほしい」の55%と合わせ66%が保護者からのアドバイスを必要としている(してほしい・計)。
- アドバイスしてほしい内容や理由を書いてもらったところ、「ある程度してほしい」理由として「話しすぎると意見が衝突する」「聞きたいことには答えて欲しい」など、必要に応じた「適度」なアドバイスを求める意見が挙げられた。
- 一方、保護者に子どもの相談に乗ったりアドバイスしているか尋ねたところ、24%が「よくしている」。「少ししている」(55%)を合わせ79%がアドバイスをしている(している・計)。
- 続柄別にみると、「している・計」の割合は父親(72%)よりも母親(80%)のほう多い。

【高校生】進路選択に際して、保護者にアドバイスしてほしいか (全体/単一回答)



Kh.Q09

<フリーコメント> 保護者にアドバイスしてほしい内容や理由【高校生】

■たくさんアドバイスしてほしい

- アドバイスをもらおうと前向きになれるから [岩手/女子/専門学校]
- 社会に出た先輩としてのアドバイスが欲しい [静岡/男子/大学]

■ある程度アドバイスしてほしい

- いつも話しすぎるとケンカしてしまうから、ある程度、相談に乗ってくれるくらいでよい [岩手/女子/専門学校]
- 自分から尋ねたい事にははっきり返答してほしい [富山/男子/大学]

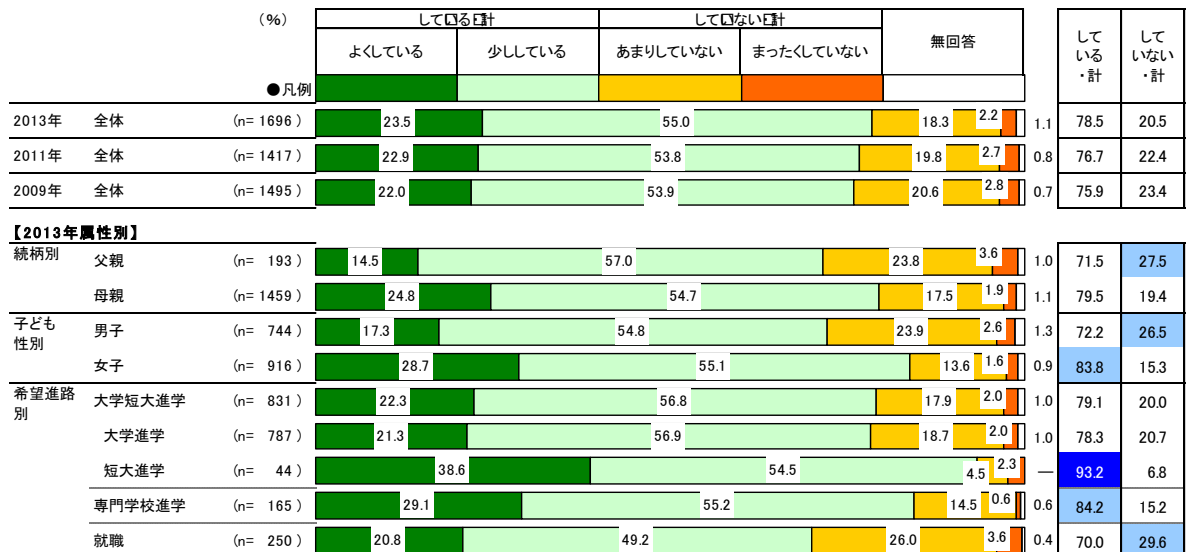
■あまりアドバイスしてほしくない

- 何か言えばマイナスなことを言うてくるから [滋賀/女子/専門学校]
- 自分で心に決めていることが揺らいでしまいそう [北海道/女子/大学]

■アドバイスはいらない

- (保護者が)今の大学のことなどあまり知らないの、言われても納得できないから [東京/男子/大学]
- 無難な職に就かせようとしてるのが伝わってくるから [岩手/女子/就職]

【保護者】子どもの進路に関する悩みや不安について、相談に乗ったりアドバイスしているか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh.Q04

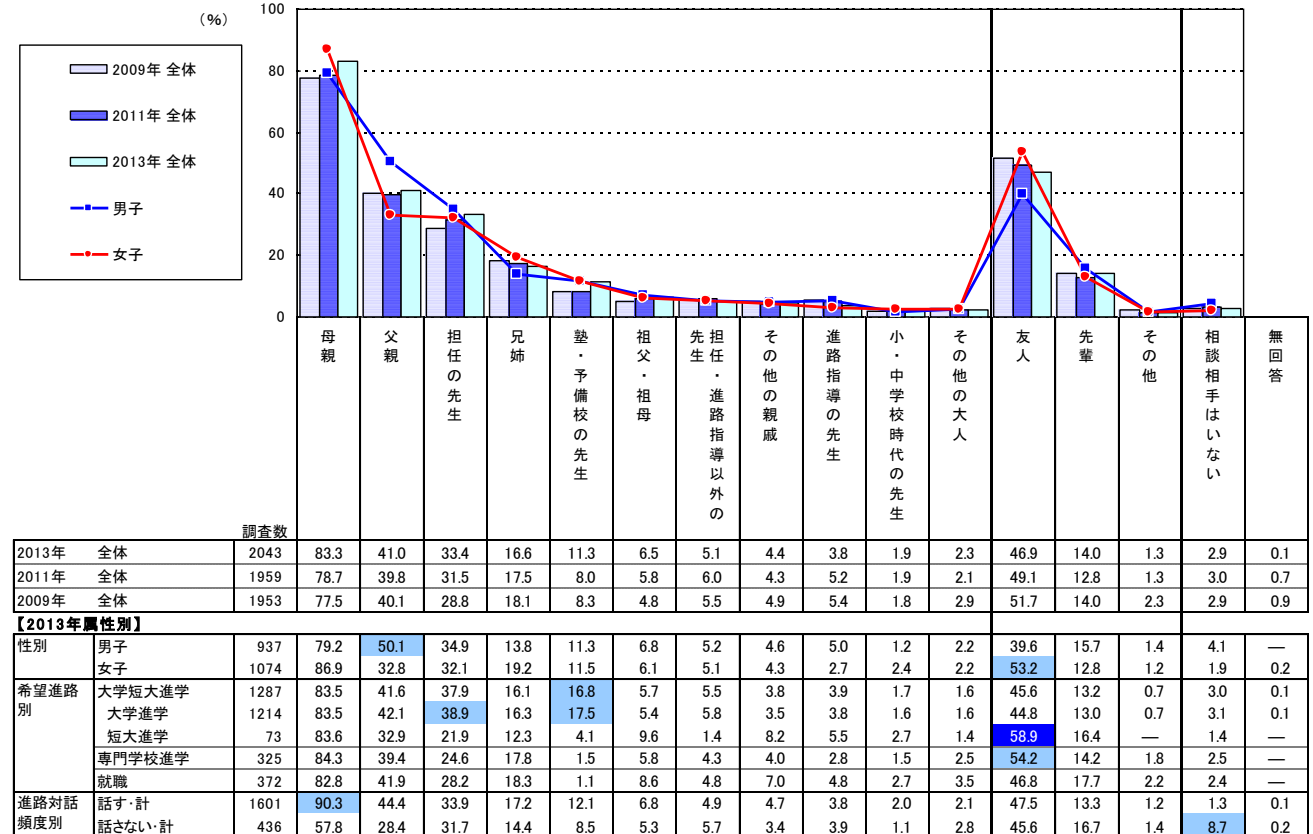
7.進路選択についての相談相手

▶ 高校生が進路を考えるうえで相談する相手は、「母親」が突出。

- ① 母親(83%)
- ② 友人(47%)
- ③ 父親(41%)
- ④ 担任の先生(33%)
- ⑤ 兄姉(16%)

- 高校生に進路を考えるうえで相談する人すべてを尋ねた。トップは「母親」で突出。過去調査と同様、8割に達する。
- 性別にみると、男女とも「母親」がトップ。2位に男子は「父親」、女子は「友人」が続く。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「母親」がトップ。大学短大進学は他進路希望者に比べ「担任の先生」「塾・予備校の先生」のスコアが高く、相談相手が幅広い。
- 高校生に一番の相談相手についてその理由を書いてもらったところ、「母親」は会話・相談の頻度が高く自分を理解してくれているという「親近感」、「父親」は身近な社会人としての「信頼感」があることがうかがえる。また、「友人」は、同じように進路に悩む「仲間意識」から、保護者とは話せないテーマについても話せるようだ。
→フリーコメントは15ページに掲載

【高校生】進路について、相談する相手（全体／複数回答）



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

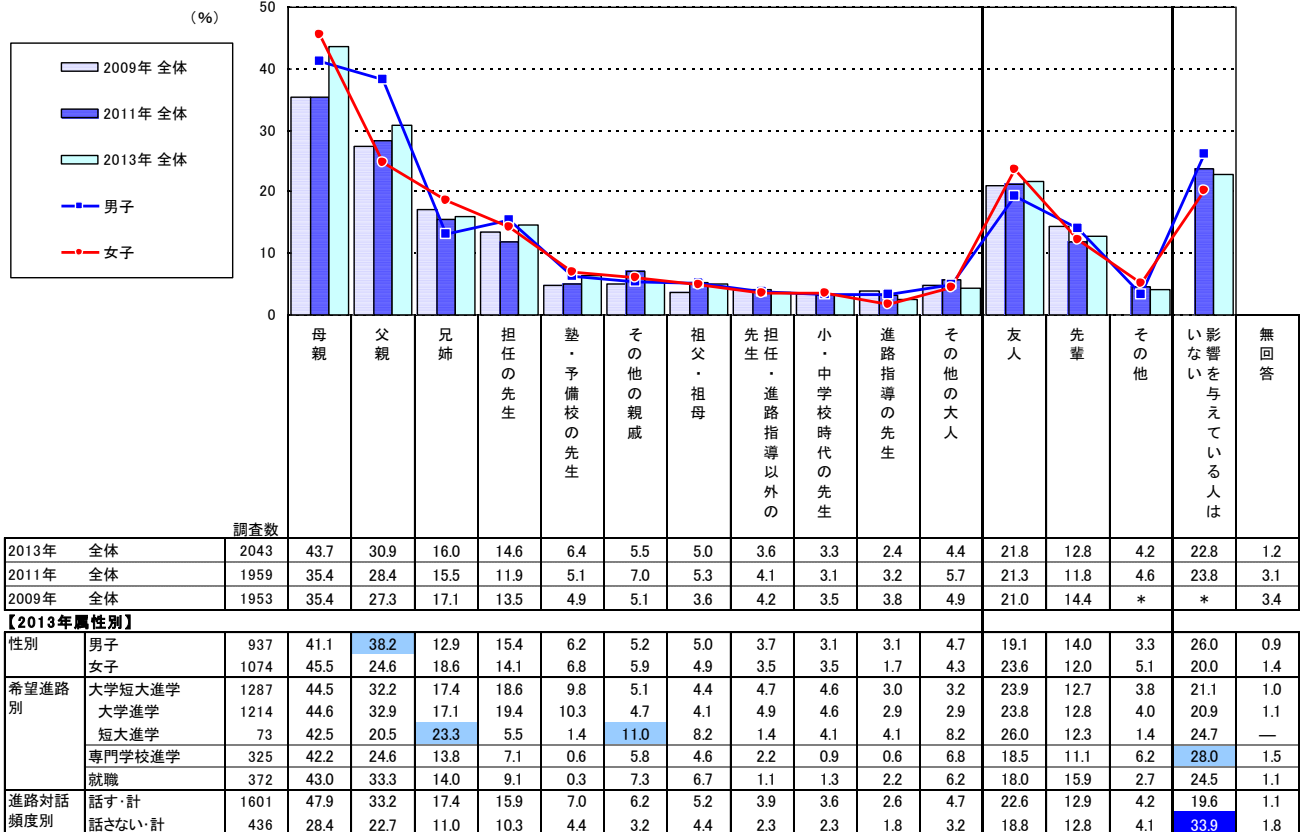
8.進路選択について影響を受ける人物

▶ 高校生が進路を考えるうえで影響を受ける相手も、「母親」がトップ。

- ① 母親(44%)
- ② 父親(31%)
- ③ 友人(22%)
- ④ 兄姉(16%)
- ⑤ 担任の先生(15%)

- 進路を考えるうえで高校生に影響を与えている人すべてを尋ねた。相談相手と同様、「母親」がトップ。過去調査と比較して上位の顔ぶれは変化がないが、「母親」は前回調査(2011年)より大きく上昇。「父親」は2009年以降上昇し続けており、保護者の影響力が増している。
- 性別にみると、男女とも「母親」がトップ。男子は「父親」のスコアが比較的高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「母親」がトップ。
- 進路対話頻度別にみると、話さない層で「影響を与えている人はいない」が比較的多く、ひとりで進路を考える高校生が多い。
- 高校生にいちばん影響を受ける相手についてその理由を書いてもらったところ、「母親」「父親」ともに相談の頻度が多いことがその理由。さらに、仕事・家事に向かう姿にあこがれることも影響を受ける要因となっている。また「友人」については、進路選択において同じ立場であり刺激し合う良いライバル関係にあることがうかがえる。
→フリーコメントは15ページに掲載

【高校生】進路を考えるうえで、影響を与えている人 (全体/複数回答)



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

<フリーコメント> 進路選択について一番の相談相手、その理由【高校生】

■母親

- 家の経済的なことも、自分の向いていそうな職業も知っているから [北海道/男子/就職]
- 母が家に居る日や一緒に居る時間が一番多いので [静岡/女子/大学]
- すごく頼りになるし、自分のことをよく理解してくれている [北海道/女子/大学]
- 母親は自分にとっての一番の理解者であり、一番近くにある存在だから話しやすい [岩手/男子/大学]

■友人

- 素直に話せるから。友人は否定しないから [岩手/女子/大学]
- 話す頻度も高いし、同じ状況に置かれていてお互い励まし合えるから [岩手/女子/大学]
- 一番話を聞いてくれて、同じ立場だから意見も参考になると思うから [北海道/女子/専門学校]
- 話しやすい。親だと恥ずかしい事も言える [富山/女子/大学]

■父親

- 自分の体験を元にたくさんのことを教えてくれるから [滋賀/女子/就職]
- 一番理解してくれて適切なアドバイスをしてくれる [神奈川/男子/大学]
- 世の中の事を沢山知っているし、言いたい事・言うべき事をズバッと言ってくれるから [東京/男子/大学]
- 社会についていろいろ知っていると思うから [富山/男子/就職]

■担任の先生

- 信用できるし、沢山の情報をもっているから [北海道/男子/大学]
- 一番公平な立場でアドバイスしてくれそう [東京/女子/留学]
- 進路について詳しく、自分のこともわかってくれる、とてもいい先生だから [静岡/男子/大学]
- いつも進路の話をしているし、個人面接もあるから [香川/女子/専門学校]

■兄姉

- 家族の中でいちばん最近、受験を経験しているから [東京/女子/大学]
- 社会人で働いているし仲が良いから [北海道/女子/大学]
- 年が近いし、今身近で大学とかの話を開けるから [静岡/男子/大学]
- 身近で歳が近く、遠慮せず意見してくれるから [滋賀/女子/大学]

■先輩

- 実際に卒業をして働いたりして色々なこと聞ける [佐賀/男子/就職]
- 私のことを理解してくれて背中を押してくれるから [東京/女子/大学]
- 就職試験の内容などについて詳しく聞けるから [富山/男子/就職]

■相談相手はいない

- たまに進路の話はするが、深く込み入った相談はしたことがない [岩手/男子/大学]
- 担任の先生に言ったところで、親身になって考えてくれないから、(相談相手は)特になし [岩手/女子/大学]
- 誰に相談していいかわからない [北海道/男子/専門学校]

<フリーコメント> 進路選択について一番影響を受ける人物、その理由【高校生】

■母親

- 一番アドバイスをもらったり相談しているから [岩手/男子/大学]
- 一緒に大学についての情報などを集めてくれるから [静岡/女子/大学]
- 相談しても同じことを繰り返して言ってくるから [東京/女子/専門学校]
- 母の学生時代の話や就職、また結婚の話が影響を与えているように思う [香川/女子/大学]

■父親

- やりたいことを職業にしている尊敬する [岩手/女子/大学]
- 影響というよりもプレッシャー [佐賀/男子/就職]
- 家で一番たよれる人だから [北海道/男子/専門学校]
- 父が最終的に私の決めた進路を許可するかどうか決めるから [東京/男子/大学]

■友人

- 「負けたくない」というライバル意識がはたらくから [神奈川/男子/大学]
- その子がんばってたら、自分もあせるから [佐賀/女子/大学]
- 一緒に学校で勉強しているだけあって、つい意識してしまうから [東京/男子/大学]
- 同じ境遇にあって、自分は違う考え方で進路について考えているため、気づかされることが多い [神奈川/女子/大学]

■兄姉

- 兄が1年で仕事を辞め、専門学校へ進んだので、合ってなかったのかなど。自分も、そうなるのかなと考えてしまう [富山/男子/就職]
- 姉の大学受験・就職活動の苦勞を知っているから [神奈川/女子/大学]
- 進学して就職するところを1番近くで見られているから [北海道/女子/専門学校]

■担任の先生

- マイナス面のことしか言わないので、不安になってしまうから [佐賀/男子/大学]
- 一番現実的な話をしてくれるから [滋賀/女子/大学]
- 心に残るアドバイスをしてくれるから [香川/女子/大学]
- 面接や三者面談で話すことのほとんどが、進路に関することだから [香川/女子/大学]

■先輩

- 現役大学生の話や聞くと色々刺激を受け、自分もその大学に入りたと思うようになったから [富山/男子/大学]
- 大学に行って勉強が大変だという事で不安を感じた [北海道/女子/専門学校]

■影響を与える人はいない

- まだあまり自分が進みたい進路が決まっていないから [佐賀/女子/短大]
- 意見は聞きたいが、影響はされたくないから [香川/男子/就職]
- 身近に自分と同じ道を歩んだ人がいないから [北海道/男子/専門学校]

9.進路選択について保護者が取る態度

▶ 進路選択に関する保護者の態度が「ちょうどいい」と感じている高校生は62%。

▶ 「干渉」と感じるのは25%、「無関心」は13%。

- 進路選択に関する保護者の態度を高校生はどのように感じているか尋ねた。「ちょうどいい」が最も多く62%と過半数を占める。「干渉しすぎる」「やや干渉する」の合計は25%(干渉・計)、「無関心すぎる」「やや無関心」の合計は13%(無関心・計)。前回調査と比較して、「干渉」の割合がわずかだが増加した。
- 男女とも「ちょうどいい」が6割を占めるが、男子は女子よりも「干渉・計」、女子は男子よりも「無関心・計」の割合がやや高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路とも「ちょうどいい」が6割強を占める。大学短大進学希望者では「干渉・計」が3割弱と、専門学校進学・就職希望者に比べ、干渉的と感じる割合がやや高い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層の方が「ちょうどいい」が多く、話さない層の方が「無関心・計」が多い。

【高校生】進路選択に関する保護者の態度（全体／単一回答）

| | (%) | 干渉・計 | | ちょうどいい | 無関心・計 | | 無回答 | 干渉・計 | 無関心・計 |
|--------------------|-----|--------|--------|--------|-------|--------|-----|------|-------|
| | | 干渉しすぎる | やや干渉する | | やや無関心 | 無関心すぎる | | | |
| ●凡例 | | | | | | | | | |
| 2013年 全体 (n= 2043) | | 4.4 | 20.9 | 61.5 | 11.5 | 1.2 | 0.6 | 25.3 | 12.7 |
| 2011年 全体 (n= 1959) | | 4.6 | 16.8 | 62.9 | 12.3 | 1.5 | 1.9 | 21.4 | 13.7 |
| 2009年 全体 (n= 1953) | | 5.5 | 17.4 | 63.0 | 10.8 | 1.7 | 1.7 | 22.9 | 12.4 |

【2013年属性別】

| | | | | | | | | | |
|---------|------------------|-----|------|------|------|-----|-----|------|------|
| 性別 | 男子 (n= 937) | 4.7 | 21.9 | 63.1 | 8.9 | 1.0 | 0.5 | 26.6 | 9.8 |
| | 女子 (n= 1074) | 3.9 | 20.0 | 60.7 | 13.6 | 1.4 | 0.4 | 23.9 | 15.0 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 (n= 1287) | 4.1 | 23.2 | 61.4 | 10.0 | 0.9 | 0.3 | 27.4 | 11.0 |
| | 大学進学 (n= 1214) | 3.9 | 23.5 | 61.4 | 10.0 | 0.9 | 0.3 | 27.3 | 10.9 |
| | 短大進学 (n= 73) | 8.2 | 19.2 | 60.3 | 11.0 | 1.4 | — | 27.4 | 12.3 |
| | 専門学校進学 (n= 325) | 5.5 | 16.9 | 60.0 | 14.8 | 2.2 | 0.6 | 22.5 | 16.9 |
| | 就職 (n= 372) | 4.0 | 15.9 | 64.2 | 13.7 | 1.6 | 0.5 | 19.9 | 15.3 |
| 進路対話頻度別 | 話す・計 (n= 1601) | 4.2 | 22.0 | 64.3 | 8.6 | 0.4 | 0.4 | 26.2 | 9.1 |
| | 話さない・計 (n= 436) | 5.0 | 16.5 | 51.1 | 22.0 | 4.1 | 1.1 | 21.6 | 26.1 |

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh.Q14

10.保護者の行動・態度

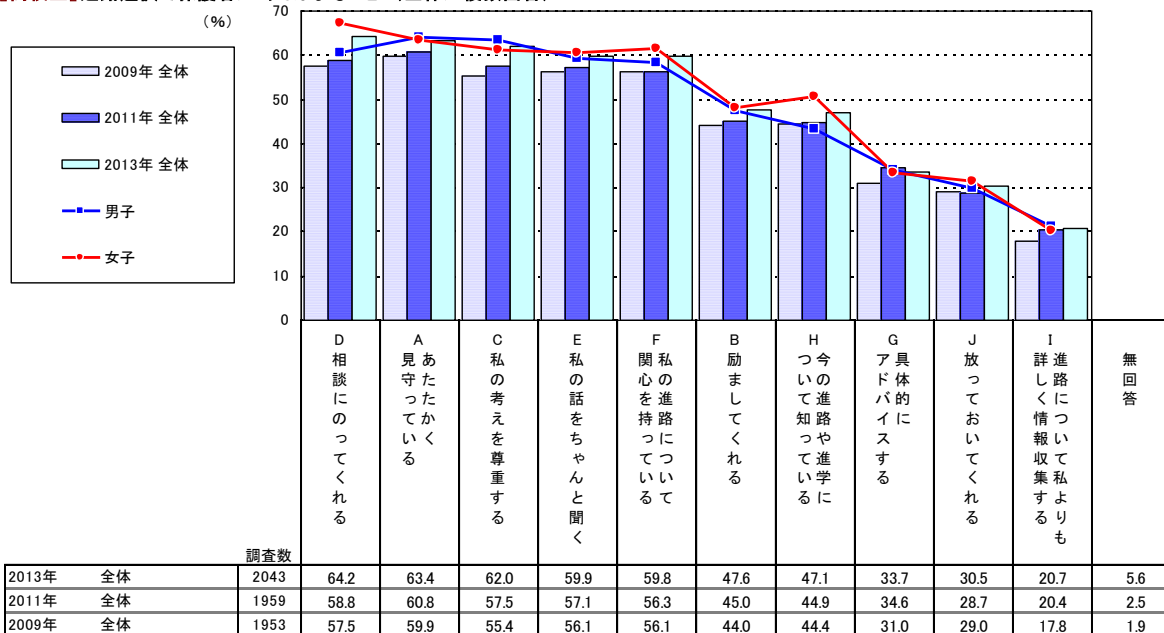
▶進路選択での保護者の行動・態度は「相談にのってくれる」がトップ。ついで「あたたかく見守っている」。

- ①相談にのってくれる(64%)
- ②あたたかく見守っている(63%)
- ③私の考えを尊重する(62%)
- ④私の話をちゃんと聞く(60%)
- ⑤私の進路について関心をもっている(60%)

▶進路についてよく話をする高校生ほど、保護者に相談にのってもらっている実感が強い。

- 進路選択に関する保護者の行動・態度を呈示し、自分の保護者に当てはまるものすべてを高校生に選んでもらったところ、「相談にのってくれる」がトップ。過去調査と上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、男子は「あたたかく見守っている」、女子は「相談にのってくれる」がトップ。女子は男子に比べ「相談にのってくれる」「今の進路や進学について知っている」などのスコアが高く、保護者との対話が進んでいる。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層のほうが「放っておいてくれる」を除く項目のスコアが高く、保護者は幅広い行動・態度で高校生の進路選択に関与していることがうかがえる。
- 進路選択に関する保護者の態度別(16ページの回答別)にみると、保護者の態度が「ちょうどいい」層では「あたたかく見守っている」「私の考えを尊重する」「相談に乗ってくれる」「私の話をちゃんと聞く」が7割と高い。また、「干渉」層では「進路について私よりも詳しく情報収集する」、「無関心」層では「放っておいてくれる」のスコアが他層に比べ目立って高い。

【高校生】進路選択で保護者に当てはまること (全体/複数回答)



【2013年属性別】

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2013年 全体 | 2043 | 64.2 | 63.4 | 62.0 | 59.9 | 59.8 | 47.6 | 47.1 | 33.7 | 30.5 | 20.7 | 5.6 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | |
| 男子 | 937 | 60.5 | 63.9 | 63.4 | 59.2 | 58.3 | 47.4 | 43.0 | 33.8 | 29.7 | 21.2 | 6.6 |
| 女子 | 1074 | 67.2 | 63.3 | 61.1 | 60.5 | 61.3 | 48.0 | 50.6 | 33.2 | 31.4 | 20.1 | 4.5 |
| 希望進路別 | | | | | | | | | | | | |
| 大学短大進学 | 1287 | 64.6 | 66.2 | 66.8 | 60.7 | 63.9 | 50.7 | 47.0 | 32.5 | 31.2 | 22.1 | 4.4 |
| 大学進学 | 1214 | 64.7 | 66.0 | 67.7 | 60.8 | 64.3 | 50.9 | 46.4 | 32.1 | 31.3 | 21.9 | 4.4 |
| 短大進学 | 73 | 63.0 | 69.9 | 52.1 | 58.9 | 56.2 | 46.6 | 57.5 | 38.4 | 30.1 | 24.7 | 5.5 |
| 専門学校進学 | 325 | 64.9 | 58.8 | 55.7 | 56.9 | 54.5 | 41.2 | 53.2 | 36.6 | 28.3 | 18.8 | 8.3 |
| 就職 | 372 | 63.2 | 61.0 | 53.5 | 61.3 | 50.8 | 43.8 | 43.8 | 34.7 | 30.9 | 17.2 | 5.6 |
| 進路対話頻度別 | | | | | | | | | | | | |
| 話す・計 | 1601 | 72.3 | 66.8 | 66.0 | 65.6 | 66.5 | 52.3 | 52.2 | 38.7 | 28.0 | 23.0 | 3.4 |
| 話さない・計 | 436 | 34.6 | 51.6 | 47.5 | 39.0 | 34.9 | 30.0 | 29.1 | 15.4 | 39.4 | 12.2 | 13.8 |
| 進路選択に関する保護者の態度別 | | | | | | | | | | | | |
| 干渉・計 | 516 | 56.0 | 47.5 | 46.7 | 45.5 | 61.4 | 40.7 | 44.8 | 37.4 | 16.9 | 26.9 | 10.1 |
| ちょうどいい | 1256 | 72.9 | 74.4 | 72.5 | 71.1 | 67.2 | 55.2 | 52.3 | 36.7 | 32.5 | 21.3 | 2.0 |
| 無関心・計 | 259 | 39.4 | 43.2 | 43.2 | 34.7 | 22.0 | 25.5 | 27.8 | 11.6 | 48.6 | 5.8 | 12.4 |

※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q12SQ1

11. 保護者にしてほしい行動・態度

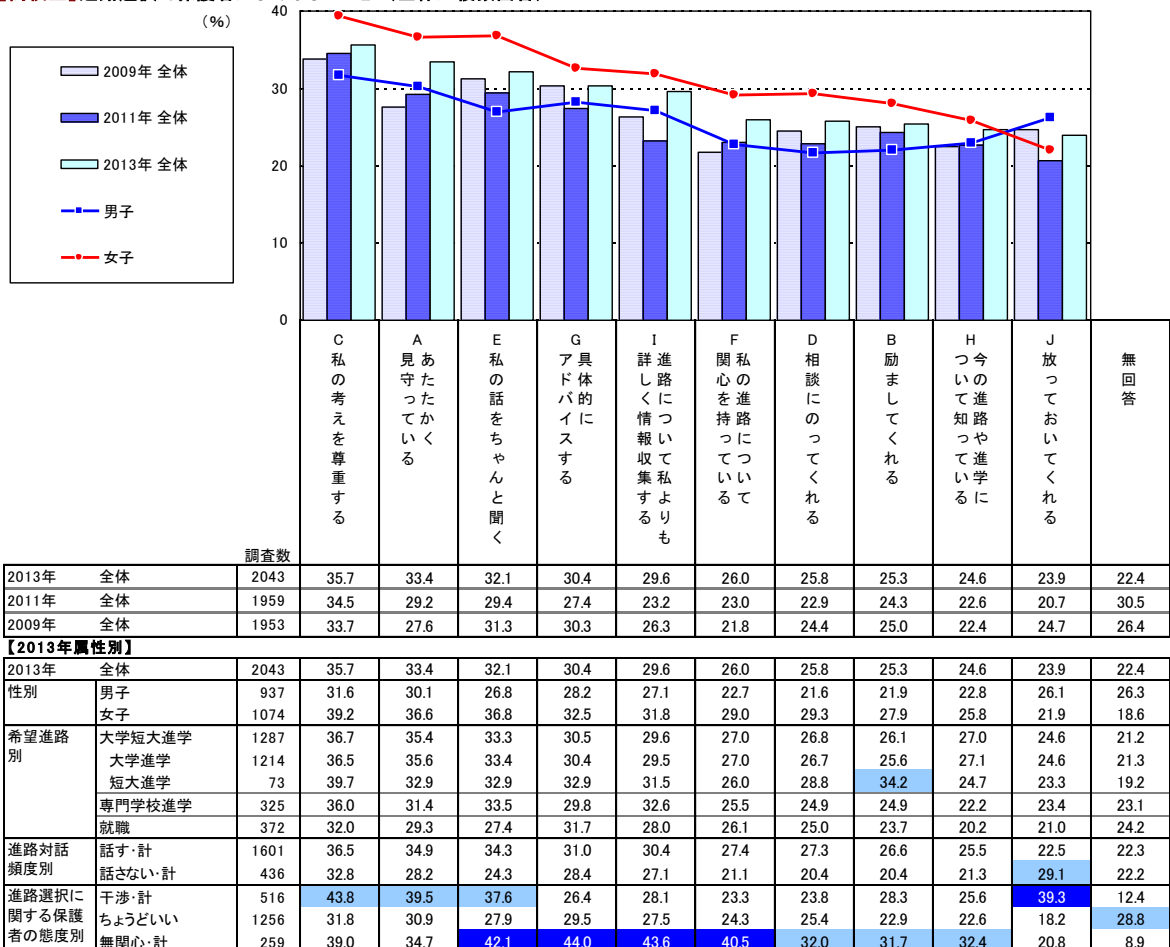
▶ 進路選択で保護者にしてほしい行動・態度は、「私の考えを尊重する」がトップ。

- ① 私の考えを尊重する(36%)
- ③ あたたく見守っている(33%)
- ② 私の話をちゃんと聞く(32%)
- ④ 具体的にアドバイスする(30%)
- ⑤ 進路について私よりも詳しく情報収集する(30%)

▶ 進路選択に関して保護者が干渉的と感じている高校生は「考えを尊重」など自主性を保つ距離感を、無関心と感じている高校生は「話をちゃんと聞く」「アドバイスする」「情報収集する」など積極的な関与をそれぞれ希望している。

- 17ページと同じ選択肢を用い、保護者に望む行動・態度を高校生に選んでもらった。「私の考えを尊重する」がトップ。過去調査と比較すると、「あたたく見守っている」「進路について私よりも詳しく情報収集する」は前回調査からスコアが増加した。
- 性別にみると、「放っておいてくれる」を除き女子のスコアが男子より高く、女子は保護者への要望が幅広い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層のほうが「放っておいてくれる」を除く全項目のスコアが高く、保護者への要望が幅広い。反対に「放っておいてくれる」は話さない層で3割と、保護者の関与に反発がみられる。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、「干渉」層では「私の考えを尊重する」「あたたく見守っている」「放っておいてくれる」のスコアが他層に比べ高い。一方、「無関心」層では「私の話をちゃんと聞く」「具体的にアドバイスする」「私の進路について関心をもっている」などが相対的に高く、保護者の積極的な関与を希望している。

【高校生】進路選択で保護者にしてほしいこと（全体／複数回答）



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q12SQ2

12.保護者にやめてほしい行動・態度

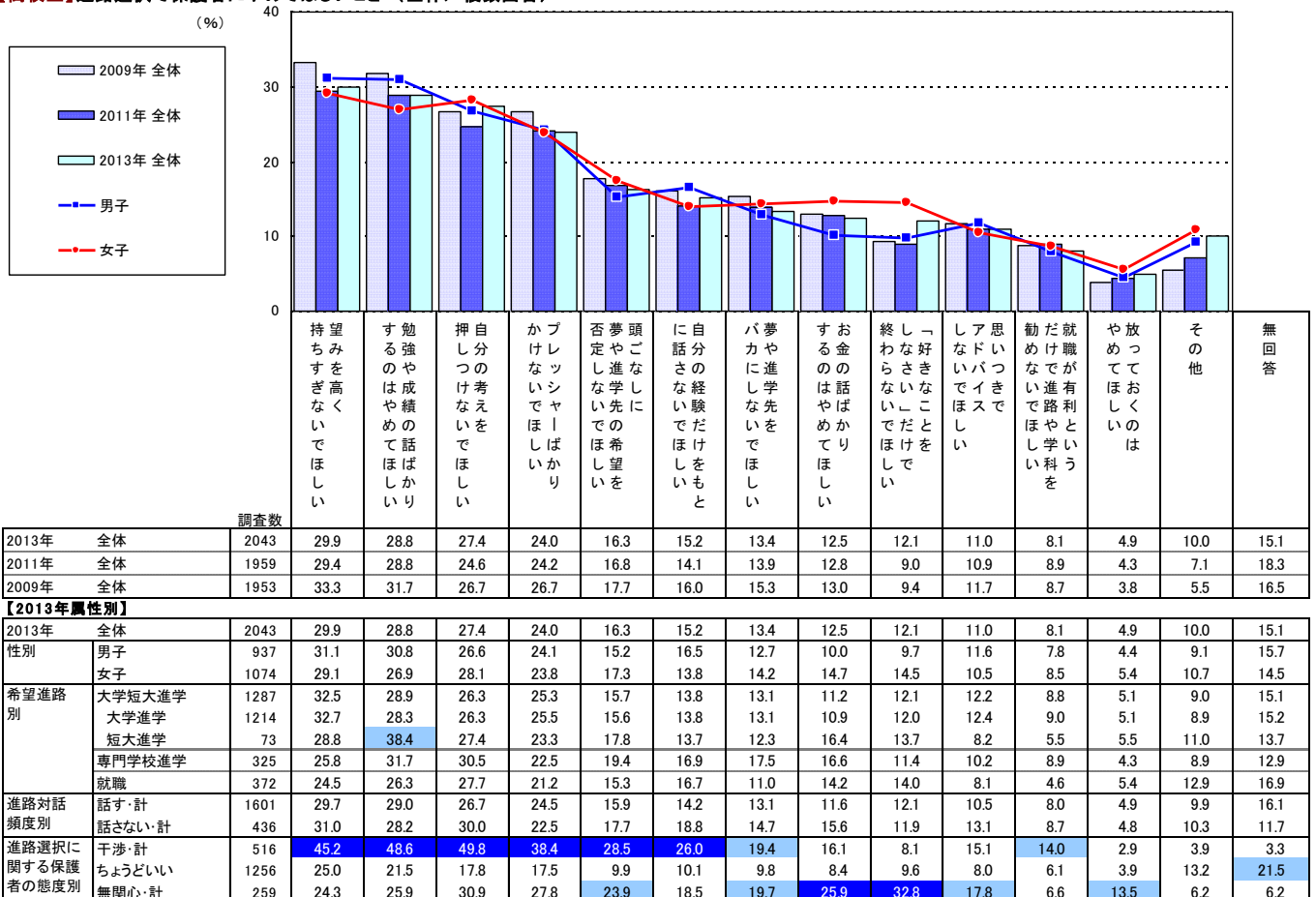
▶ 進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度は「高望み」と「勉強や成績の話」。

- ① 望みを高くもちすぎないでほしい(30%)
- ② 勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい(29%)
- ③ 自分の考えを押しつけないでほしい(27%)
- ④ プレッシャーばかりかけないでほしい(24%)
- ⑤ 頭ごなしに夢や進学先の希望を否定しないでほしい(16%)

▶ 進路選択に関して保護者が干渉的・無関心と感じている高校生は、やめてほしい行動・態度が多い。

- 高校生に進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度を選んでもらった。「望みを高くもちすぎないでほしい」「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」が約3割でトップに並ぶ。過去調査の結果と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様。女子は「お金の話ばかりするのはやめて」「好きなことをしなさいだけで終わらないで」のスコアが男子よりやや高い。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、「ちょうどいい」層に比べ「干渉」層では「自分の考えを押しつけないで」など過度の関与について、「無関心」層では「好きなことをしなさいだけで終わらないで」などの無関心さや無理解についての項目のスコアが高い。

【高校生】進路選択で保護者にやめてほしいこと（全体／複数回答）



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Ⅱ 進学すること・働くことに関する考え

13. 進学についての価値観

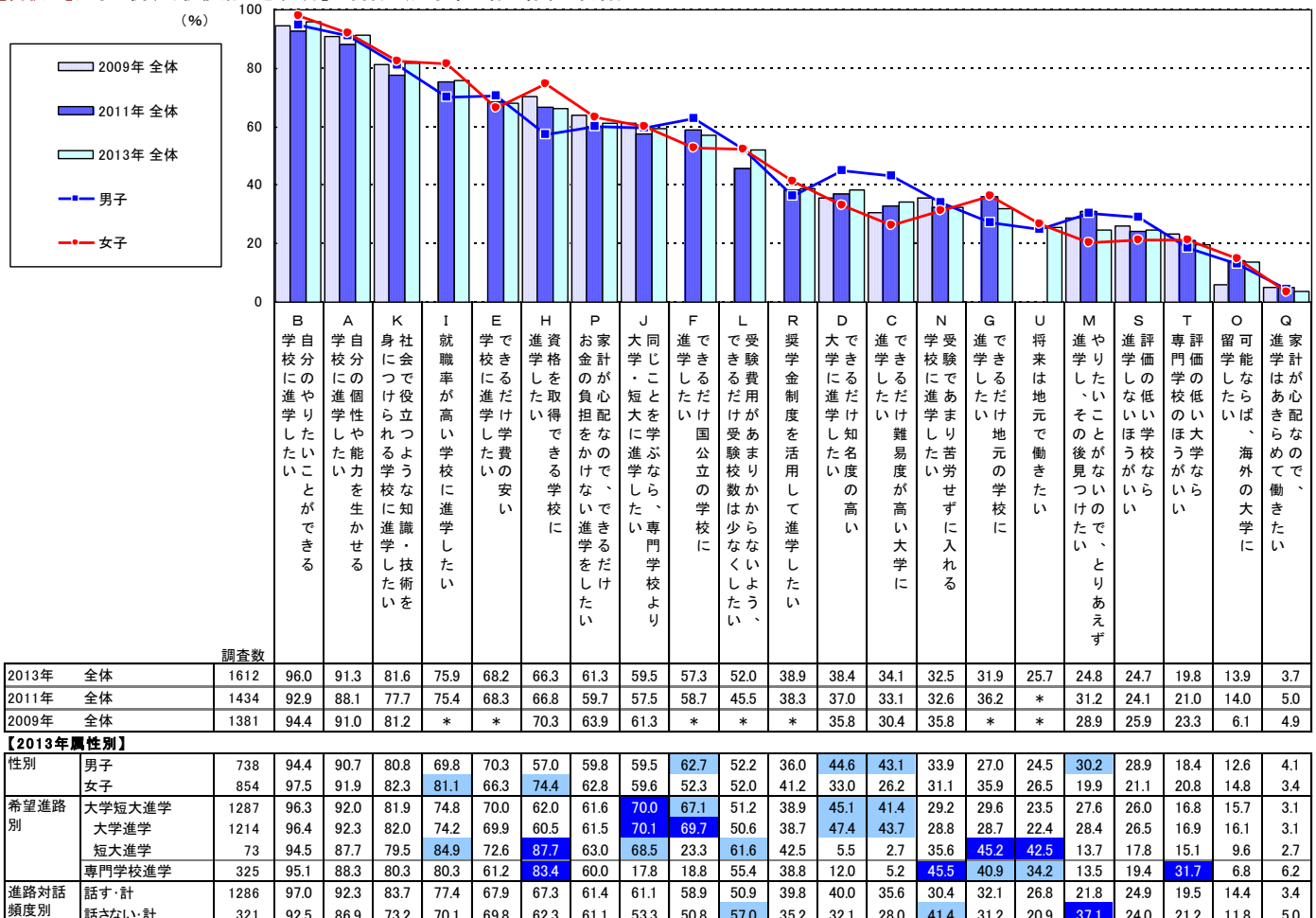
▶ 大学・短大・専門学校いずれかの進学を希望する高校生の、進学に関して思うことは

- ① 自分のやりたいことができる学校に進学したい(96%)
- ② 自分の個性や能力を生かせる学校に進学したい(91%)
- ③ 社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校に進学したい(82%)
- ④ 就職率が高い学校に進学したい(76%)
- ⑤ できるだけ学費の安い学校に進学したい(68%)

▶ 自分の「やりたいこと」「個性や能力」とともに「知識・技術」「就職率」を重視。

- 進学を希望する高校生と、子どもの進学を希望する保護者に、進学に関する価値観21項目についてそれぞれどう思うか尋ねた。高校生の「とてもそう思う」「まあそう思う」合計値が高い項目は上記のとおり。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様。男子は、「国公立の学校」「知名度の高い大学」「難易度が高い大学」が女子に比べ高く、有名・難関大学への進学を目標とする価値観が強い。一方女子は「就職率が高い学校」「資格を取得できる学校」のスコアが男子に比べ高く、進学先卒業後の職業を視野に入れた価値観が強い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学は「同じことを学ぶなら、専門学校より大学・短大」、専門学校進学は「評価の低い大学なら専門学校」のスコアはそれぞれ高く、進学先の志向が異なる。さらに、大学短大進学希望者のうち、大学進学は「国公立」「知名度」「難易度」など大学のブランド、短大進学は「就職率」「資格を取得」「費用」「地元の学校」「地元就職」のスコアが高く、重視する項目が異なる。

【高校生】進学に関する価値観：「思う・計」の割合（進学希望者／各単一回答）



※「2013年全体」降順ソート

※「2013年属性別」は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

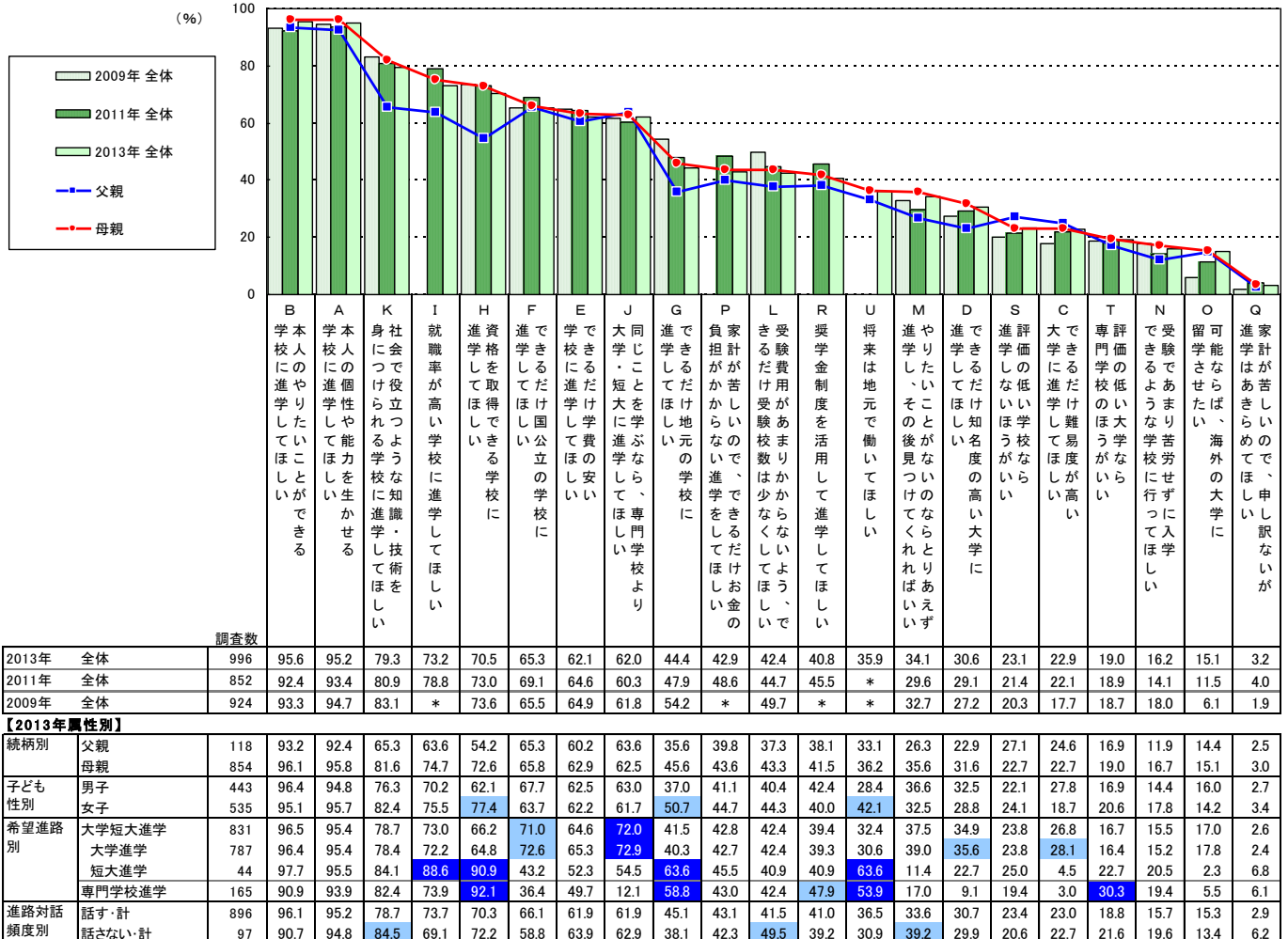
▶ 子どもの大学・短大・専門学校いずれかの進学を希望する保護者が進学に関して思うことは

- ① 本人のやりたいことができる学校に進学してほしい(96%)
- ② 本人の個性や能力を生かせる学校に進学してほしい(95%)
- ③ 社会で役立つような知識・技術を身につけられる学校に進学してほしい(79%)
- ④ 就職率が高い学校に進学してほしい(73%)
- ⑤ 資格を取得できる学校に進学してほしい(71%)

▶ 保護者も高校生と同様に「やりたいこと」「個性や能力」とともに「知識・技術」「就職率」「資格」を重視。

- 保護者の回答上位は上記のとおり。高校生で上位の項目は保護者でも順位は入れ替わるが上位に挙がり、重視する項目は同傾向である。
- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは同様。全般に父親より母親のほうがスコアが高い項目が多く、特に「役立つ知識・技術」「就職率」「資格を取得」が父親に比べ母親のスコアが高く、進学先卒業後の就職・仕事を重視している。
- 子ども性別にみると、男子に比べ女子は「資格を取得」「地元の学校」「地元で働いてほしい」が男子より高い。
- 希望進路別にみると、大学進学と短大進学・専門学校進学とで傾向が分かれる。大学進学は、「国公立の学校」「知名度の高い大学」「難易度が高い大学」のスコアが他進路に比べ高く、有名・難関大学志向が強い。短大進学・専門学校進学は、「資格を取得」「地元の学校」「地元で働いてほしい」が大学進学に比べ高い。

【保護者】進学に関する価値観：「思う・計」の割合（進学希望者／各単一回答）



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

14. 将来就きたい・就かせたい職業

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の70%が就きたい職業が「ある」。

▶ 就きたい職業は「公務員」が突出。以下「教師」「看護師」など国家資格が必要な職業が上位。
男子は「公務員」「技術者・研究者」、女子は「看護師」「保育士・幼稚園教諭」が人気。

- 高校生に将来就きたい職業はあるか尋ねたところ、「ある」が70%と過半数を占める。
- 性別にみると、女子で「ある」が75%と男子(65%)を大きく上回り、女子の多くが将来就きたい職業を決めている。
- 具体的に就きたい職業は、「公務員」が最も多く、「教師」「看護師」「保育士・幼稚園教諭」が続く。いずれも過去調査で上位5位以内に挙がっており、人気の職業であることがわかる。
- 男子は、「公務員」が突出。以下「教師」「技術者・研究者」「建築設計士」「製造・加工・組立」。
女子は、「看護師」が突出。以下「保育士・幼稚園教諭」「教師」「公務員」「事務」。

【高校生】将来、就きたい職業はあるか (全体/単一回答)



Kh.Q18

【高校生】就きたい職業TOP10 (就きたい職業がある/単一回答)

| | | 全体 | | | | | |
|----|---------------------------|----------------|----|----------------|----|----------------|----|
| | | 2013年 (n=1425) | | 2011年 (n=1269) | | 2009年 (n=1271) | |
| 順位 | 職業 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 |
| 1 | 公務員(国家・地方) | 8.6 | 1 | 10.0 | 2 | 7.9 | |
| 2 | 教師 | 7.6 | 3 | 6.4 | 3 | 7.2 | |
| 3 | 看護師 | 7.2 | 4 | 5.8 | 4 | 5.8 | |
| 4 | 保育士・幼稚園教諭 | 5.0 | 2 | 6.5 | 5 | 5.0 | |
| 5 | 技術者・研究者 | 4.7 | 5 | 4.3 | 7 | 3.7 | |
| 6 | 建築設計士 | 3.9 | 23 | 1.3 | 14 | 2.2 | |
| 7 | 医師・歯科医師・獣医 | 3.8 | 6 | 3.9 | 23 | 1.3 | |
| 8 | 薬剤師 | 2.7 | 13 | 2.4 | 15 | 2.1 | |
| 9 | 事務 | 2.6 | 10 | 3.0 | 18 | 1.9 | |
| 10 | 俳優・タレント・ミュージシャン・声優 | 2.5 | 6 | 3.9 | 6 | 3.9 | |
| 11 | 理学療法士・作業療法士 | 2.4 | 11 | 2.7 | 13 | 2.3 | |
| 12 | 製造・加工・組立 | 2.2 | 9 | 3.3 | 1 | 8.2 | |
| 12 | 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 | 2.2 | 8 | 3.6 | 8 | 3.6 | |
| 12 | トリマー・動物関連 | 2.2 | 20 | 1.4 | 16 | 2.0 | |
| 15 | ゲーム関係 | 2.0 | 13 | 2.4 | 10 | 2.9 | |
| 15 | スポーツトレーナー・インストラクター | 2.0 | 23 | 1.3 | 22 | 1.4 | |
| 17 | 音楽家・画家・芸術関連 | 1.9 | * | * | * | * | |
| 17 | 社会福祉士・介護福祉士・福祉関係 | 1.9 | 12 | 2.5 | 19 | 1.8 | |
| 19 | 客室乗務員・空港職員 | 1.8 | 32 | 0.7 | 12 | 2.4 | |
| 19 | ファッションデザイナー・スタイリスト・アパレル関連 | 1.8 | 23 | 1.3 | 28 | 0.7 | |

※[*]: 該当カテゴリなし

※2013年の「公務員(国家・地方)」は「公務員(国家・地方)」「公務員(警察・消防・自衛官)」の合算値

※「製造・加工・組立」は2011年では「製造・加工・組立」などのモノづくり

※「客室乗務員・空港職員」は2011年では「フライトアテンダント・グランドスタッフ」

(%)

| | | 男子 | | | | | |
|----|--------------------|---------------|----|---------------|----|---------------|----|
| | | 2013年 (n=605) | | 2011年 (n=567) | | 2009年 (n=628) | |
| 順位 | 職業 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 |
| 1 | 公務員(国家・地方) | 12.4 | 1 | 14.1 | 2 | 11.8 | |
| 2 | 教師 | 9.4 | 3 | 7.6 | 4 | 5.9 | |
| 3 | 技術者・研究者 | 7.9 | 2 | 8.1 | 5 | 5.6 | |
| 4 | 建築設計士 | 6.1 | 12 | 2.1 | 8 | 4.1 | |
| 5 | 製造・加工・組立 | 4.3 | 4 | 6.9 | 1 | 15.3 | |
| 6 | 医師・歯科医師・獣医 | 3.8 | 7 | 3.7 | 16 | 1.3 | |
| 6 | ゲーム関係 | 3.8 | 6 | 4.4 | 6 | 4.8 | |
| 8 | 薬剤師 | 3.3 | 14 | 1.9 | 10 | 1.9 | |
| 9 | 俳優・タレント・ミュージシャン・声優 | 3.0 | 5 | 5.3 | 7 | 4.6 | |
| 10 | 理学療法士・作業療法士 | 2.6 | 9 | 3.5 | 10 | 1.9 | |
| 10 | スポーツトレーナー・インストラクター | 2.6 | 12 | 2.1 | 16 | 1.3 | |

| | | 女子 | | | | | |
|----|---------------------------|---------------|----|---------------|----|---------------|----|
| | | 2013年 (n=802) | | 2011年 (n=659) | | 2009年 (n=614) | |
| 順位 | 職業 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 | 順位 |
| 1 | 看護師 | 11.6 | 1 | 10.2 | 1 | 10.1 | |
| 2 | 保育士・幼稚園教諭 | 7.9 | 2 | 9.9 | 2 | 9.3 | |
| 3 | 教師 | 6.4 | 4 | 5.6 | 3 | 8.6 | |
| 4 | 公務員(国家・地方) | 5.6 | 3 | 6.7 | 5 | 4.2 | |
| 5 | 事務 | 3.9 | 5 | 4.7 | 10 | 2.9 | |
| 6 | 医師・歯科医師・獣医 | 3.6 | 6 | 4.1 | 19 | 1.3 | |
| 7 | トリマー・動物関連 | 3.1 | 16 | 2.1 | 8 | 3.4 | |
| 8 | 音楽家・画家・芸術関連 | 3.0 | * | * | * | * | |
| 9 | 客室乗務員・空港職員 | 2.6 | 19 | 1.4 | 4 | 4.7 | |
| 10 | 薬剤師 | 2.2 | 9 | 3.0 | 15 | 2.4 | |
| 10 | 俳優・タレント・ミュージシャン・声優 | 2.2 | 10 | 2.7 | 10 | 2.9 | |
| 10 | 管理栄養士・栄養士 | 2.2 | 11 | 2.6 | 7 | 3.7 | |
| 10 | ファッションデザイナー・スタイリスト・アパレル関連 | 2.2 | 17 | 2.0 | 29 | 0.7 | |
| 10 | 技術者・研究者 | 2.2 | 23 | 1.1 | 17 | 1.8 | |
| 10 | 建築設計士 | 2.2 | 31 | 0.6 | 39 | 0.2 | |
| 10 | ホテル・旅館の接客 | 2.2 | 33 | 0.5 | 19 | 1.3 | |

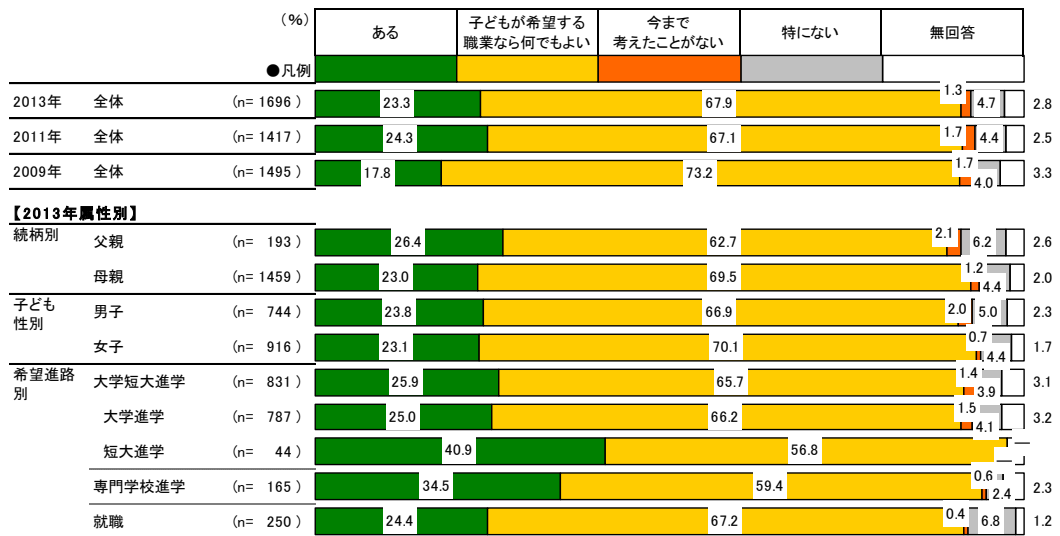
2)保護者が子どもに将来就いてほしい職業

▶ 保護者の23%が子どもに就いてほしい職業が「ある」。「子どもが希望する職業なら何でもよい」が最も多く、68%。

▶ 就いてほしい職業は「公務員」が突出。以下「看護師」「教師」「理学療法士・作業療法士」など雇用が安定した職業や医療系職種が上位。

- 保護者に子どもに将来就いてほしい職業はあるか尋ねたところ、「子どもが希望する職業なら何でもよい」(68%)が過半数を占める。就いてほしい職業が「ある」は23%。
- 具体的に就いてほしい職業は、「公務員」が突出。ついで「看護師」「教師」「理学療法士・作業療法士」が続く。「公務員」「看護師」「教師」は過去調査でも上位5位以内に挙がっている。「理学療法士・作業療法士」は2011年調査では11位であったが、2013年は4位に上昇した。
- 子どもが男子の場合、「公務員」が突出。「理学療法士・作業療法士」「教師」「建築設計士」が続く。女子の場合は、「看護師」「公務員」が突出。ついで「管理栄養士・栄養士」「保育士・幼稚園教諭」。

【保護者】将来、子どもに就いて欲しい職業はあるか（全体／単一回答）



Hh.Q14

【保護者】就いてほしい職業TOP10(就いてほしい職業がある／単一回答) (%)

| 全体 | | | | |
|----|---------------------|---------------|---------------|---------------|
| 順位 | 職業 | 2013年 (n=396) | 2011年 (n=345) | 2009年 (n=266) |
| 1 | 公務員(国家・地方) | 27.5 | 1 29.3 | 1 35.0 |
| 2 | 看護師 | 14.9 | 2 15.4 | 2 10.9 |
| 3 | 教師 | 5.3 | 4 5.2 | 3 9.0 |
| 4 | 理学療法士・作業療法士 | 5.1 | 11 3.2 | 5 3.0 |
| 5 | 医師・歯科医師・獣医 | 4.3 | 3 6.1 | 17 1.1 |
| 6 | 建築設計士 | 4.0 | 15 0.6 | 20 0.8 |
| 7 | 技術者・研究者 | 3.3 | 9 3.5 | 7 2.6 |
| 8 | 管理栄養士・栄養士 | 2.8 | 21 0.3 | 11 1.9 |
| 9 | 保育士・幼稚園教諭 | 2.5 | 5 4.9 | 7 2.6 |
| 9 | 薬剤師 | 2.5 | 9 3.5 | 4 4.5 |
| 11 | 会社員 | 2.3 | 12 2.3 | 11 1.9 |
| 12 | 事務 | 2.0 | 6 4.3 | 17 1.1 |
| 13 | 会計士・税理士 | 1.5 | 30 — | 17 1.1 |
| 13 | 農業 | 1.5 | 21 0.3 | 27 — |
| 15 | 製造・加工・組立 | 1.3 | 8 3.8 | 7 2.6 |
| 16 | 弁護士・法律関連 | 1.0 | 15 0.6 | 7 2.6 |
| 16 | グラフィックデザイナー・CGデザイナー | 1.0 | 15 0.6 | 23 0.4 |
| 16 | 社会福祉士・介護福祉士・福祉関係 | 1.0 | 7 4.1 | 5 3.0 |
| 16 | 心理カウンセラー | 1.0 | 14 1.2 | 14 1.5 |
| 20 | 店員・販売関連 | 0.8 | 30 — | 23 0.4 |
| 20 | 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 | 0.8 | 13 1.7 | 11 1.9 |
| 20 | トリマー・動物関連 | 0.8 | 30 — | 14 1.5 |
| 20 | スポーツトレーナー・インストラクター | 0.8 | 21 0.3 | 27 — |

※【*】:該当カテゴリーなし

※2013年の「公務員(国家・地方)」は「公務員(国家・地方)」「公務員(警察・消防・自衛官)」の合算値

※「製造・加工・組立」は2011年では「製造・加工・組立」などのモノづくり

| 子ども性別: 男子 | | | | |
|-----------|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 順位 | 職業 | 2013年 (n=177) | 2011年 (n=131) | 2009年 (n=131) |
| 1 | 公務員(国家・地方) | 35.0 | 1 42.7 | 1 51.1 |
| 2 | 理学療法士・作業療法士 | 7.9 | 8 2.3 | 6 3.1 |
| 3 | 教師 | 7.3 | 2 7.6 | 2 6.1 |
| 4 | 建築設計士 | 6.2 | 12 0.8 | 10 1.5 |
| 5 | 医師・歯科医師・獣医 | 5.1 | 5 4.6 | 10 1.5 |
| 5 | 技術者・研究者 | 5.1 | 3 6.9 | 5 3.8 |
| 7 | 会社員 | 3.4 | 5 4.6 | 6 3.1 |
| 8 | 薬剤師 | 2.8 | 7 3.1 | 3 4.6 |
| 8 | 農業 | 2.8 | 12 0.8 | 21 — |
| 10 | 看護師 | 2.3 | 8 2.3 | 6 3.1 |
| 10 | 会計士・税理士 | 2.3 | 25 — | 10 1.5 |
| 10 | 製造・加工・組立 | 2.3 | 4 6.1 | 3 4.6 |

| 子ども性別: 女子 | | | | |
|-----------|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 順位 | 職業 | 2013年 (n=212) | 2011年 (n=206) | 2009年 (n=127) |
| 1 | 看護師 | 25.5 | 1 22.8 | 2 17.3 |
| 2 | 公務員(国家・地方) | 20.8 | 2 20.9 | 1 19.7 |
| 3 | 管理栄養士・栄養士 | 5.2 | 17 0.5 | 7 3.1 |
| 4 | 保育士・幼稚園教諭 | 4.2 | 3 7.8 | 4 5.5 |
| 5 | 教師 | 3.8 | 7 3.9 | 3 12.6 |
| 5 | 医師・歯科医師・獣医 | 3.8 | 4 7.3 | 15 0.8 |
| 5 | 事務 | 3.8 | 5 6.8 | 14 1.6 |
| 8 | 理学療法士・作業療法士 | 2.8 | 9 3.4 | 7 3.1 |
| 9 | 建築設計士 | 2.4 | 17 0.5 | 22 — |
| 9 | 薬剤師 | 2.4 | 7 3.9 | 5 4.7 |

<フリーコメント> 将来就きたい職業の理由【高校生】

■公務員(国家・地方、警察・消防・自衛官)

- 地域のために働くのが自分のやりたいことだから [滋賀/男子/大学]
- 経済的に安定して休みがきちんとある。レストランの心配がないから [岩手/女子/就職]
- 昔からの夢で人を助けたり守ったりする仕事に就きたいから [東京/女子/大学]

■教師

- はじめ、体罰などの学校問題をなくしたい、生徒と向き合いたい [滋賀/女子/大学]
- 体育教師になって岩手のスポーツに貢献したいから [岩手/男子/大学]
- 安定している職。結婚して出産しても仕事しやすいから [富山/女子/大学]

■看護師

- やりがいがあり、なおかつ人の役に立てる仕事だから [富山/女子/大学]
- 看護体験を通して、人と関わりが持てる職業がいいと思ったから [佐賀/女子/大学]
- 資格を取って安定した生活を送りたいし、昔から憧れがある [岩手/女子/大学]

■保育士・幼稚園教諭

- 子供が好き。ピアノを習っていたのを生かしたい [滋賀/女子/短大]
- 子供がとても好きで物事を教えたりほめたりすることが好きだから [岩手/男子/短大]

■技術者・研究者

- 機械に興味があり開発などに携わる仕事がしたい [富山/女子/大学]
- 色々なことを研究し、社会に役立てたいから [神奈川/女子/大学]

<フリーコメント> 将来就いてほしい職業の理由【保護者】

■公務員(国家・地方、警察・消防・自衛官)

- 安定している、使命感のある一生の仕事と思う [富山/母親/男子]
- 体を鍛えてきたので、それを活かしたい。人の為になる仕事をさせたい [静岡/母親/男子]
- 地元で働いてほしいが、働く場所がない。公務員しかない [香川/母親/男子]
- 給料が男女同じで、女性にとっては良い。 [静岡/母親/女子]

■看護師

- どこに行っても就職できる。やりがいもある [滋賀/母親/女子]
- 一生働けて、がんばるととてもやりがいのあるもの。結婚・出産等に影響なく再復帰可能だから [北海道/母親/女子]
- 女性が働きやすく選択しやすい職である [東京/母親/女子]

■教師

- 社会に必要とされている職業。安定しているから [富山/母親/女子]
- 子供の希望でもあるし、それが本人に合っている [香川/母親/男子]
- 先日、目標としている先生の名前を子ども自身から聞いて、きちんと志を持っていることを実感できた [岩手/母親/男子]

■理学療法士・作業療法士

- 高齢化がますます進み、必要性が高い職業の一つではないかと思ったため [岩手/母親/男子]
- 技術が身につく、卒業後、就職率が良い [神奈川/母親/女子]

■医師・歯科医師・獣医

- 命に関わる素晴らしい仕事と思うから [佐賀/母親/男子]
- 祖父母、父親がその職業に就いている。何よりも本人も望んでいるし、性格に合っていると思う [富山/母親/男子]

■建築設計士

- やりがいがあり、終わった後の達成感が得られるような職業で憧れでもあるから [静岡/男子/大学]
- 都市計画がしたいから。復興のみならず、「安心できる、好きになる」まちに…日本全体にしたい [岩手/女子/大学]

■医師・歯科医師・獣医

- スポーツ医として生涯スポーツに関わりたいから [岩手/女子/大学]
- 人の命を救うことに対して直接携われるから [東京/男子/大学]

■薬剤師

- チーム医療の一員として医師や看護師と連携を取るこれからの薬剤師像に魅力を感じたから [岩手/女子/大学]
- 人の健康を守り、地域の方々が安心して生活できるようにする為 [佐賀/男子/大学]

■事務

- 商業高校で学んだことが生かせるのに、一番近いから [佐賀/女子/就職]
- 人前に出るのが得意じゃないので、裏でこつこつ仕事をしたいから [北海道/女子/就職]

■俳優・タレント・ミュージシャン・声優

- テレビにでるのはむずかしいけれど、輝いている自分でありたい [神奈川/女子/就職]
- 自分の好きな事で仕事するのは大変だと思うけど、やりがいがあるから [滋賀/男子/その他]

■建築設計士

- 家が建設業のため [富山/母親/女子]
- 現在、建築科であり、今後も建築設計士をめざし、大学へ進学する予定だから [静岡/母親/男子]

■技術者・研究者

- 技術者である祖父を尊敬している。本人の趣味・性格がこの職種に向いていると考えられる [岩手/母親/男子]
- 性格がおとなしい。じっくりと物事に取り組む(ことが向いている) [神奈川/母親/男子]

■管理栄養士・栄養士

- 国家試験なので、一生資格が続く。資格を持っていると就職に有利。女性が続けやすいと思う [香川/母親/女子]
- 本人が日頃から食に気を遣っており、食が多様化している現代において重要な役割を担う職業だと考えるから [富山/父親/女子]

■保育士・幼稚園教諭

- 子どもが小学生の頃から希望する職業のため資格取得して夢をかなえてほしいので [神奈川/母親/女子]
- 子供が希望しているし、本人に向いていると思う [岩手/父親/男子]

■薬剤師

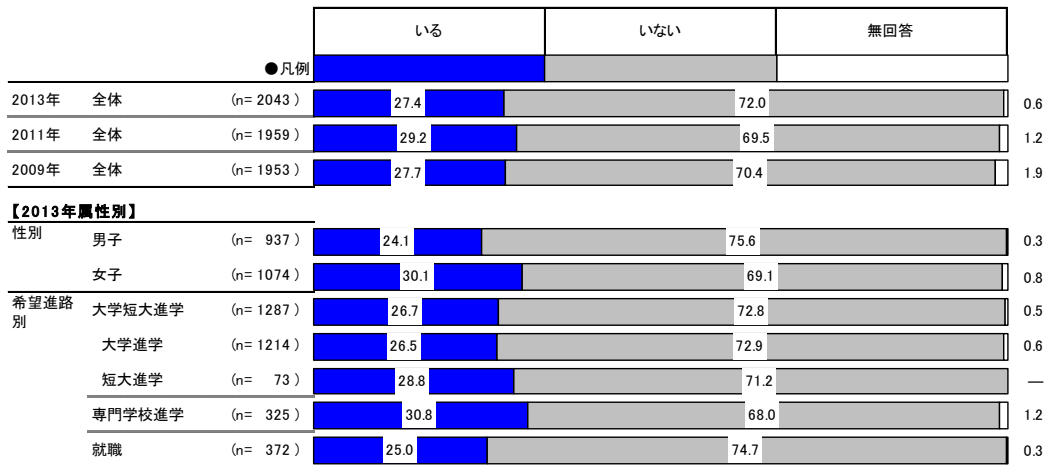
- 就職に有利で安定した職業の為 [佐賀/母親/男子]
- 出産・育児休業後、復職(復帰)しやすいと思うので [静岡/母親/女子]

15. 目指している・あこがれている人

- ▶ 目指している人やあこがれている人が「いる」高校生は27%。
- ▶ 目指している人物として、「父親」は18%、「母親」は12%。

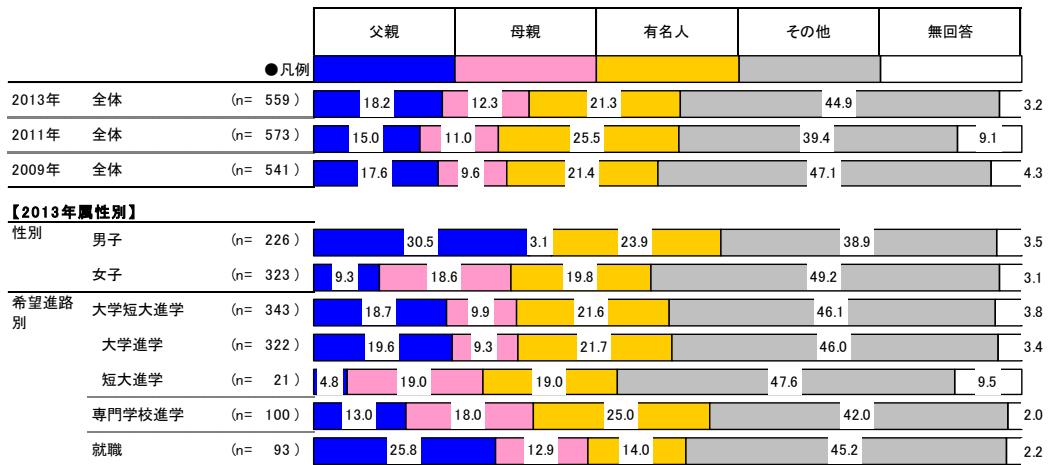
- 高校生に目指す人・あこがれる人はいるか尋ねたところ、「いる」は27%。過去調査と比較して変化はない。
- 目指す人・あこがれる人がいる高校生にその対象を選んでもらった。「有名人」が最も多く21%。ついで「父親」(18%)、「母親」(12%)。
- 性別にみると、男子は「父親」、女子は「母親」の割合が多く、同性の親を理想とする傾向がみられる。

【高校生】目指している・あこがれている人はいるか（全体／単一回答）



Kh_Q17

【高校生】目指している・あこがれている人（目指している人がいる／単一回答）



Kh_Q17SQ1

<フリーコメント> 目指している・あこがれている理由【高校生】

■父親

- 家を養ってくれている、その姿にあこがれがある[香川/男子/大学]
- 父の仕事を経ごうと考えているから[神奈川/男子/就職]
- 仕事ぶりも人間性もすごく尊敬している[佐賀/男子/専門学校]
- 働いて家庭サービスもして良き父親[神奈川/男子/大学]

■母親

- 忙しくても家の事、子供の事を考えてくれている[香川/女子/その他]
- 仕事に一生懸命で家事もこなし、家族のことをしっかり考えてくれるから[富山/女子/大学]
- よく働いていて、男性と同じくらいがんばっている[静岡/女子/大学]

※有名人

「宮崎駿」「秋元康」「池上彰」、その他:声優、スポーツ選手、ミュージシャン、タレントなど

※その他

「兄」「姉」など兄弟・親戚、小学校～高校の「先生」「先輩」、就きたい職業の人物など

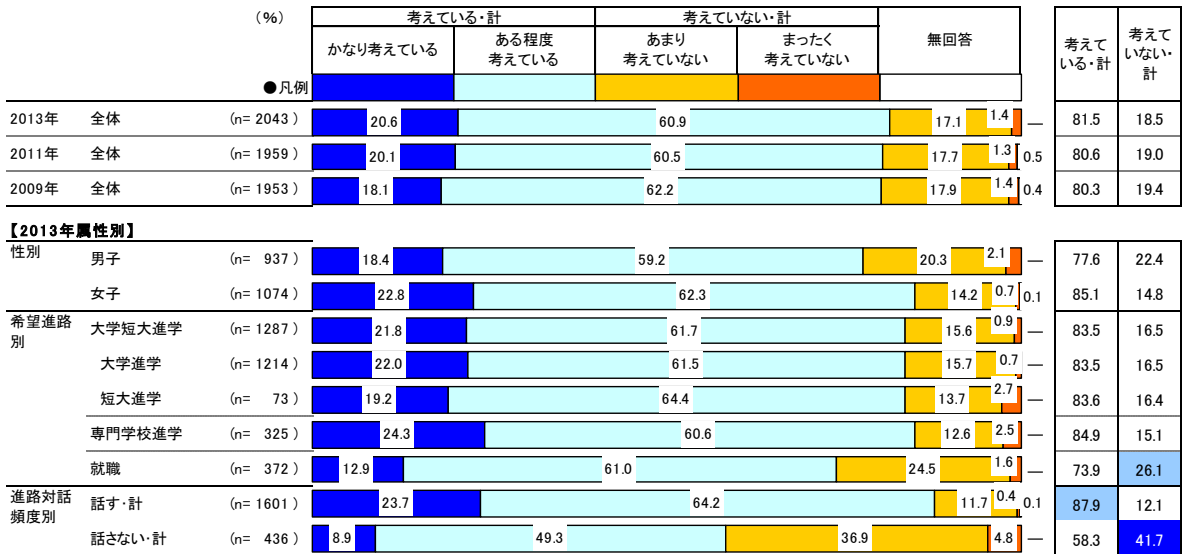
Ⅲ 進路にまつわる期待と不安

16.進路意識と将来への自信

- ▶ 高校生の82%が進路について「考えている」。自分の進路を歩んでいけると「思う」高校生は72%。
- ▶ 進路について保護者と話す高校生のほうが、進路意識と将来の自信が高まる。

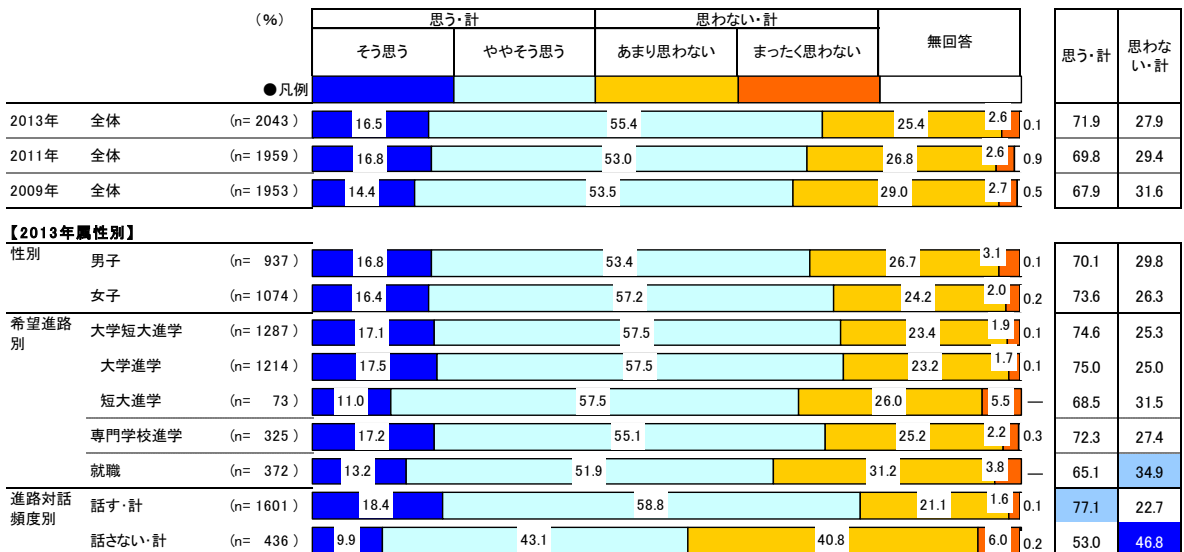
- 高校2年生の時点で進路選択についてどの程度考えているか高校生に質問したところ、21%が「かなり考えている」と回答。「ある程度考えている」の61%と合わせると82%が進路について考えている(考えている・計)。
- 性別にみると、「考えている・計」は女子が85%と男子(78%)より多く、女子のほうが進路検討意識が高い。
- 希望進路別にみると、「考えている・計」は大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は8割強を占めるが、就職希望者は7割と考えている割合が少ない。
- また、これからいろいろなことがあっても自分の進路を歩んでいけそうか高校生に質問した。「そう思う」は17%、「ややそう思う」の55%を含め72%が歩んでいけそうと思っている(思う・計)。
- 男女とも「思う・計」は7割と過半数を占める。
- 希望進路別にみると、「思う・計」は大学短大進学、専門学校進学の進学希望者で7割強。一方、就職希望者は65%と進学希望者に比べ実現可能であるという認識が相対的に低い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層のほうが進路選択について「考えている」、自分の進路を歩んでいけると「思う」どちらも多く、活発な会話は積極的な進路意識と将来への自信にむすびついていることがわかる。

【高校生】自分の進路選択について考えているか (全体/単一回答)



Kh.Q04

【高校生】自分の進路を歩んでいけそうか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh.Q05

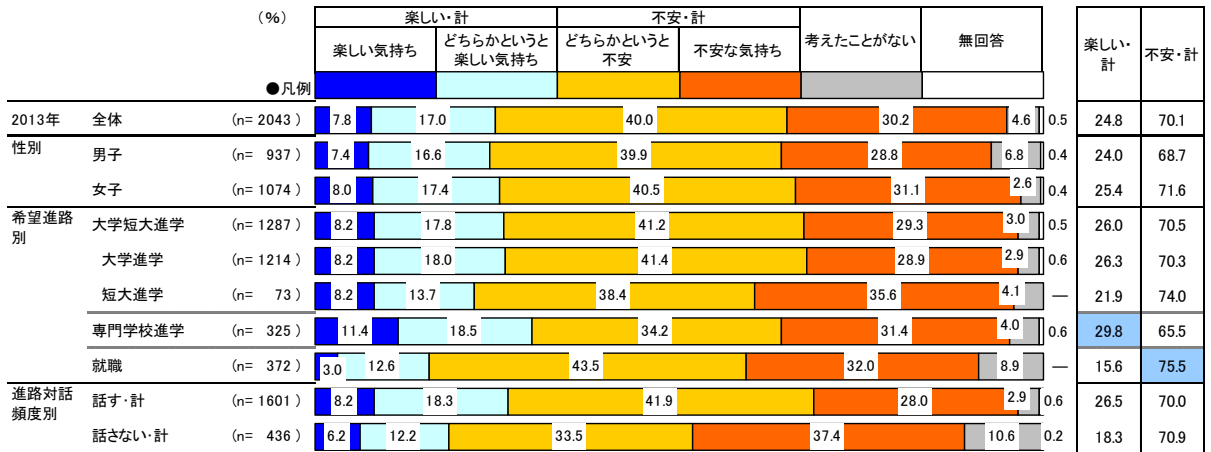
17.進路を考えたときの気持ち

▶ 進路を考えたとき、高校生の70%が「不安」。

▶ 進路について保護者と話す高校生は、「楽しい」の割合が比較的高く、進路について前向き。

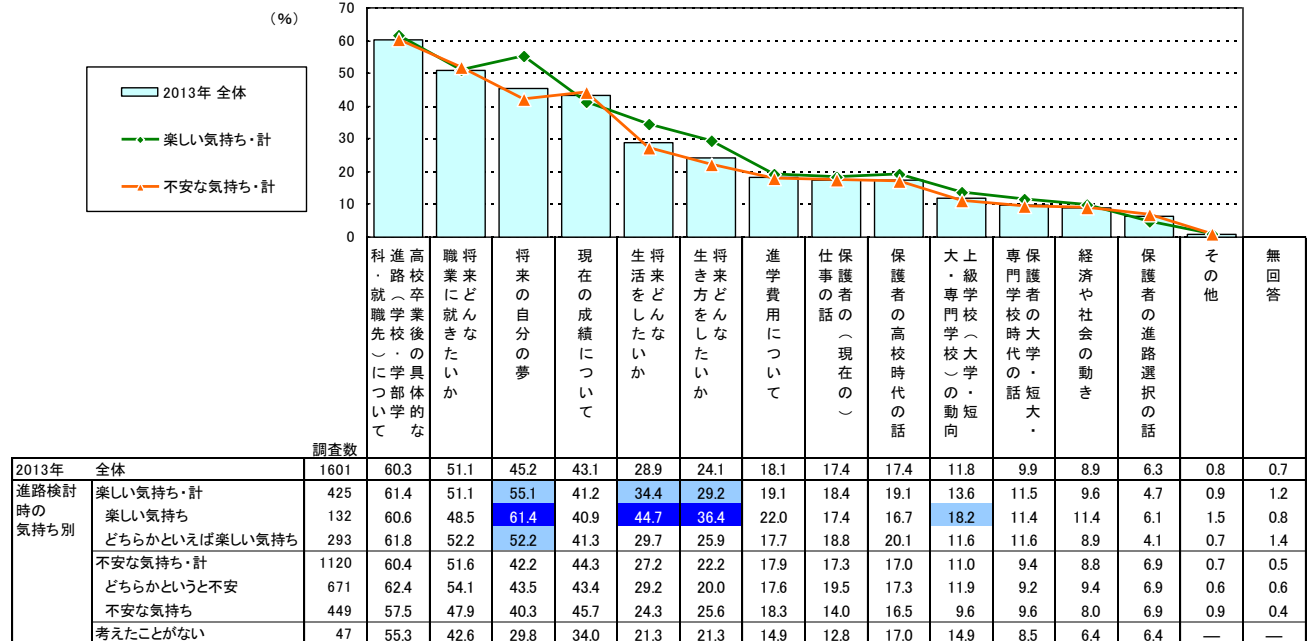
- 高校生に進路を考えたとき、どんな気持ちになるか質問したところ、「楽しい気持ち」は8%。「どちらかという楽しい気持ち」の17%を合わせて25%が「楽しい」と回答した(楽しい・計)。一方、「どちらかという不安」(40%)、「不安な気持ち」(30%)をあわせた「不安・計」は7割と、進路に不安を感じている者が過半数を占めている。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層では「楽しい・計」が27%で話をしない層に比べて高い。話をしない層では「考えたことがない」(11%)が話をする層に比べて高く、保護者と対話していないだけでなく、進路について考えることに消極的な姿勢がみられる。
- さらに、進路を考えたときの気持ち別に保護者と話す内容(6ページ参照)をみると、「楽しい気持ち・計」の高校生は「将来の自分の夢」「将来どんな生活をしたいか」「将来どんな生き方をしたいか」のスコアが相対的に高く、自分の将来のあり方について保護者と話している。

【高校生】進路について考える時、どんな気持ちになるか (全体/単一回答)



Kh_Q06

【高校生】《進路を考えたときの気持ち別》進路についてどんな話をしているか (よく話をする～時々話をする/複数回答)



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q01SQ1(Q6別)

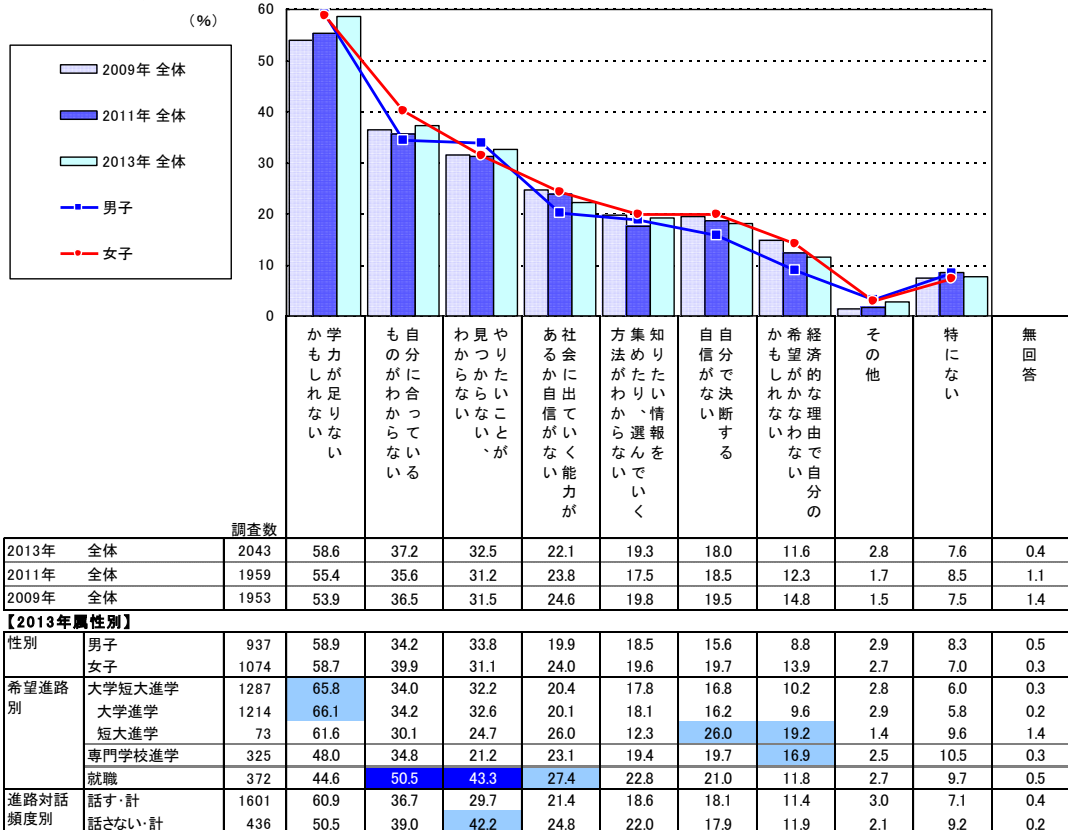
18.進路選択についての気がかり

▶ 進路選択について高校生の最大の気がかりは「学力不足」。

- ① 学力が足りないかもしれない(59%)
- ② 自分に合っているものがわからない(37%)
- ③ やりたいことが見つからない、わからない(33%)

- 高校生に進路選択についての気がかりをすべて選んでもらった。トップは「学力が足りないかもしれない」で59%と半数を超える。過去調査と比較して、上位の顔ぶれは変わらない。
- 性別にみると、女子は男子に比べ「自分に合っているものがわからない」「経済的な理由で希望がかなわないかもしれない」のスコアがやや高い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は「学力が足りないかもしれない」、就職希望者は「自分に合っているものがわからない」がそれぞれトップ。就職希望者はさらに「やりたいことが見つからない、わからない」のスコアが進学希望者に比べ高く、進路を選択するうえで自分の適性・希望がわからない高校生が多い。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層は話をしない層に比べて「学力が足りないかもしれない」が高く、話をしない層は「やりたいことがみつからない、わからない」のスコアが相対的に高い。

【高校生】進路選択についての気がかり（全体／複数回答）



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q07

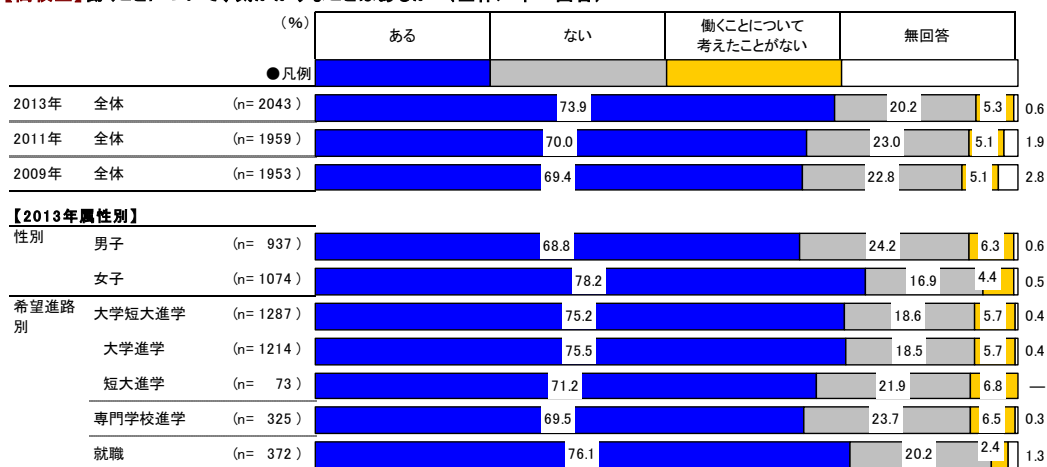
19. 将来働くことについての気付き

1) 高校生が将来働くことについて気付きはあるか

▶ 高校生・保護者とも、7割が将来働くことについて気付きが「ある」。

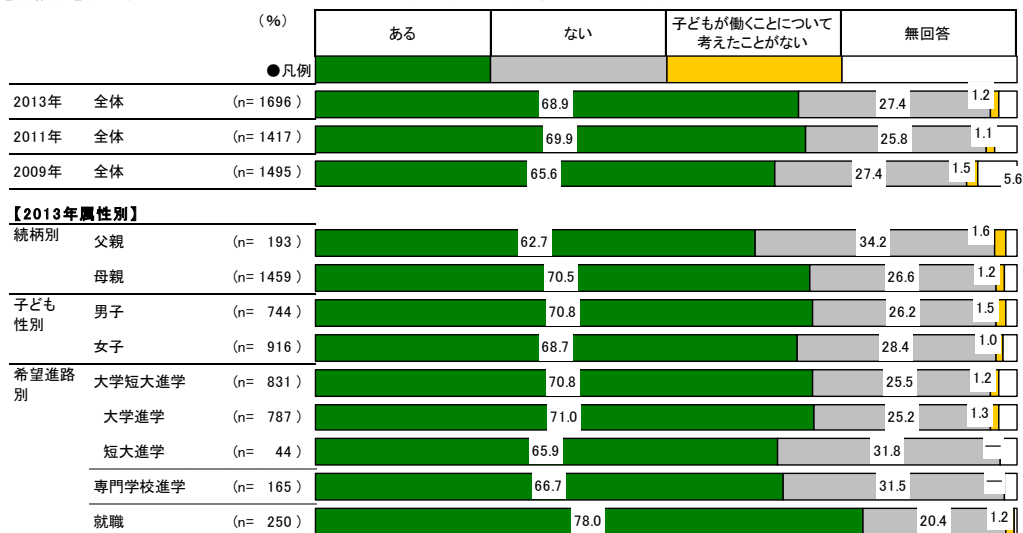
- 高校生が将来働くことについて気付きなことがあるかという質問に、高校生の74%が「ある」と回答。過去調査と比較すると、「ある」の割合は2011年からやや増加。
- 性別にみると、「ある」の割合は女子(78%)が男子(69%)よりも多い。
- 同様に、保護者にも将来子どもが働くことについて気付きはあるか尋ねたところ、69%が「ある」。過去調査と比較すると、「ある」の割合は2011年から変化なし。
- 続柄別にみると、「ある」の割合は母親(71%)が父親(63%)を上回る。
- 希望進路別にみると、進学希望者(大学短大・専門学校)よりも就職希望者のほうが「ある」の割合が高い。

【高校生】働くことについて、気付きなことはあるか (全体/単一回答)



Kh_Q20

【保護者】将来、子どもが働くことについて気付きはあるか (全体/単一回答)



Hh_Q15

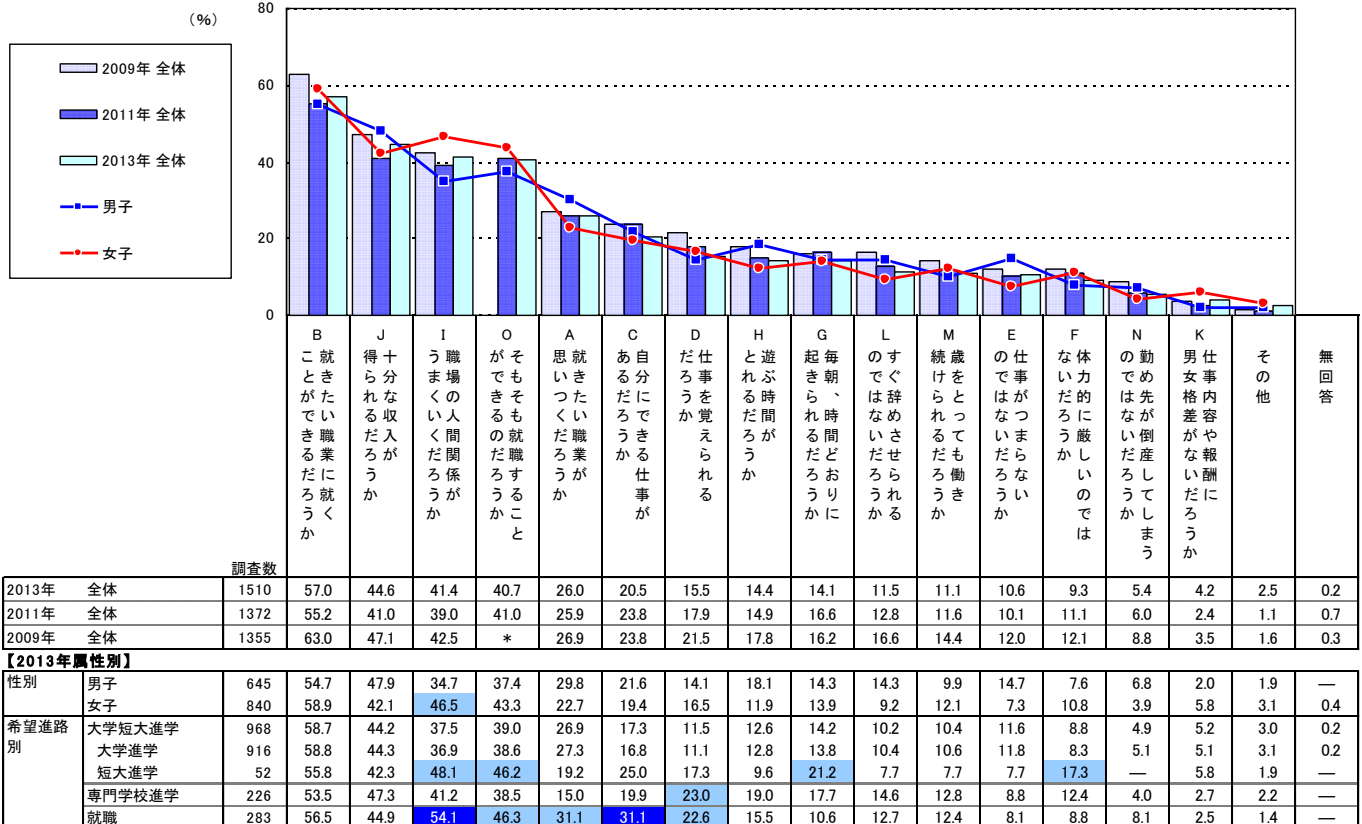
2) 将来働くことについて気がかりなこと

▶ 将来働くことについて、高校生の最大の気がかりは「就きたい職業に就けるか」。

- ① 就きたい職業に就くことができるだろうか(57%)
- ② 十分な収入が得られるだろうか(45%)
- ③ 職場の人間関係がうまくいだろうか(41%)
- ④ そもそも就職することができるのだろうか(41%)
- ⑤ 就きたい職業が思いつくだろうか(26%)

- 将来働くことに気がかりが「ある」高校生と保護者に、具体的に気がかりな内容を5項目まで選んでもらった。高校生の回答上位は上記のとおり。
- 性別にみると、「職場の人間関係がうまくいだろうか」は男子よりも女子のほうがスコアが高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路も上位の顔ぶれは同様。就職希望者は「職場の人間関係」「そもそも就職することができるか」「就きたい職業が思いつくか」「自分に行ける仕事があるだろうか」が進学希望者に比べスコアが高く、人間関係や仕事の適性に対する不安が強い。

【高校生】働くことについて気がかりなこと（気がかりがある／5項目まで回答）



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

▶ 子どもが将来働くことについて、保護者の最大の気掛かりも「就きたい職業に就けるか」。

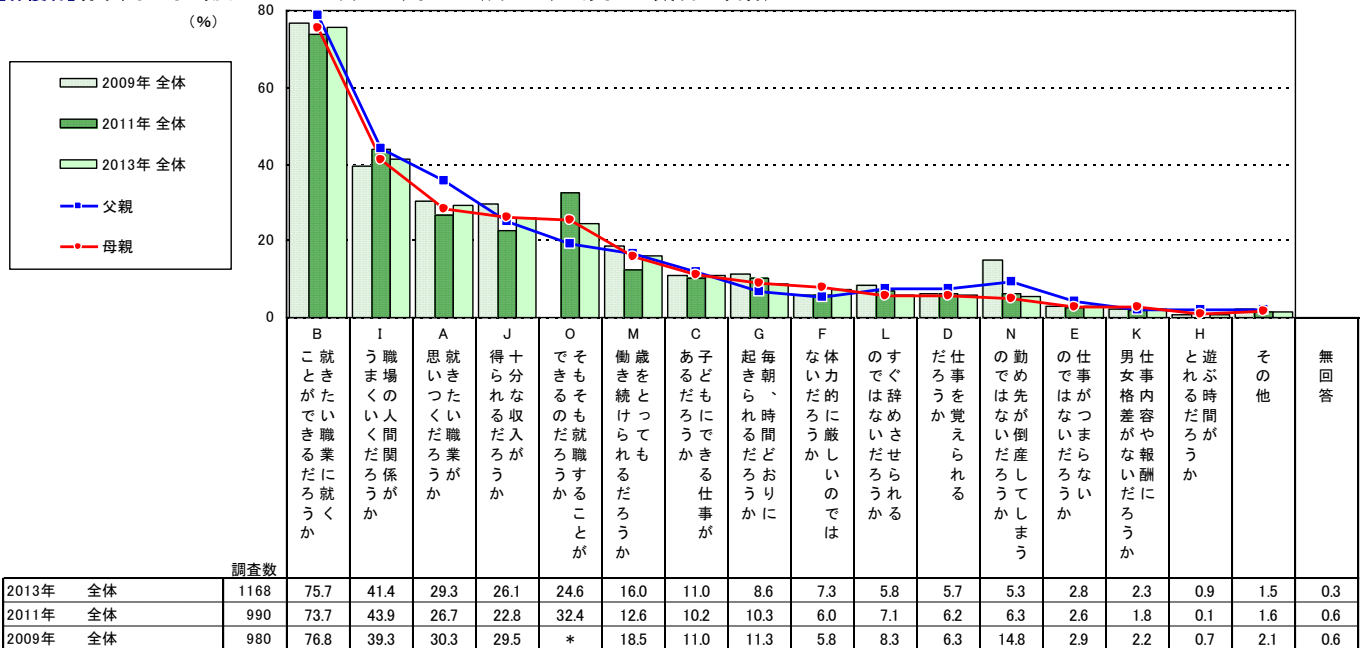
- ① 就きたい職業に就くことができるだろうか(76%)
- ② 職場の人間関係がうまくいだろうか(41%)
- ③ 就きたい職業が思いつくだろうか(29%)
- ④ 十分な収入が得られるだろうか(26%)
- ⑤ そもそも就職することができるのだろうか(25%)

- 保護者の回答上位は上記のとおり。「就きたい職業が思いつくだろうか」がトップで76%と突出。
- 続柄別にみると、父親・母親とも上位の顔ぶれは同様。父親は母親に比べ「就きたい職業が思いつくだろうか」のスコアが高く、母親は父親に比べ「そもそも就職することができるのだろうか」のスコアが高い。
- 子ども性別にみると、上位の顔ぶれは同様。男子は「十分な収入が得られるだろうか」は女子に比べスコアが高く、気掛かりの度合いが高い。
- 希望進路別にみると、いずれの進路も上位の顔ぶれは同様。就職希望者は「就きたい職業が思いつくだろうか」が他進路に比べて高い。

▶ 高校生・保護者ともトップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」。
2位は、高校生では「十分な収入」、保護者は「職場の人間関係」が続く。

- 高校生、保護者とも気掛かりなこと上位の顔ぶれは同様だが、2位以下の順位が入れ替わる。高校生は「収入」、保護者は「人間関係」をそれぞれ気掛かりとして強くとらえていることがうかがえる。
- トップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」で共通だが、スコアは高校生57%・保護者76%で、保護者の方がスコアが高い。

【保護者】将来、子どもが働くことについて気掛かりなこと（気掛かりがある／5項目まで回答）



【2013年属性別】

| 続柄別 | 父親 | 母親 | B | I | A | J | O | M | C | G | F | L | D | N | E | K | H | その他 | 無回答 |
|--------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 父親 | 121 | 78.5 | 43.8 | 35.5 | 24.8 | 19.0 | 16.5 | 11.6 | 6.6 | 5.0 | 7.4 | 7.4 | 9.1 | 4.1 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | — | |
| 母親 | 1028 | 75.4 | 40.8 | 28.3 | 26.0 | 25.2 | 15.7 | 11.0 | 8.8 | 7.6 | 5.5 | 5.6 | 4.9 | 2.7 | 2.4 | 0.9 | 1.5 | 0.4 | |
| 子ども性別 | 男子 | 527 | 79.1 | 37.2 | 32.3 | 31.5 | 25.0 | 15.6 | 12.5 | 8.3 | 5.1 | 6.1 | 4.2 | 6.5 | 3.4 | 0.4 | 0.6 | 1.3 | 0.4 |
| 女子 | 629 | 72.8 | 44.5 | 26.2 | 21.5 | 23.8 | 16.1 | 9.9 | 8.7 | 9.2 | 5.6 | 7.2 | 4.3 | 2.4 | 4.0 | 1.3 | 1.6 | 0.3 | |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 588 | 79.6 | 34.4 | 25.5 | 27.9 | 23.6 | 15.1 | 8.5 | 6.6 | 8.2 | 4.1 | 3.4 | 4.8 | 2.4 | 2.6 | 0.7 | 1.7 | 0.7 |
| 大学進学 | 559 | 80.5 | 32.7 | 25.9 | 27.9 | 23.8 | 14.5 | 8.4 | 7.0 | 8.2 | 3.8 | 3.4 | 4.7 | 2.1 | 2.5 | 0.7 | 1.8 | 0.5 | |
| 短大進学 | 29 | 62.1 | 65.5 | 17.2 | 27.6 | 20.7 | 27.6 | 10.3 | — | 6.9 | 10.3 | 3.4 | 6.9 | 6.9 | 3.4 | — | — | 3.4 | |
| 専門学校進学 | 110 | 70.9 | 49.1 | 29.1 | 21.8 | 19.1 | 18.2 | 19.1 | 8.2 | 11.8 | 7.3 | 12.7 | 7.3 | 5.5 | 0.9 | — | — | — | |
| 就職 | 195 | 68.7 | 50.3 | 40.5 | 23.1 | 25.6 | 17.4 | 12.8 | 12.3 | 5.6 | 8.2 | 7.7 | 7.7 | 3.6 | 1.5 | 2.1 | 1.5 | — | |

※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

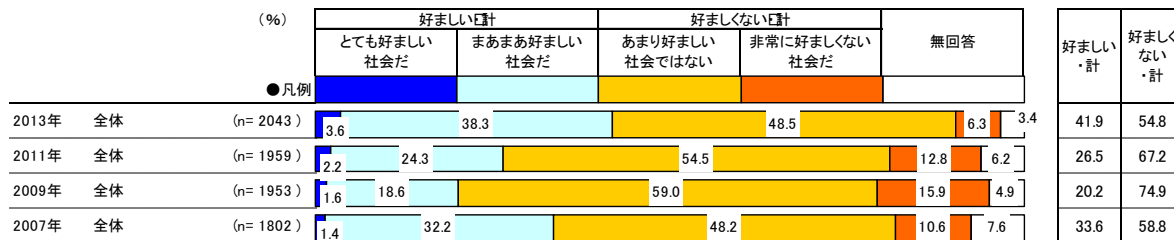
20.未来社会への認識

- ▶ 高校生の42%、保護者の26%がこれからの社会は高校生にとって「好ましい」と考えている。
- ▶ 高校生・保護者とも、2009年以降「好ましい」は増加傾向。特に「まあまあ好ましい」のスコアが伸びた。

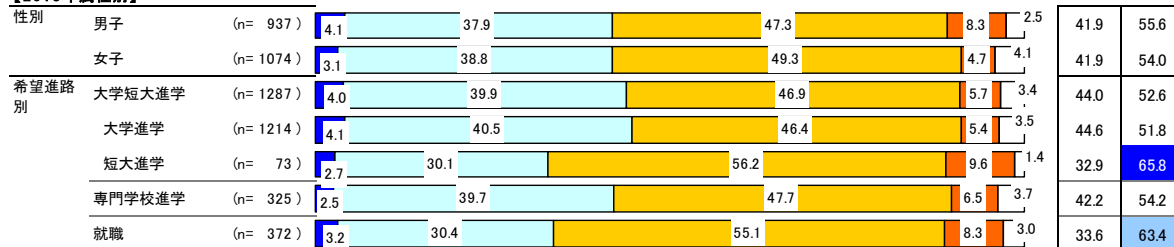
- これからの社会は高校生にとって好ましいと思うか質問した。高校生は「非常に好ましくない社会だ」「あまり好ましい社会ではない」の合計が過半数を占め、55%（好ましくない・計）。過去調査と比較すると、2009年以降「好ましくない・計」の割合が減少し、一方で「好ましい・計」のスコアが増加した。
- 同様に、保護者にもこれからの社会は子どもにとって好ましいと思うか尋ねたところ、「好ましくない・計」が61%と過半数を占めた。過去調査と比較すると、高校生と同様に「好ましくない・計」は2009年以降減少し、「好ましい・計」は増加。将来について肯定的な認識が増えている。
- 未来社会について「とても好ましい」～「非常に好ましくない」と思う理由を書いてもらったところ、高校生は保護者に比べて楽観的に将来を捉えるように感じられる。未来社会を好ましいと思う高校生は「アベノミクス」「東京オリンピック開催」などのキーワードとともに「それほど悪くない将来」を想像している。一方、保護者は「好景気を実感できない」ことや、「少子高齢化の影響」「就職難」「先行きが不透明・読めない社会」から、子どもの将来に不安を感じている。

→フリーコメントは33ページに掲載

【高校生】これからの社会は好ましいか（全体／単一回答）

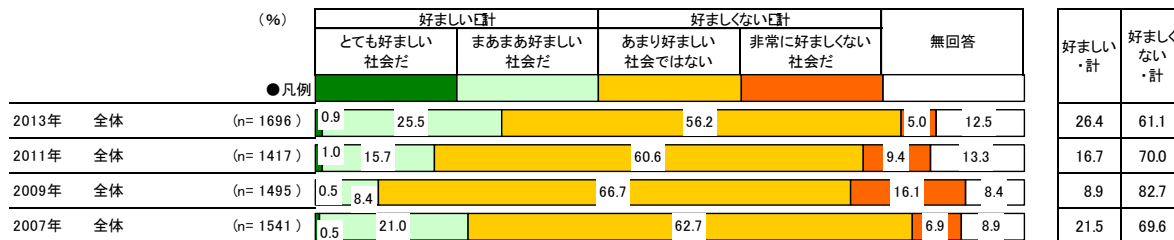


【2013年属性別】

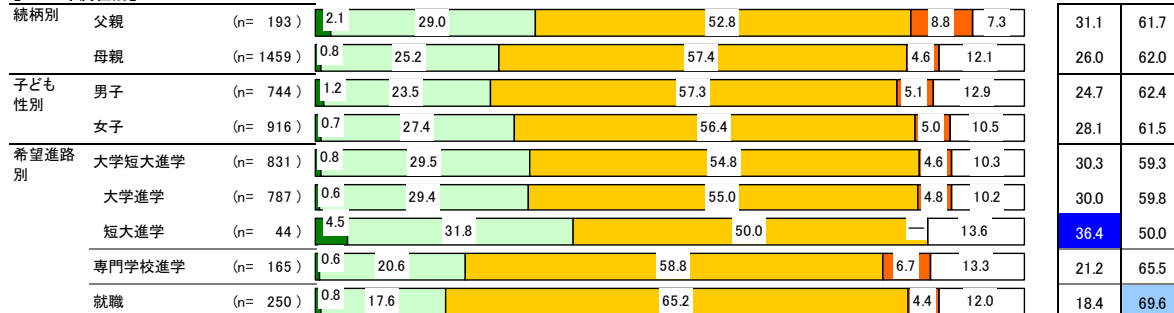


Kh.Q22

【保護者】これからの社会は子どもにとって好ましい社会か（全体／単一回答）



【2013年属性別】



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh.Q17

<フリーコメント> 未来社会への認識の理由【高校生】

■とても好ましい

- オリンピックで景気が良くなると思うから [佐賀/男子/大学]
- オリンピックがあるので経済もよくなり、スポーツの職が広がりそうだから [東京/女子/大学]
- 今の高校生活よりも、人間関係が広がると思うから [佐賀/女子/専門学校]
- グローバル化により様々な人との交流があると思うから [香川/男子/大学]
- 何とかなりそう。ならないけど…。考え方次第！ [北海道/女子/大学]

■まあまあ好ましい

- アベノミクスの影響があると思うから [静岡/男子/大学]
- 就職しやすくなっていることは好ましいが、消費税などが上がることは好ましくないから [北海道/女子/就職]
- 理不尽な点は多いが、目に余るほどでもないため [神奈川/男子/大学]
- 景気があまりよくなく、外交にも少し不安がある [東京/女子/大学]
- 今は、いいと思う。これからは、消費税があがるため、わからない [北海道/女子/就職]
- 少子高齢化が少し不安だが、他の国に比べては豊かな方だと思う [東京/女子/大学]
- 日本は比較的安全な国だが、よりよくできるだろうと思うから [滋賀/女子/大学]
- 私達が就職する頃はちょうど前の世代と入れ替りになるから就職しやすいと聞いたから [岩手/男子/専門学校]
- まだ少し男女に格差はあるが、経済は発展しているのでまあまあだと思う [岩手/女子/大学]
- 何が好ましくて、何が好ましくないのかよく分からないけど、きちんと生活していけるなら問題ない [岩手/女子/就職]

■あまり好ましくない

- 何でも電子化して便利になっていく社会がよいのかは疑問に思う [富山/女子/大学]
- 現在、国が抱えている負債によって、関係のない自分たちが苦勞するのは納得いかない [神奈川/男子/その他]
- 私達は最後のゆとり世代で後から優秀なゆとりでない世代が入ってくるから [北海道/女子/大学]
- アベノミクスで景気が良くなっていると言われていますが、ほとんどの一般人が実感していないから [滋賀/男子/大学]
- TPPなどの影響・オリンピック開催で、国のお金のまわりが不安定になりそう [北海道/女子/専門学校]
- 同調することを強いられることが多くなり息苦しい。社会が“子供”だと思ふ [東京/男子/大学]
- 今の社会はとても気難しくて、なりたいものや、夢をみることをバカにされるような時代だと思う [静岡/女子/短大]

■非常に好ましくない

- まちがいく若者への負担を強いてくる社会になるだろうから [北海道/男子/大学]
- 女性の地位は未だ低いまま、経済もあまり良いとは言えず、世の中の空気も悪くなっているから [神奈川/女子/大学]
- 学歴社会の体制が残っている割に、社会に出ると学歴は関係ないという矛盾から全く好ましくない！ [富山/男子/大学]
- どれだけ頑張ってもほめてもらえないから、やる気も起きないし、競争意欲もわかない。すべて若者がわるいように考える(社会である) [北海道/女子/短大]
- 様々な情報が飛び交う中で人間の感情が複雑にねじ曲げられてしまったこの世を苦なく生きるのは大変だから [富山/男子/大学]

<フリーコメント> 未来社会への認識の理由【保護者】

■とても好ましい

- 目標に向かってがんばってほしいから、そう思いたい [香川/母親/女子]
- 今の大人が好ましい社会にしないでほしい [静岡/母親/男子]
- 過去よりも情報量が多い環境において、様々な局面の可能性が大きく広いと考えるから [富山/父親/女子]

■まあまあ好ましい

- 親世代が就職した頃に比べ、色々な意味で社会は柔軟に対応してくれていると思う [静岡/母親/男子]
- 選り好みしなければ、どんな事でも収入は得られる。しかも、こんな安全な国は他にない [滋賀/父親/女子]
- どの時代もそれなりに厳しい。本人が社会に適合していくべきである [香川/父親/女子]
- 学歴社会が終わりつつあり、これからは自分の好きな、自信のある分野で活躍できる機会があるのではないかと [東京/母親/女子]
- いろいろ厳しいことも多いが、良い所もたくさんある。自分の置かれた場所、現実の中で生きていかなければならない [香川/母親/男子]
- 少子高齢化等で大変な世の中ではあるが、日本はまだまだ世界のリーダー的な国である。規律ある国家づくりに尽力してほしい [佐賀/母親/女子]
- 多少の男女格差があるかも知れないが、産休や育休制度の整った企業が多くあるから [香川/母親/女子]
- 悲観しても始まらない。現状でより良くあろうと努力する事が大事。そう思えば好ましくないとは言えない [富山/母親/男子]
- 治安面は安心だが、収入面やちゃんと就職できるのか、少子高齢化に向かっているのだから(心配だ) [神奈川/母親/女子]

■あまり好ましくない

- これからの社会が全然読めない。今の社会自体がそうだからです [富山/母親/男子]
- アベノミクスと言われるが、経済的に楽とは思えない [佐賀/母親/女子]
- 報道での社会に対するマイナスなイメージが強く、将来への希望・夢が描きにくくなっているから [富山/母親/男子]
- 安心して子どもを産み、夫婦で協力して子育てが出来る社会ではないので [神奈川/母親/女子]
- 税金、年金など問題が多すぎて生きにくい世の中 [佐賀/母親/女子]
- インターネットが発達していて人とのコミュニケーションが上手く取れない人達が増えているので [東京/母親/女子]
- グローバル化、自然環境の悪化など色々な事が大きく変化してくるから [神奈川/父親/男子]
- お金がないと何もできない世の中で、今不況で、10年前より給料とかが下がっているから [北海道/母親/男子]

■非常に好ましくない

- 膨大な借金を抱える国で、就職もままならず、年をとるごとに不安な社会を生きたことになるから [静岡/母親/男子]
- 定職率等低く、定年までは正社員として務める事が難かしいと思ふ [静岡/父親/男子]
- 10代のうちから将来の不安を抱えている。子供らしい時間や今しかできない体験をする事より、足元をかためる事を考えなくてはならないのはかわいそう [東京/母親/男子]
- 高齢者が働き続けなければいけない社会は、若者から就職のチャンス奪う可能性がある [北海道/母親/女子]
- 社会福祉も良くなく、景気の先行きも見通しが悪い。毎日悪いニュースばかりが聞こえてくる [香川/母親/女子]

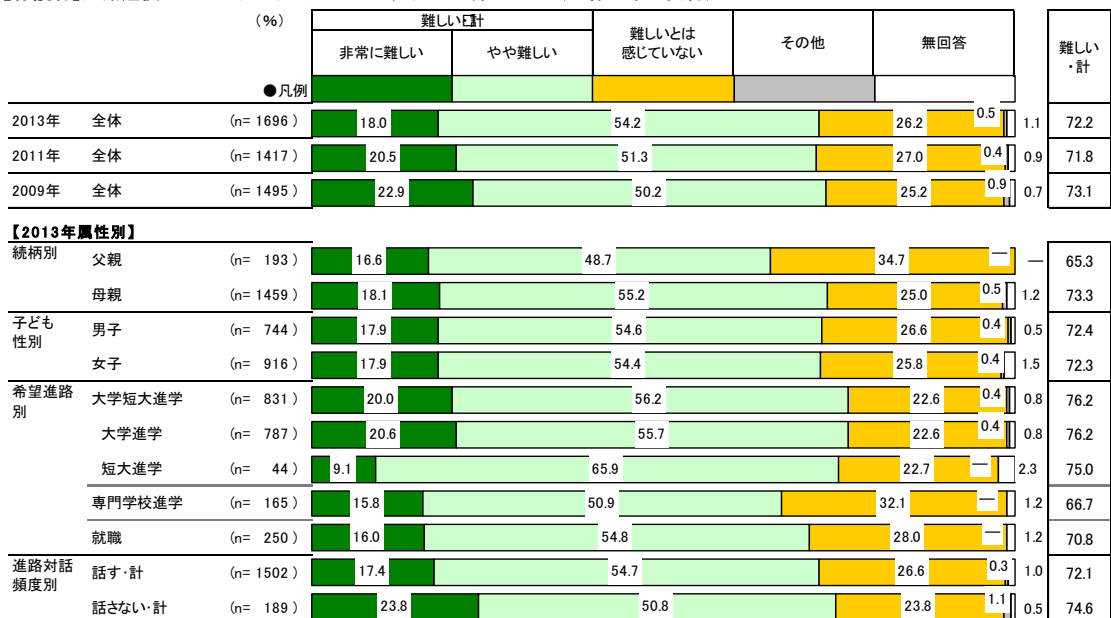
21.保護者がアドバイスすることの困難

1)子どもの進路選択についてアドバイスすることは難しいか

▶保護者の72%が進路選択について子どもにアドバイスすることは「難しい」。

- 12ページで保護者に子どもの進路選択についてアドバイスしているか実施状況を尋ねたが、その難しさの程度も質問した。「非常に難しい」が18%、「やや難しい」(54%)を合わせた「難しい・計」は72%。過去調査と比較すると、2009年以降「難しい・計」は約7割で推移しているが、「非常に難しい」のスコアは少しずつ減少している。
- 続柄別にみると、「難しい・計」の割合は母親(73%)が父親(65%)を大きく上回り、母親は父親に比べ「難しい」と感じながらアドバイスしていることがうかがえる。
- 子ども性別にみると、「難しい・計」の割合は男女とも7割と差がない。
- 希望進路別にみると、「難しい・計」の割合は大学短大進学希望者(76%)で比較的高く、アドバイスが難しいと感じられている。
- 進路対話頻度別にみると、話をする層より話さない層のほうが「非常に難しい」の割合が高い。

【保護者】進路選択について子どもにアドバイスすることは難しいか（全体／単一回答）



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh.Q05

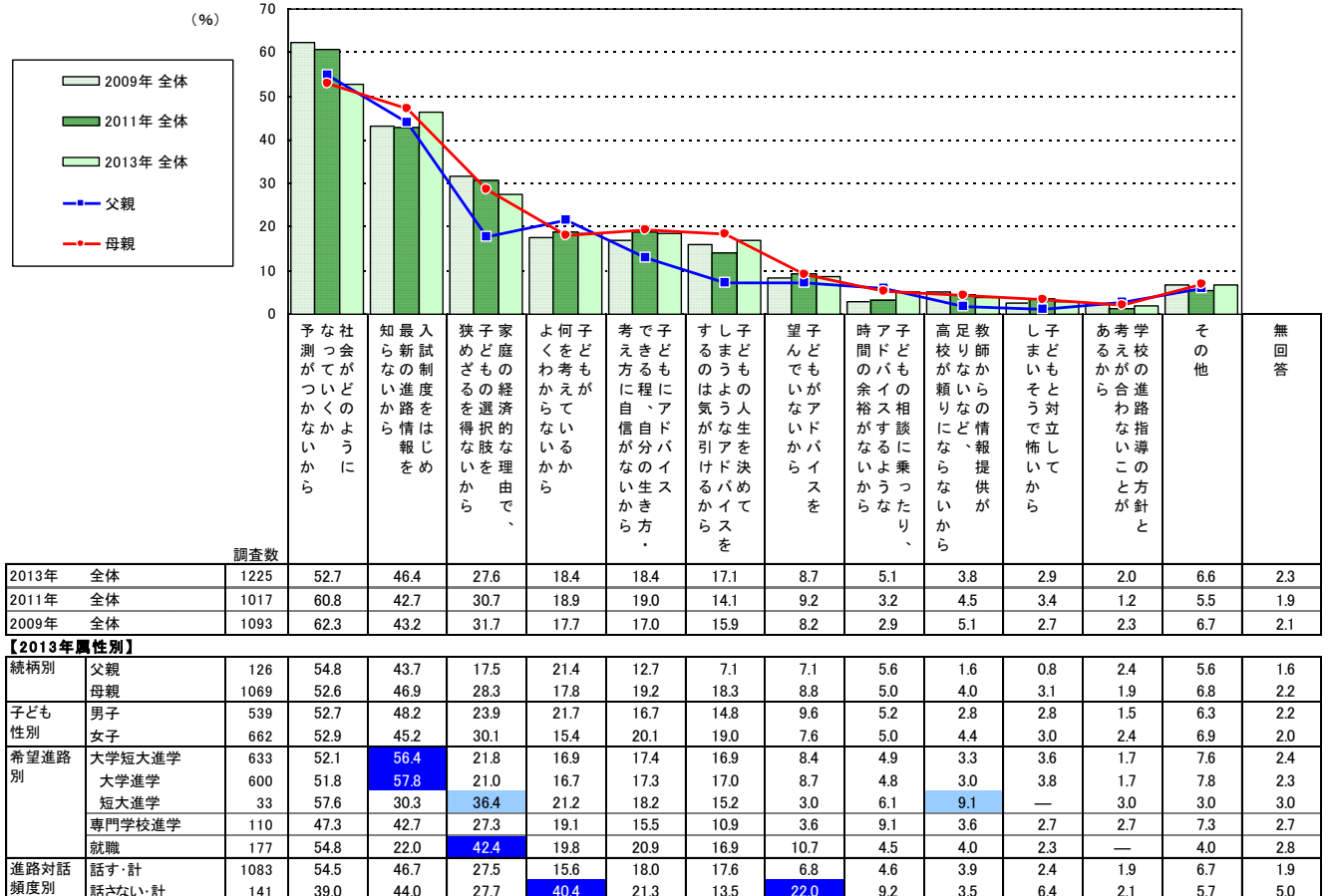
2)子どもの進路選択についてアドバイスすることが難しい理由

▶アドバイスが難しい理由のトップは、保護者自身が「社会がどうなるか予測がつかないから」。

- ①社会がどのように変わっていくか予測がつかないから(53%)
- ②入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから(46%)
- ③家庭の経済的な理由で、子どもの進路の選択肢を狭めざるを得ないから(28%)
- ④子どもが何を考えているかわからないから(18%)
- ④子どもにアドバイスできるほど、自分の生き方・考え方に自信がないから(18%)

- 34ページの子どもの進路選択についてアドバイスが「難しい」と回答した保護者に、その理由をすべて選んでもらった。トップは「社会がどのように変わっていくか予測がつかないから」で53%と過半数に達する。
- 続柄別にみると、母親は父親に比べ「家庭の経済的な理由で選択肢を狭めざるを得ないから」「子どもにアドバイスできるほど、自分の生き方・考え方に自信がないから」「子どもの人生を決めてしまうようなアドバイスをするのは気が引けるから」のスコアが高く、経済的な理由で本人の希望に沿うことができないもどかしさとアドバイスすることへの自信のなさがうかがえる。
- 進路対話頻度別にみると、話さない層は話す層に比べて「子どもが何を考えているのかわからない」「子どもがアドバイスを望んでいない」のスコアが高く、子どもとの関係性の希薄さがアドバイスの難しさの要因となっている。

【保護者】進路選択についてアドバイスが難しいと感じる要因（アドバイスが難しい／複数回答）



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

IV 家庭教育と自立意識

22.家庭教育の実施状況

▶ **高校生が子どものころから家庭で感じてきた教育は**

- ① 保護者に「自分で選択し、それに責任をもつ」ように言われてきた(72%)
- ② 保護者に「夢や目標をもつことは大切だ」と言われてきた(66%)
- ③ 家族で自分の本音を話してきたと思う(66%)

▶ **保護者が高校生が子どものころから心がけてきた家庭での教育は**

- ① 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことの大切さを伝えてきた(83%)
- ② 子どもが本音で話せるような家族の雰囲気づくりを心がけてきた(82%)
- ③ 「夢や目標をもつことは大切だ」ということを伝えてきた(82%)

▶ **過去調査同様、保護者の「心がけてきた」という認識が高校生の実感に比べ高い傾向が続く。**

- 高校生は幼少期からどのような家庭教育を受けてきたか、高校生と保護者に、7項目それぞれについてどう思うか尋ねた。高校生・保護者それぞれ、「とてもそう思う」「少しそう思う」の合計値が高い項目は上記のとおり(思う・計)。高校生が感じてきた、保護者が心がけてきた家庭教育上位3項目は一致している。
 - 「思う・計」の割合は、「厳しくしつけられてきた／厳しくしつけることを心がけてきた」を除き、保護者のスコアが高校生を上回っており、保護者は家庭教育を実施してきたという認識が子どもの実感よりも高い。特に両者のスコア差が大きいのは「本音を話してきた(66%)／本音で話せる雰囲気づくり(82%)」。
- 一方、「しつけ」に関しては、高校生の「厳しくしつけられてきた」(55%)、保護者の「厳しくしつけることを心がけてきた」(49%)は両者のスコア差が小さく、認識は同程度。

【高校生】家庭での教育について子どもの頃から感じてきたこと (全体/各単一回答)

| | 思う割合 (%) | | | | 無回答 | 思う・計 | 思わない・計 |
|--|----------|--------|-----------|------------|-----|------|--------|
| | とてもそう思う | 少しそう思う | あまりそう思わない | まったくそう思わない | | | |
| (n=2043) | ●凡例 | | | | | | |
| F 保護者に「自分で選択し、それに責任を持つ」ように言われてきた | 27.9 | 44.2 | 22.6 | 4.7 | 0.7 | 72.1 | 27.2 |
| E 保護者に「夢や目標を持つことは大切だ」と言われてきた | 24.0 | 42.4 | 26.1 | 6.8 | 0.6 | 66.4 | 32.9 |
| A 家族に自分の本音を話してきたと思う | 26.0 | 39.8 | 27.0 | 6.6 | 0.6 | 65.8 | 33.6 |
| C 保護者によくほめられてきたと思う | 15.7 | 43.6 | 33.5 | 6.6 | 0.6 | 59.3 | 40.1 |
| B 保護者に厳しくしつけられてきたと思う | 19.2 | 35.9 | 37.3 | 7.1 | 0.4 | 55.1 | 44.4 |
| G 保護者からのすすめで、「自分で選択し、それに責任を持つ」ような体験をしてきた | 13.4 | 34.3 | 42.7 | 8.7 | 0.9 | 47.7 | 51.4 |
| D 保護者に「あなたの将来は明るい」と言われてきた | 6.3 | 22.3 | 49.2 | 21.2 | 0.9 | 28.6 | 70.5 |

Kh_Q23M

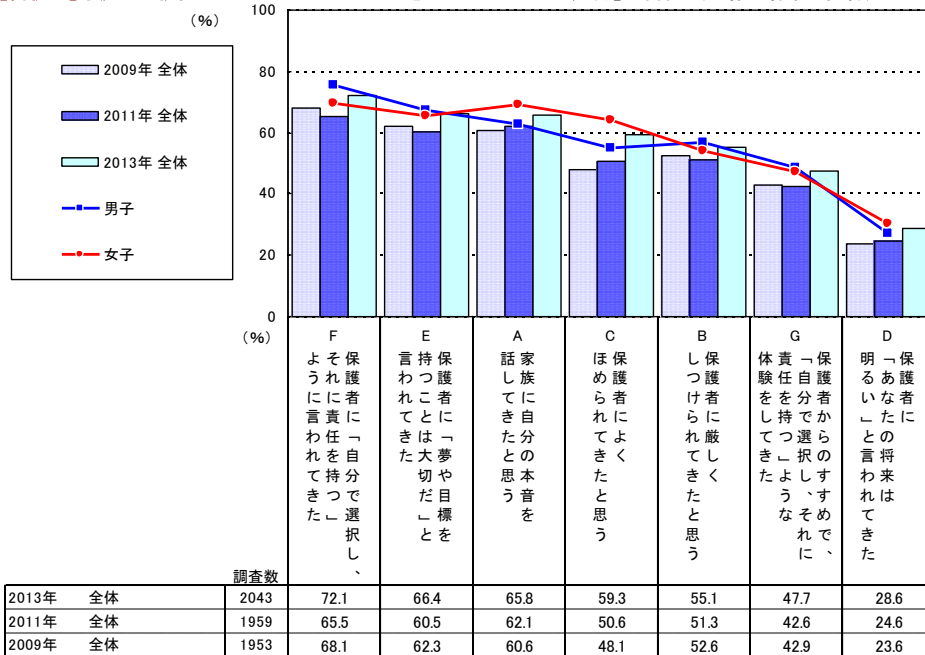
【保護者】家庭での教育について子どもの頃から心がけてきたこと (全体/各単一回答)

| | 思う割合 (%) | | | | 無回答 | 思う・計 | 思わない・計 |
|--|----------|--------|-----------|------------|-----|------|--------|
| | とてもそう思う | 少しそう思う | あまりそう思わない | まったくそう思わない | | | |
| (n=1696) | ●凡例 | | | | | | |
| F 「自分で選択し、それに責任を持つ」ことの大切さを子どもの頃から伝えてきた | 30.4 | 52.4 | 12.9 | 0.5 | 4.0 | 82.7 | 13.3 |
| A 子どもが本音で話せるような家族の雰囲気づくりを子どもの頃から心がけてきた | 35.2 | 47.1 | 13.9 | 0.3 | 3.5 | 82.3 | 14.2 |
| E 「夢や目標を持つことは大切だ」ということを子どもの頃から伝えてきた | 31.1 | 50.5 | 13.9 | 0.6 | 4.0 | 81.6 | 14.4 |
| C ほめることを子どもの頃から心がけてきた | 21.3 | 52.7 | 21.8 | 0.6 | 3.5 | 74.1 | 22.5 |
| G 「自分で選択し、それに責任を持つ」ような体験を子どもの頃からさせてきた | 15.4 | 46.6 | 32.3 | 1.6 | 4.1 | 62.0 | 33.9 |
| B 厳しくしつけることを子どもの頃から心がけてきた | 8.6 | 40.6 | 42.5 | 4.7 | 3.6 | 49.2 | 47.2 |
| D 「あなたの将来は明るい」ということを子どもの頃から伝えてきた | 9.0 | 32.7 | 48.8 | 5.3 | 4.2 | 41.7 | 54.1 |

※「思う・計」のスコアで降順ソート

Hh_Q19M

【高校生】家庭での教育について子どものころから感じてきたこと：「思う・計」の割合（全体／各単一回答）

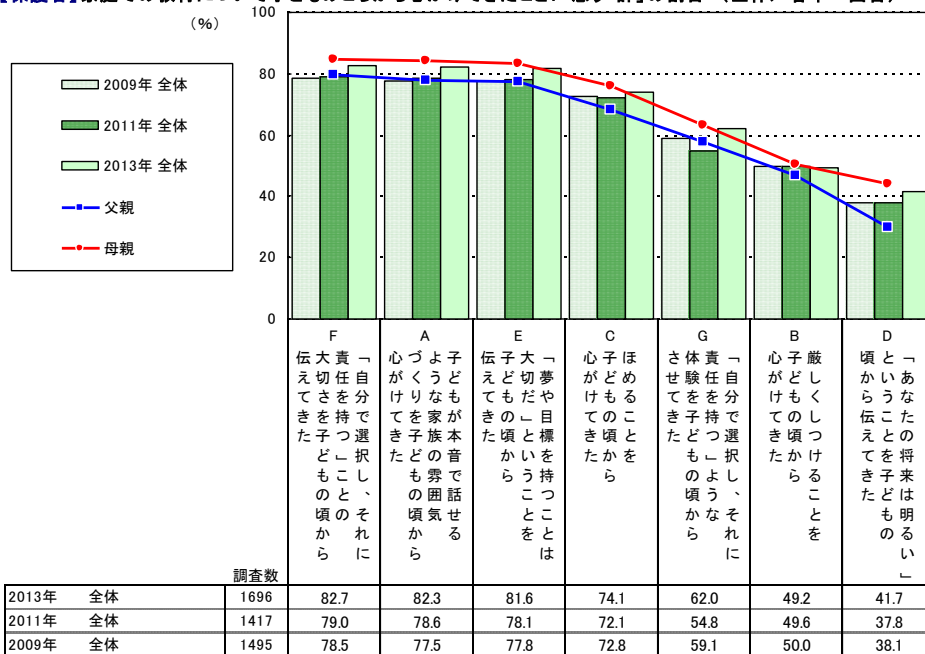


【2013年属性別】

| 性別 | 調査数 | F | E | A | C | B | G | D | |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 男子 | 937 | 75.5 | 67.0 | 62.4 | 54.9 | 56.5 | 48.5 | 27.1 | |
| 女子 | 1074 | 69.3 | 65.5 | 69.0 | 64.0 | 53.9 | 47.2 | 30.1 | |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 1287 | 73.7 | 68.5 | 66.2 | 62.5 | 53.9 | 49.3 | 31.8 |
| | 大学進学 | 1214 | 73.7 | 69.1 | 66.0 | 63.1 | 54.5 | 49.8 | 32.5 |
| | 短大進学 | 73 | 74.0 | 58.9 | 69.9 | 53.4 | 43.8 | 42.5 | 19.2 |
| | 専門学校進学 | 325 | 68.9 | 68.0 | 67.1 | 56.6 | 59.7 | 44.3 | 25.2 |
| | 就職 | 372 | 70.2 | 57.5 | 63.2 | 51.6 | 53.5 | 45.4 | 21.5 |

Kh_Q23

【保護者】家庭での教育について子どものころから心がけてきたこと：「思う・計」の割合（全体／各単一回答）



【2013年属性別】

| 続柄別 | 調査数 | F | A | E | C | G | B | D | |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 父親 | 193 | 79.3 | 77.7 | 77.2 | 67.9 | 57.5 | 46.6 | 29.5 | |
| 母親 | 1459 | 84.4 | 84.2 | 83.3 | 75.9 | 63.1 | 50.1 | 43.7 | |
| 子ども性別 | 男子 | 744 | 85.1 | 82.5 | 80.9 | 75.4 | 63.0 | 50.5 | 41.4 |
| | 女子 | 916 | 82.8 | 84.1 | 83.8 | 74.6 | 62.2 | 49.2 | 42.8 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 831 | 84.1 | 83.3 | 83.5 | 75.5 | 62.8 | 50.1 | 44.4 |
| | 大学進学 | 787 | 84.1 | 83.5 | 83.1 | 75.6 | 63.0 | 50.1 | 44.6 |
| | 短大進学 | 44 | 84.1 | 79.5 | 90.9 | 72.7 | 59.1 | 50.0 | 40.9 |
| | 専門学校進学 | 165 | 82.4 | 83.6 | 80.6 | 77.6 | 59.4 | 51.5 | 43.6 |
| | 就職 | 250 | 78.8 | 80.8 | 78.4 | 70.4 | 56.8 | 53.2 | 33.2 |

※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け Kh_Q19

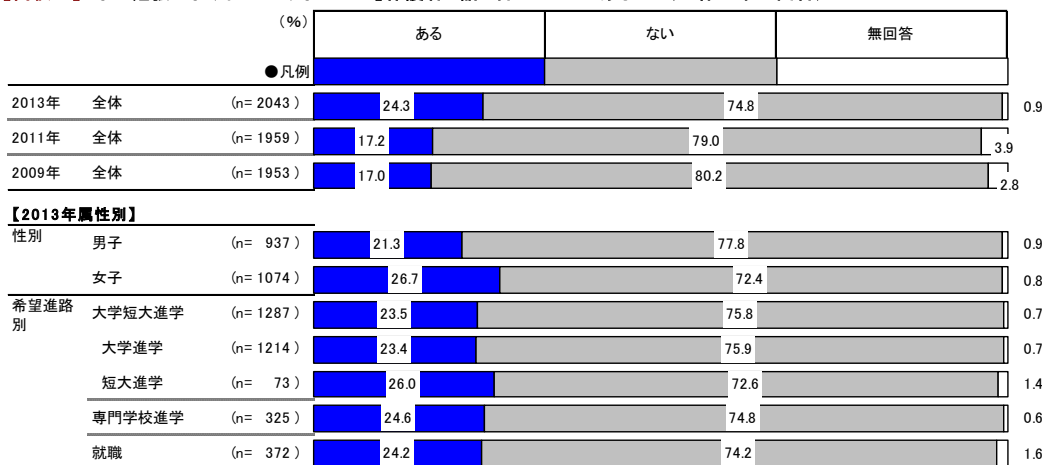
23.なぜ学び・働くのかについての話し合い

1)なぜ学ぶのか

▶『なぜ勉強しなければいけないのか』話し合ったことが「ある」高校生は24%、保護者は56%。

- 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合ったことがあるかという質問に、高校生の24%が「ある」。一方、保護者は話し合ったことが「ある」は56%と過半数を占め、高校生の認識とはギャップがある。
- 話し合った内容を書いてもらったところ、双方から「将来の選択肢」「生き方」への影響などが挙がった。保護者は自分の経験や後悔を踏まえて「勉強しておいたほうがよい」とアドバイスをしている。

【高校生】「なぜ勉強しなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるか（全体／単一回答）

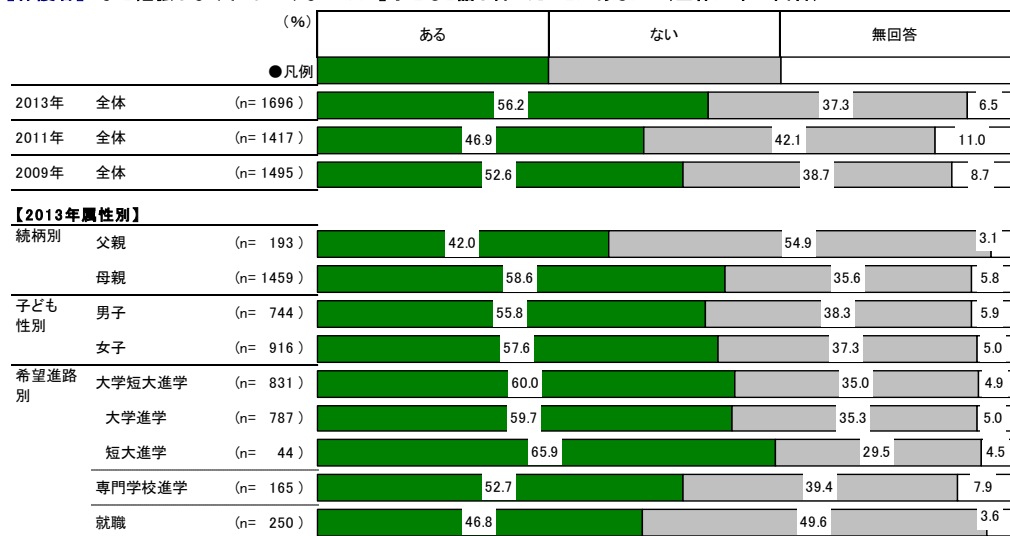


Kh_Q24

<フリーコメント> 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合った内容【高校生】

- 将来のために学力をつけておけば、選択の幅を広げることができる [香川/女子/大学]
- 勉強自体は役立たないかもしれないけど、勉強で身につけた考え方や解決法は社会で必要 [神奈川/女子/大学]
- 幅広い知識がないと客とコミュニケーションが取れない [富山/男子/大学]
- 一生学ぶことだからだから、今のうちから勉強する習慣をつけるよう言われた [富山/男子/専門学校]
- 頭が良くくて困ることはない [岩手/女子/就職]
- 無知ほどこの世で恐ろしいものはない [東京/女子/大学]

【保護者】「なぜ勉強しなければいけないのか」子どもと話し合ったことがあるか（全体／単一回答）



Hh_Q20

<フリーコメント> 「なぜ勉強しなければいけないのか」話し合った内容【保護者】

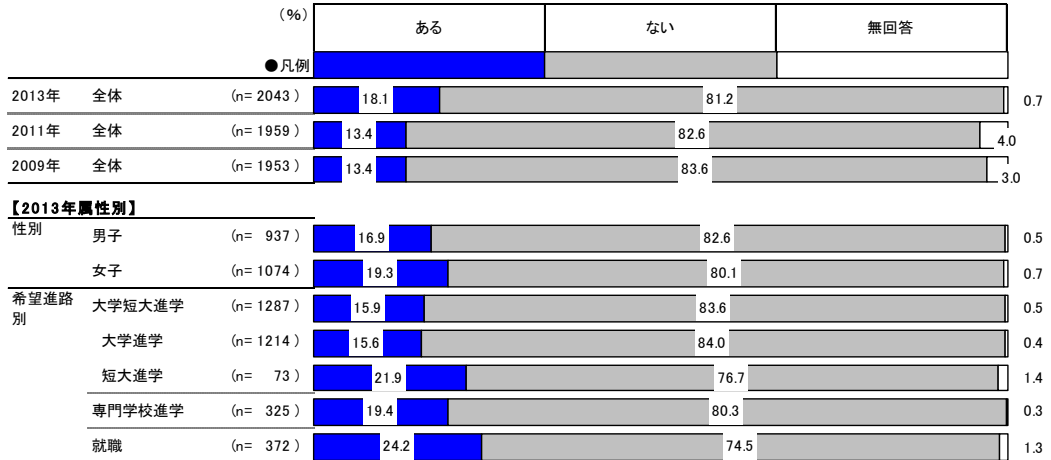
- 他の人に勝てる学力をつけておかないと、自分のしたい仕事につくことはできない [滋賀/母親/男子]
- 親も模索中、(子ども)話し合いたい [富山/母親/男子]
- 自分に学歴コンプレックスがあり、学歴は高い方が良いと言ってきた [静岡/母親/男子]
- 良い大学へ進学し大きな会社へ入社する事で安定が得られる [東京/父親/女子]
- 将来「あの時もっと勉強しておけば良かった…」と後悔しない為 [静岡/母親/男子]
- 頭の運動。柔軟な考えができるように [神奈川/母親/女子]

2)なぜ働くのか

▶『将来なぜ働かなければいけないのか』話し合ったことが「ある」高校生は18%、保護者は48%。

- 「将来なぜ働かなければいけないのか」話し合ったことがあるかという質問に、高校生の18%が「ある」。一方、保護者は話し合ったことが「ある」は48%と、「なぜ勉強しなければいけないのか」と同様に高校生の認識を大きく上回る。
- 話し合った内容を書いてもらったところ、双方とも「生きるため・生活するため」「自立するため」「社会人としての義務」といったものが多い。

【高校生】「将来なぜ働かなければいけないのか」保護者と話し合ったことがあるか（全体／単一回答）

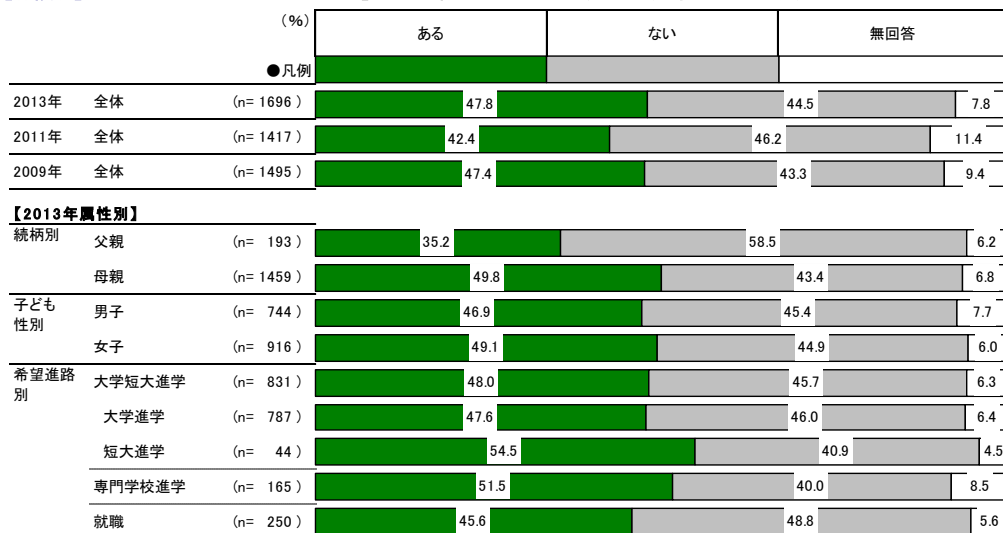


Kh.Q25

<フリーコメント> 「なぜ働かなければいけないのか」話し合った内容【高校生】

- 「働かざる者食うべからず」だから [岩手/女子/就職]
- 精神力も強くなり、働くとは色々なことが分かる [北海道/女子/専門学校]
- お金をもらえないし、社会的にダメな人になる [富山/男子/就職]
- 親戚に無職の人がいて、色々大変であるということを知られた [滋賀/女子/大学]
- 自立のためと親への恩返し [岩手/女子/専門学校]
- 絶対に働けとは言わないが、目的や意義を持って行動してほしい [香川/女子/大学]
- 身に付けてきた知識を活用し、社会に貢献しなければいけない [佐賀/男子/大学]

【保護者】「なぜ働かなければいけないのか」子どもと話し合ったことがあるか（全体／単一回答）



Hh.Q21

<フリーコメント> 「なぜ働かなければいけないのか」話し合った内容【保護者】

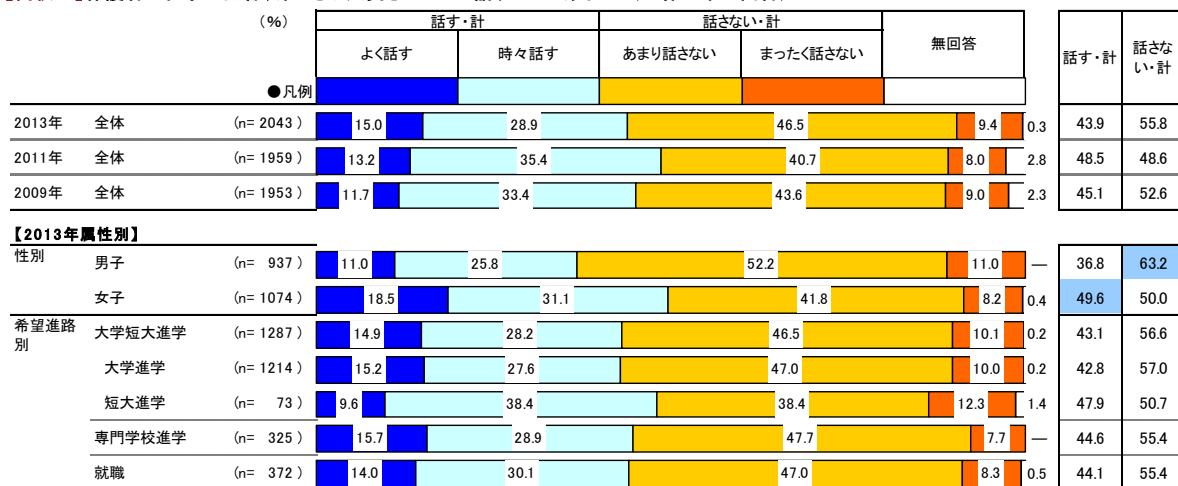
- みんなで支えあって、よりよい社会に行くため [香川/母親/男子]
- 働く事にやりがいを持ち、自分で収入を得る喜びがわかるように [香川/母親/女子]
- 自分で自立した生活を送るため [神奈川/母親/男子]
- 生活の安定。社会の一員としての業務 [岩手/母親/女子]
- 学生のうちは周囲のお蔭で生きていける。働く事によって世の中の誰かの為になれる [静岡/母親/男子]
- 働く事は自分を成長させる場であること [滋賀/母親/女子]

24.保護者の仕事についての会話

▶保護者の仕事について、高校生の44%、保護者の66%が「話す」。

- 保護者の仕事の内容や楽しさ、大変さを話し合っているかという質問に、高校生は「よく話をする」「時々話す」を合わせ44%が話している(話す・計)。一方、保護者は「話す・計」が66%と過半数を占め、高校生の認識を大きく上回る。
- 話している具体的な内容は、勤務先での日々の出来事や愚痴など些細なことが中心であるが、仕事の大変さや楽しさ・やりがいを踏まえた職業選択のアドバイスをすることもある。

【高校生】保護者の仕事の内容、楽しさや大変さについて話すことがあるか (全体/単一回答)

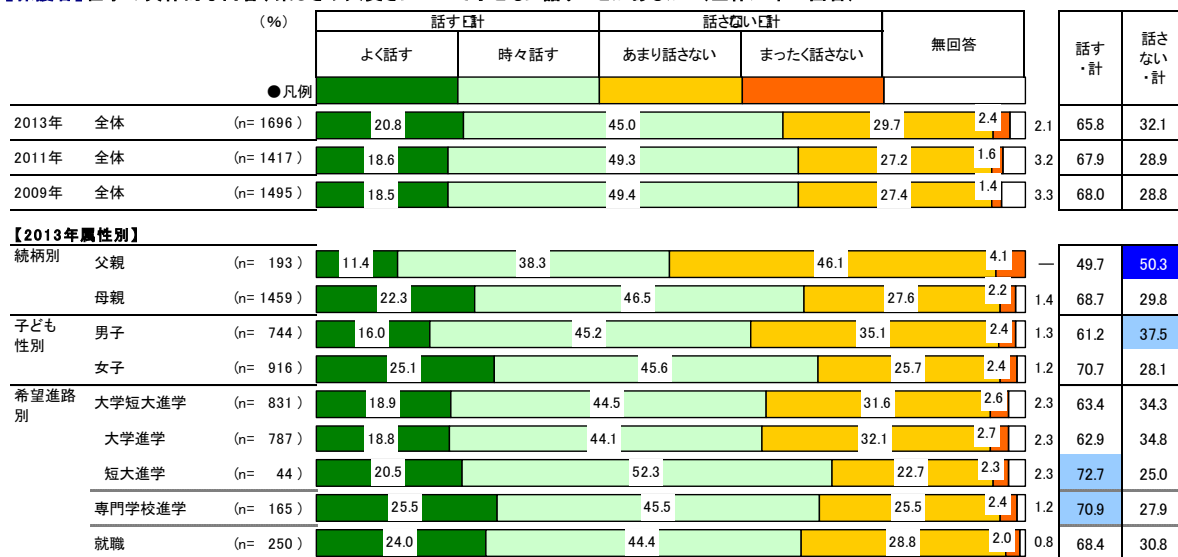


Kh.Q26

<フリーコメント> 保護者が話している内容【高校生】

- 仕事場で親はどう過ごしているのか。新人はどんな人か [北海道/男子/大学]
- 自分の好きなことをして給料がもらえるのは幸せだということ [滋賀/女子/大学]
- 人間関係のこと、体力的なこと、家事との両立のこと [静岡/女子/就職]
- 大変だけど仕事だと思えば、そんなに苦ではない [岩手/女子/就職]
- 父が仕事に就いた経緯、どうい仕事かなど [東京/男子/大学]
- どんなに体調がすぐれないときでも働かなければならない
- 一生懸命働くことで得られる充実感のすばらしさ [静岡/女子/大学]
- [北海道/女子/短大]

【保護者】仕事の具体的な内容、楽しさや大変さについて子どもに話すことがあるか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh.Q18

<フリーコメント> 子どもに話している内容【保護者】

- 社会に出たら理不尽なことがある、バイトしているのが考え方が甘い! [東京/母親/女子]
- 自分の場合は仕事を選べなかったの、自分のやりたい事をやるために努力してほしい [東京/母親/女子]
- 会社での出来事やニュースなどでとりあげられる社会での風潮が実際に社内でも起こっている事など [神奈川/母親/男子]
- 好きな仕事ばかりではないが、小さな事でも一生懸命に取り組む事が大事 [富山/母親/男子]
- 学校と違い、努力が必ずしも報われない [佐賀/父親/女子]
- 女性の場合、結婚・出産などで退職することが多く、再就職できるような技術や資格が大事 [静岡/母親/女子]
- 多くの仲間を作る事、コミュニケーションの大切さ [静岡/父親/男子]

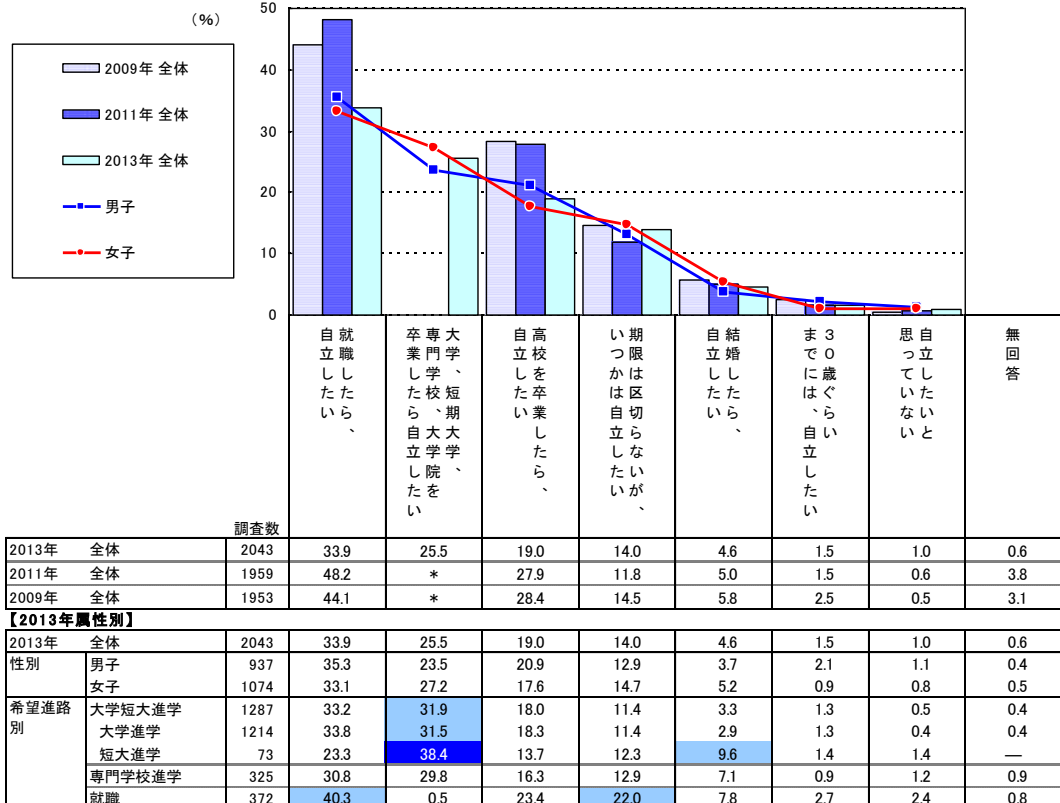
25.経済的自立についての認識

1)「経済的自立」についての高校生の認識

▶ 高校生の考える「経済的自立」のタイミングは「就職したら」が最も多く、34%。

- 高校生は経済的に「自立」することについてどのように考えているか、いくつかのタイミングを挙げてひとつ選んでもらった。最も多いのは「就職したら」で34%。ついで「大学、短期大学、専門学校、大学院を卒業したら」が26%。
- 男女とも、各項目のスコアに大きな差は無く、経済的自立についての考え方に男女差はみられない。
- 希望進路別にみると、大学短大進学希望者で「大学、短期大学、専門学校、大学院を卒業したら」が比較的高く、就職希望者では「就職したら」が比較的高い。

【高校生】「経済的自立」についてどう考えるか（全体／単一回答）



※「2013年全体」降順ソート ※「自立したいと思っていない」は2011年まで「親から経済的に自立したいと思わない」

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q21

2)子どもの「経済的自立」についての保護者の認識

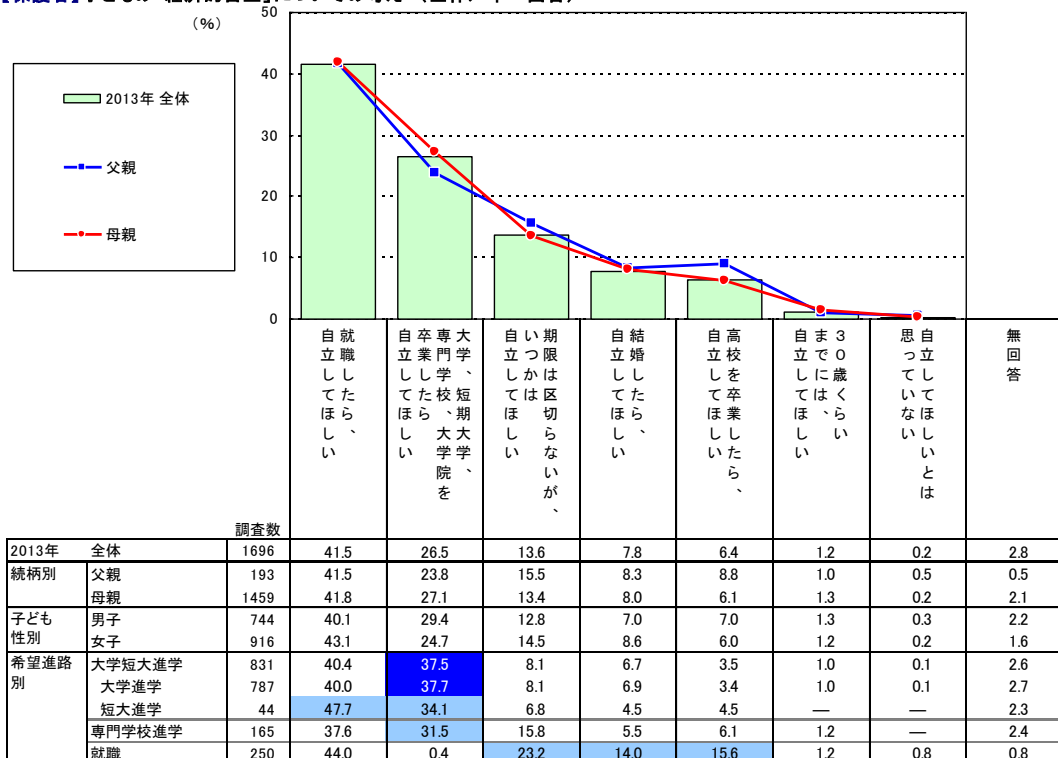
▶子どもの「経済的自立」のタイミングについて保護者の考えは、「就職したら」が42%。

- 保護者は子どもが経済的に「自立」することについてどのように考えているか、いくつかのタイミングを挙げてひとつ選んでもらった。最も多いのは「就職したら」で42%。ついで「大学、短期大学、専門学校、大学院を卒業したら」が27%。
- 続柄別・子ども性別にみると、それぞれのスコアには大きな差がみられない。
- 希望進路別にみると、大学短大進学・専門学校進学希望者で「大学、短期大学、専門学校、大学院を卒業したら」が比較的高く、就職希望者では「期限は区切らないがいつかは自立してほしい」が比較的高い。

▶「経済的自立」のタイミングについて高校生・保護者ともに「就職したら」がトップ。ついで「大学、短期大学、専門学校、大学院を卒業したら」。「高校を卒業したら」は保護者よりも高校生のスコアが高い。

- 高校生と保護者の回答を比較すると、「就職したら」「大学、短期大学、専門学校、大学院を卒業したら」の2つは高校生・保護者と共通して1位・2位となった。しかし3位は高校生は「高校を卒業したら」、保護者は「期限は区切らないがいつか自立してほしい」と回答の傾向が分かれた。

【保護者】子どもの「経済的自立」についての考え（全体／単一回答）



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh_Q16

V 保護者の動きと学校への要望

26.進学情報の必要性・入手方法

1)重要な進学に関する情報

▶子どもの進学を希望する保護者にとって、進学先検討で重要な情報は

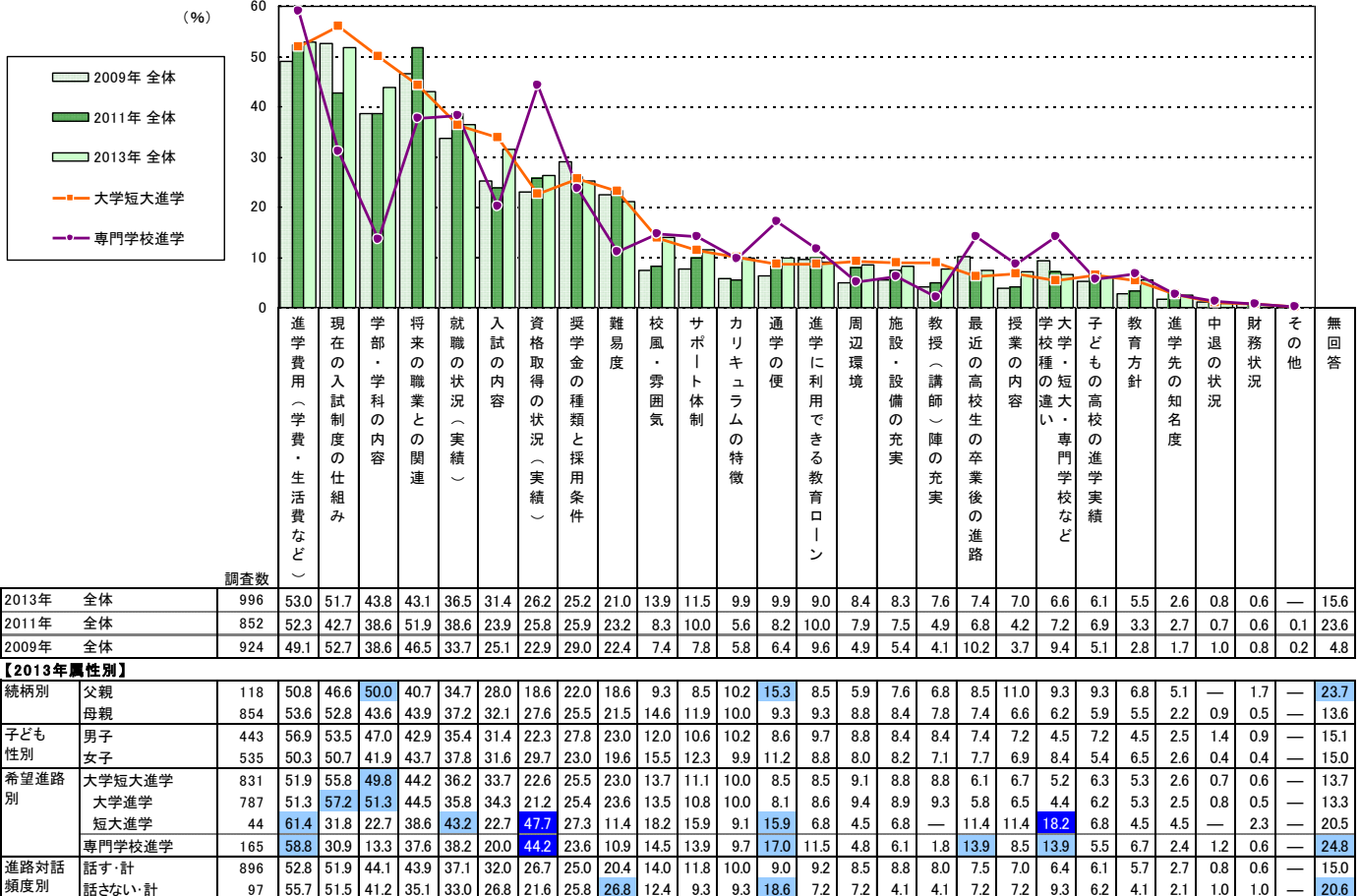
- ①進学費用(53%)
- ②現在の入試制度の仕組み(52%)
- ③学部・学科の内容(44%)
- ④将来の職業との関連(43%)
- ⑤就職の状況(37%)

▶大学短大進学希望者は、「入試制度」「学部・学科」「入試の内容」「難易度」など入試情報、専門学校進学希望者は、「進学費用」「資格取得」の情報を特に重視している。

- 子どもに進学を希望する保護者に、どのような進学情報が重要だと思うか最大で5項目まで選んでもらった。回答上位は上記のとおり。「進学費用」と「入試制度」が5割に達し、多くの保護者が重視している。
- 希望進路別にみると、大学短大進学希望者は「入試制度の仕組み」「学部・学科の内容」「入試の内容」「難易度」、専門学校進学希望者は「進学費用」「資格取得の状況」のスコアがそれぞれ高く、進学先により特に重視する情報が異なる。

【保護者】特に重要な進学情報（進学希望者／5項目まで回答）

(%)



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh_Q10SQ1

2)進学に関する情報の入手先

▶進学に関する最大の情報源は「各学校のホームページ」。担任の先生・配布資料など「高校」も主な入手先。

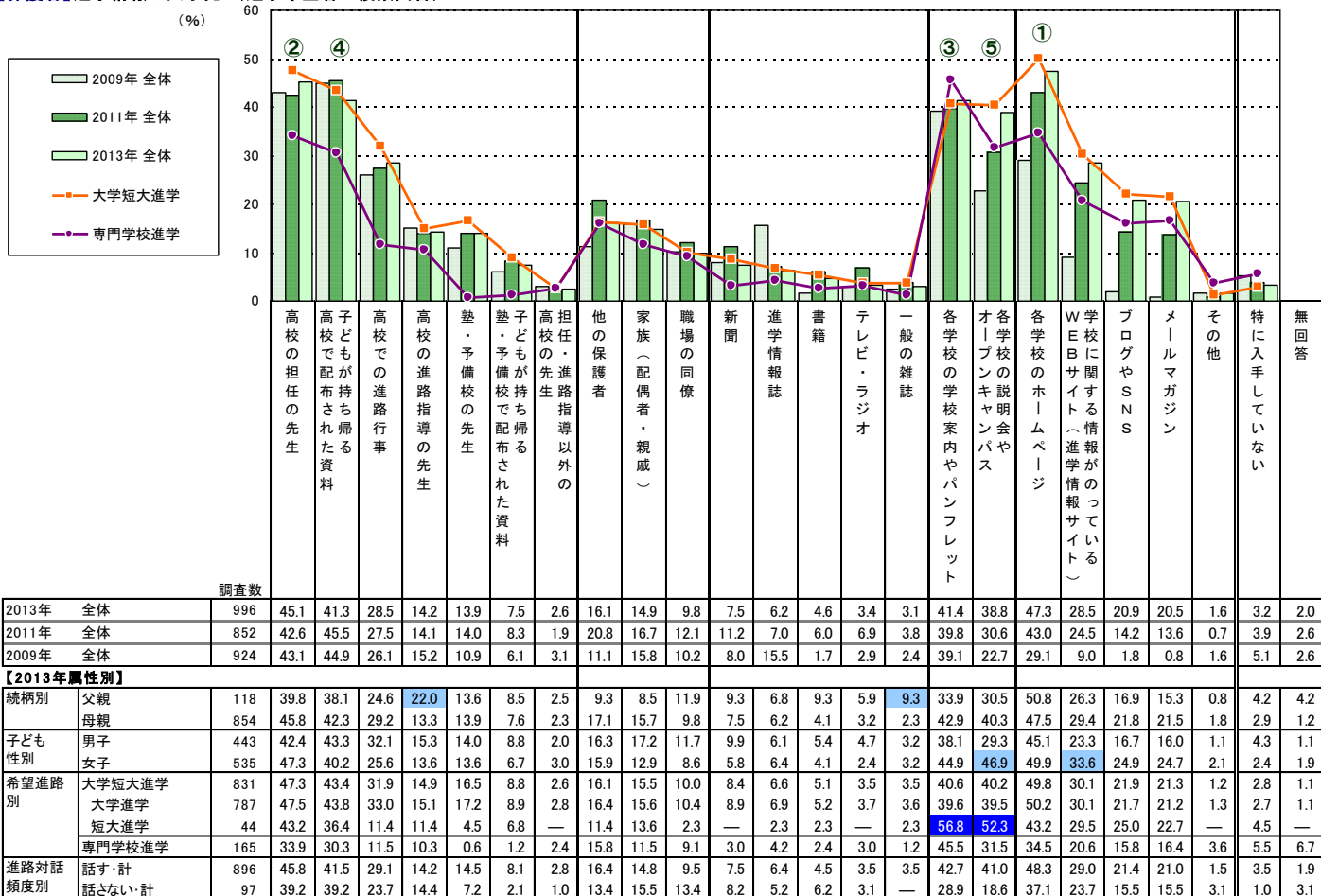
- ①各学校のホームページ(47%)
- ②高校の担任の先生(45%)
- ③各学校の学校案内やパンフレット(41%)
- ④子どもが持ち帰る高校で配布された資料(41%)
- ⑤各学校の説明会やオープンキャンパス(39%)

▶「説明会やオープンキャンパス」と「各学校のホームページ」「進学情報サイト」「ブログやSNS」「メールマガジン」などのネット情報が増加。

- 子どもの進路を考えるための情報をどこから入手しているかすべて選んでもらった。回答上位は上記のとおり。トップは「各学校のホームページ」。ついで「高校の担任の先生」「子どもが持ち帰る高校で配布された資料」が上位に挙がり、高校も主たる情報源である。
過去調査と比較すると、2009年から「各学校のホームページ」「進学情報サイト」「ブログやSNS」「メールマガジン」のスコアが大幅に増加しており、ネットから情報を入手する保護者が増えている。また「各学校の説明会やオープンキャンパス」も2009年から増加傾向。
- 希望進路別にみると、大学短大希望者は「各学校のホームページ」、専門学校進学は「学校案内やパンフレット」がトップ。大学短大進学希望者は全体にスコアが高く、情報の入手先が幅広い。

【保護者】進学情報の入手先 (進学希望者/複数回答)

(%)



※「2013年全体」降順ソート

※「2013年属性別」は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

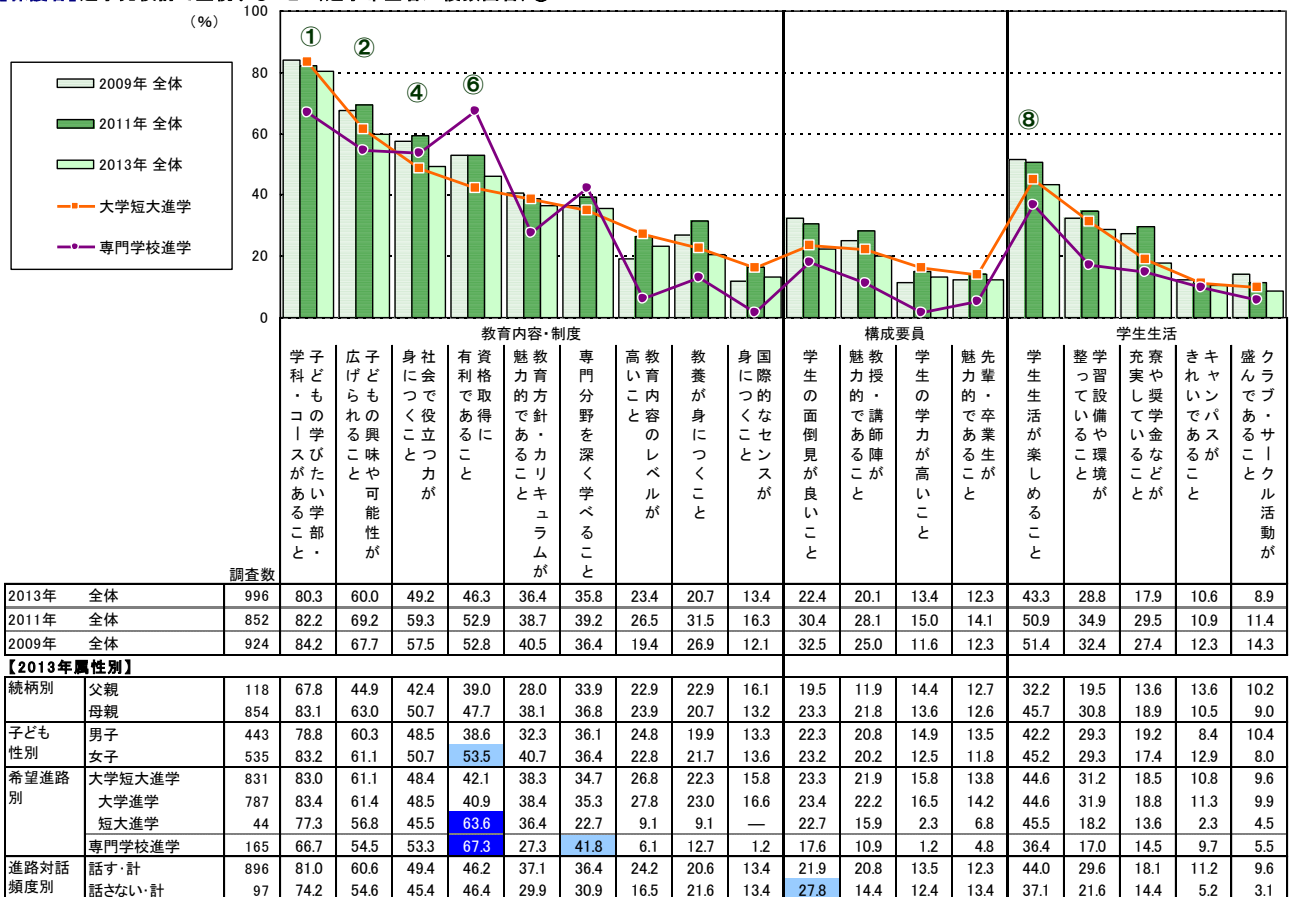
27.進学先検討の重視点

▶子どもの進学を希望する保護者が進学先検討で重視するのは、教育内容・制度や卒業後の就職に関する事柄が多い。

- ①子どもの学びたい学部・学科・コースがあること(80%)
- ②子どもの興味や可能性が広げられること(60%)
- ③就職に有利であること(55%)
- ④社会で役立つ力が身につくこと(49%)
- ⑤卒業後に社会で活躍できること(47%)
- ⑥資格取得に有利であること(46%)
- ⑦校風や雰囲気がいよこと(44%)
- ⑧学生生活が楽しめること(43%)
- ⑨将来の選択肢が増えること(40%)
- ⑩学費が高くないこと(40%)

●子どもの進学先の学校を考える際に、重視するのはどのようなことか、すべて選んでもらった。回答上位は上記のとおり。「子どもの学びたい学部・学科・コースがあること」「子どもの興味や可能性が広げられること」が上位に挙がっており、子ども自身の希望や興味が重視されている。

【保護者】進学先検討で重視すること（進学希望者／複数回答）①

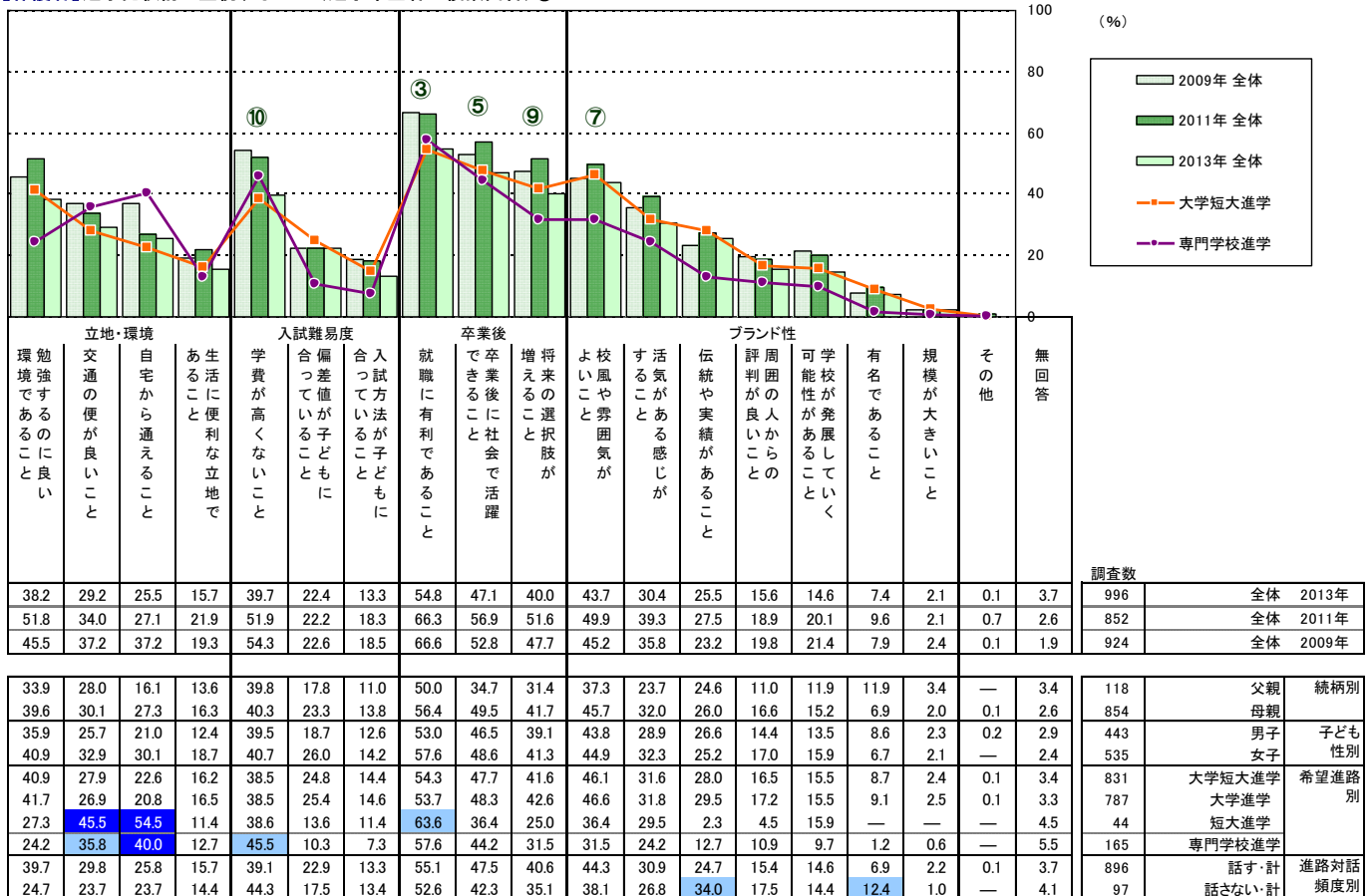


※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

- 続柄別にみると、父親よりも母親のほうが全般にスコアが高く、重視項目が幅広い。特に両者のスコア差が大きいのは「子どもの興味や可能性が広げられること」「子どもの学びたい学部・学科・コースがあること」。
- 子ども性別にみると、女子は「資格取得に有利であること」が54%と過半数に達する他、「交通の便が良いこと」「自宅から通えること」が男子よりも高く、男子に比べ資格取得や地元志向が強い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学希望者は「子どもの学びたい学部・学科・コースがあること」がトップ、専門学校進学希望者は「資格取得に有利であること」がトップで、重視する事柄の優先順位が異なる。

【保護者】進学先検討で重視すること（進学希望者／複数回答）②



28.保護者の進路選択行動

1)子どもの進路選択行動への関与状況

▶「行ったことがある」行動は分野・職業・進学先検討の“アドバイス”が多く、今後行いたい行動は興味をもった学校について“調べる”こと。

▶2011年に比べ、“アドバイス”を“行ったことがある”保護者は減少している。

- 子どもの進学を希望する保護者に、子どもの進路選択行動10項目それぞれについて保護者としてどうかかわっているか、今後どうしたいかを尋ねた。
- 子どもが高校2年生の時点で、すでに「行ったことがある」行動は、進路選択するための「アドバイス」に関する行動が多い。
 - ①子どもに合う分野をアドバイスする(58%)
 - ②将来の職業をアドバイスする(53%)
 - ③就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする(51%)
 - ④大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする(49%)
- 子どもが高校2年生の時点で、「行ったことはないが今後行いたい」行動は、具体的進路検討のため「調べる」行動が多い。
 - ①興味をもった学校の入試方法を調べる(53%)
 - ②興味をもった学校の資料請求をする(50%)
 - ③興味をもった学校の見学に行く(47%)
- 過去調査の結果と比較すると、「行ったことがある」行動で「アドバイスする」行動の割合が減少傾向にあり、「調べる」行動については増加傾向。

【保護者】子どもの進路選択行動へのかかわり方 (進学希望者/各単一回答)

| | (%) | 経験意向(計) | | | | 経験意向・計 |
|------------------------------------|-------|----------|------------------|------------------|------|--------|
| | | 行ったことがある | 行ったことはないが、今後行いたい | 行った事はなく今後行うつもりない | 無回答 | |
| どんな学部、学科、コースがあるかを調べる | 2013年 | 44.1 | 38.9 | 10.1 | 6.9 | 82.9 |
| | 2011年 | 41.2 | 37.6 | 11.9 | 9.4 | 78.8 |
| | 2009年 | 39.2 | 42.7 | 13.4 | 4.7 | 81.9 |
| 子どもに合う分野をアドバイスする | 2013年 | 57.5 | 24.4 | 10.8 | 7.2 | 81.9 |
| | 2011年 | 64.6 | 19.0 | 8.8 | 7.6 | 83.6 |
| | 2009年 | 67.1 | 20.6 | 8.0 | 4.3 | 87.7 |
| 興味をもった学校の入試方法を調べる | 2013年 | 28.3 | 52.9 | 11.2 | 7.5 | 81.2 |
| | 2011年 | 26.5 | 49.1 | 14.3 | 10.1 | 75.6 |
| | 2009年 | 24.7 | 55.2 | 14.8 | 5.3 | 79.9 |
| 子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる | 2013年 | 41.1 | 39.8 | 11.7 | 7.4 | 80.8 |
| | 2011年 | 42.0 | 36.7 | 13.1 | 8.1 | 78.8 |
| | 2009年 | 36.5 | 46.3 | 12.0 | 5.2 | 82.8 |
| 将来の職業をアドバイスする | 2013年 | 53.4 | 26.6 | 12.1 | 7.8 | 80.0 |
| | 2011年 | 63.8 | 19.0 | 9.2 | 8.0 | 82.9 |
| | 2009年 | 61.1 | 24.4 | 10.2 | 4.3 | 85.5 |
| 興味をもった学校の見学に行く(オープンキャンパス・学校見学会を含む) | 2013年 | 28.2 | 46.5 | 17.9 | 7.4 | 74.7 |
| | 2011年 | 24.2 | 42.8 | 23.0 | 10.0 | 67.0 |
| | 2009年 | 21.8 | 48.5 | 24.8 | 5.0 | 70.2 |
| 具体的な受験校を子どもにアドバイスする | 2013年 | 31.2 | 42.1 | 18.5 | 8.2 | 73.3 |
| | 2011年 | 33.6 | 37.4 | 18.9 | 10.1 | 71.0 |
| | 2009年 | 31.3 | 43.1 | 19.2 | 6.5 | 74.4 |
| 興味をもった学校の資料請求をする | 2013年 | 22.9 | 50.1 | 19.4 | 7.6 | 73.0 |
| | 2011年 | 19.8 | 47.3 | 23.4 | 9.5 | 67.1 |
| | 2009年 | 20.0 | 53.8 | 21.4 | 4.8 | 73.8 |
| 大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする | 2013年 | 48.8 | 21.8 | 21.4 | 8.0 | 70.6 |
| | 2011年 | 58.6 | 13.8 | 18.9 | 8.7 | 72.4 |
| | 2009年 | 64.3 | 15.7 | 15.0 | 5.0 | 80.0 |
| 就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする | 2013年 | 51.1 | 19.3 | 21.2 | 8.4 | 70.4 |
| | 2011年 | 62.1 | 12.3 | 16.4 | 9.2 | 74.4 |
| | 2009年 | 69.6 | 11.8 | 14.2 | 4.4 | 81.4 |

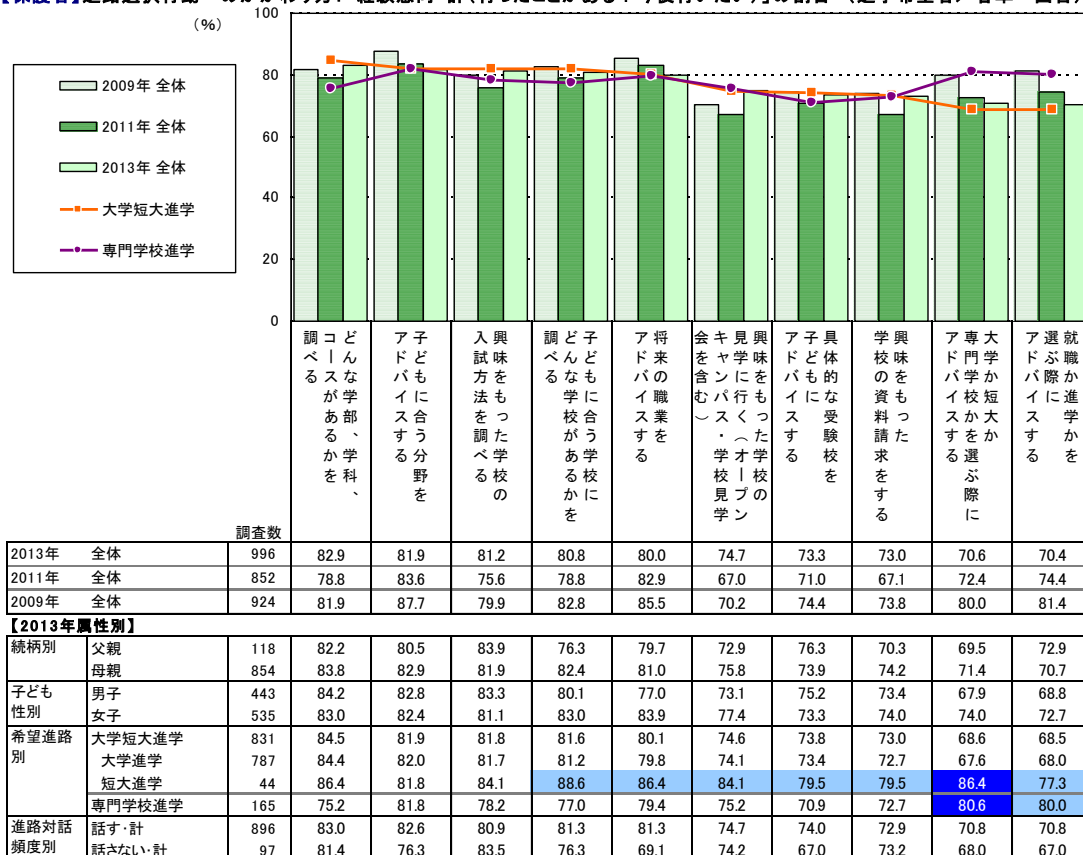
2)子どもの進路選択行動への関与状況:経験意向・計

▶ 関与の経験・意向すなわち「行ったことがある」「今後行いたい」合計は、進学先の情報収集と子どもに合う分野・職業のアドバイスが上位。

- ①どんな学部、学科、コースがあるかを調べる(83%)
- ②子どもに合う分野をアドバイスする(82%)
- ③興味をもった学校の入試方法を調べる(81%)
- ④子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる(81%)
- ⑤将来の職業をアドバイス(80%)

- 続柄別にみると、「子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる」は父親よりも母親のほうがスコアがやや高い。
- 子ども性別にみると、「将来の職業をアドバイスする」「大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする」は女子のほうが男子に比べスコアがやや高い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学希望者のトップは「どんな学部、学科、コースがあるかを調べる」。一方、専門学校進学希望者のトップは「大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする」が8割強に達するほか、「就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする」が大学短大進学希望者に比べ高く、就職か進学か、大学・短大か専門学校かを選ぶ際の関与が目立つ。

【保護者】進路選択行動へのかかわり方:「経験意向・計(行ったことがある+今後行いたい)」の割合 (進学希望者/各単一回答)



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

3)子どもの進路選択行動に具体的にかかわる理由

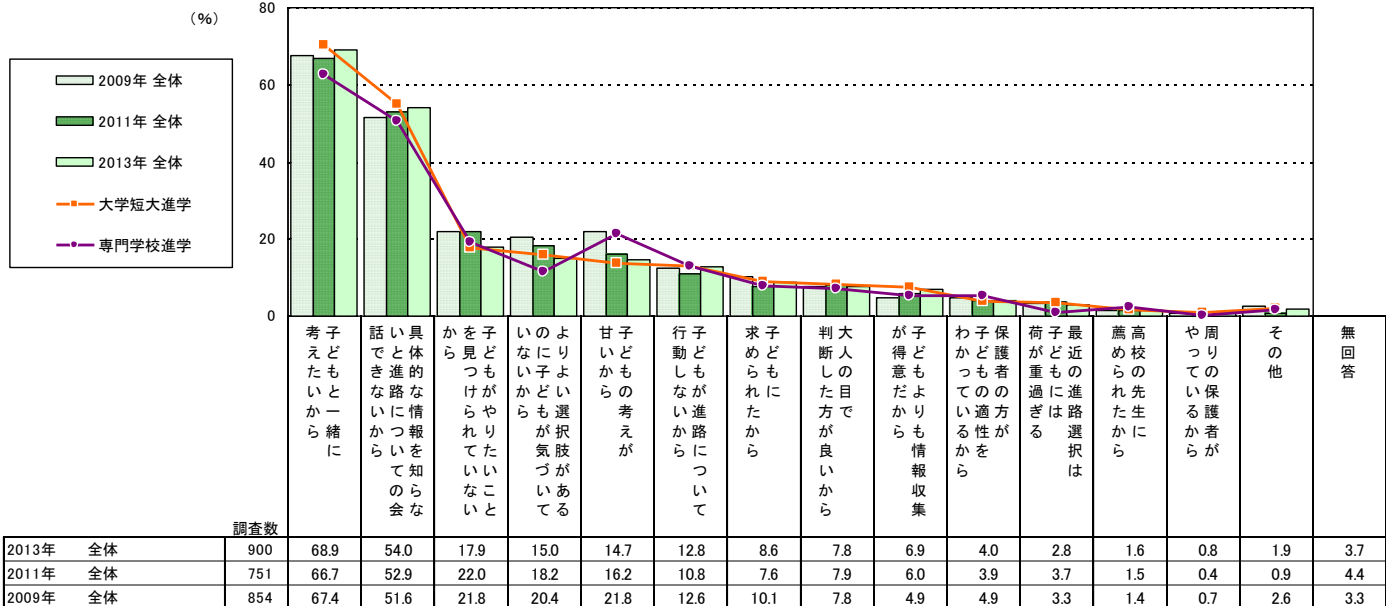
▶保護者が子どもの進路選択に関与する理由は、「子どもと一緒に」親子で協力し合いたいから。

- ①子どもと一緒に考えたいから(69%)
- ②具体的な情報を知らない進路についての会話ができないから(54%)

- 47ページで子どもの進路選択行動の関与を「行ったことがある」「今後行いたい」と回答した保護者に、関与する理由をすべて選んでもらった。トップは「子どもと一緒に考えたいから」、ついで「具体的な情報を知らない進路についての会話ができないから」が過半数に達し、突出。子どもと一緒に考え、会話をするなど協力し合おうとする保護者が多い。以下、「子どもがやりたいことをみつけられていないから」「より良い選択肢があるのに子どもが気づいていないから」「子どもの考えが甘いから」などは2割以下と少ない。
- 続柄別にみると、「子どもと一緒に考えたいから」は母親が70%と父親(61%)より多く、子どもと共に進路を検討したい意向が突出。父親は母親に比べ「大人の目で判断したほうが良いから」のスコアが高く、保護者として指導的な関与をしようという意向がうかがえる。
- 子ども性別にみると、男子は女子に比べ「具体的な情報を知らない進路についての会話ができないから」「子どもが進路について行動しないから」がやや高い。
- 希望進路別にみると、専門学校進学希望者は大学短大進学希望者に比べて「子どもの考えが甘いから」のスコアが高い。

【保護者】進路選択行動にかかわる理由（進学希望者：いずれか進路選択行動を行っている・今後行いたい／複数回答）

(%)



【2013年属性別】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--|
| 続柄別 | 父親 | 109 | 60.6 | 56.9 | 13.8 | 15.6 | 14.7 | 12.8 | 5.5 | 19.3 | 10.1 | 5.5 | 5.5 | 1.8 | — | 2.8 | 4.6 | | | | |
| | 母親 | 776 | 70.0 | 53.7 | 18.4 | 15.2 | 14.8 | 13.0 | 9.1 | 6.2 | 6.6 | 3.7 | 2.4 | 1.5 | 0.9 | 1.8 | 3.5 | | | | |
| 子ども性別 | 男子 | 401 | 70.1 | 58.9 | 17.5 | 16.5 | 15.5 | 16.7 | 6.0 | 6.5 | 7.2 | 3.0 | 2.7 | 2.0 | 1.0 | 1.5 | 2.2 | | | | |
| | 女子 | 490 | 68.2 | 50.0 | 18.2 | 14.1 | 14.1 | 9.8 | 10.8 | 9.0 | 6.7 | 4.9 | 2.9 | 1.2 | 0.6 | 2.2 | 4.7 | | | | |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 759 | 70.1 | 54.7 | 17.7 | 15.7 | 13.4 | 12.8 | 8.7 | 7.9 | 7.2 | 3.8 | 3.2 | 1.4 | 0.9 | 2.0 | 3.2 | | | | |
| | 大学進学 | 718 | 70.5 | 55.2 | 18.0 | 16.0 | 13.2 | 12.8 | 8.6 | 7.8 | 6.8 | 3.8 | 3.3 | 1.4 | 1.0 | 1.8 | 2.9 | | | | |
| | 短大進学 | 41 | 63.4 | 46.3 | 12.2 | 9.8 | 17.1 | 12.2 | 9.8 | 9.8 | 14.6 | 4.9 | — | 2.4 | — | 4.9 | 7.3 | | | | |
| | 専門学校進学 | 141 | 62.4 | 50.4 | 19.1 | 11.3 | 21.3 | 12.8 | 7.8 | 7.1 | 5.0 | 5.0 | 0.7 | 2.1 | — | 1.4 | 6.4 | | | | |
| 進路対話頻度別 | 話す・計 | 811 | 70.7 | 54.1 | 17.3 | 15.0 | 13.9 | 11.0 | 8.9 | 7.5 | 6.8 | 3.7 | 2.6 | 1.5 | 0.7 | 2.1 | 3.7 | | | | |
| | 話さない・計 | 86 | 52.3 | 53.5 | 24.4 | 15.1 | 22.1 | 30.2 | 4.7 | 10.5 | 8.1 | 5.8 | 4.7 | 2.3 | 1.2 | — | 3.5 | | | | |

※「2013年全体」降順ソート

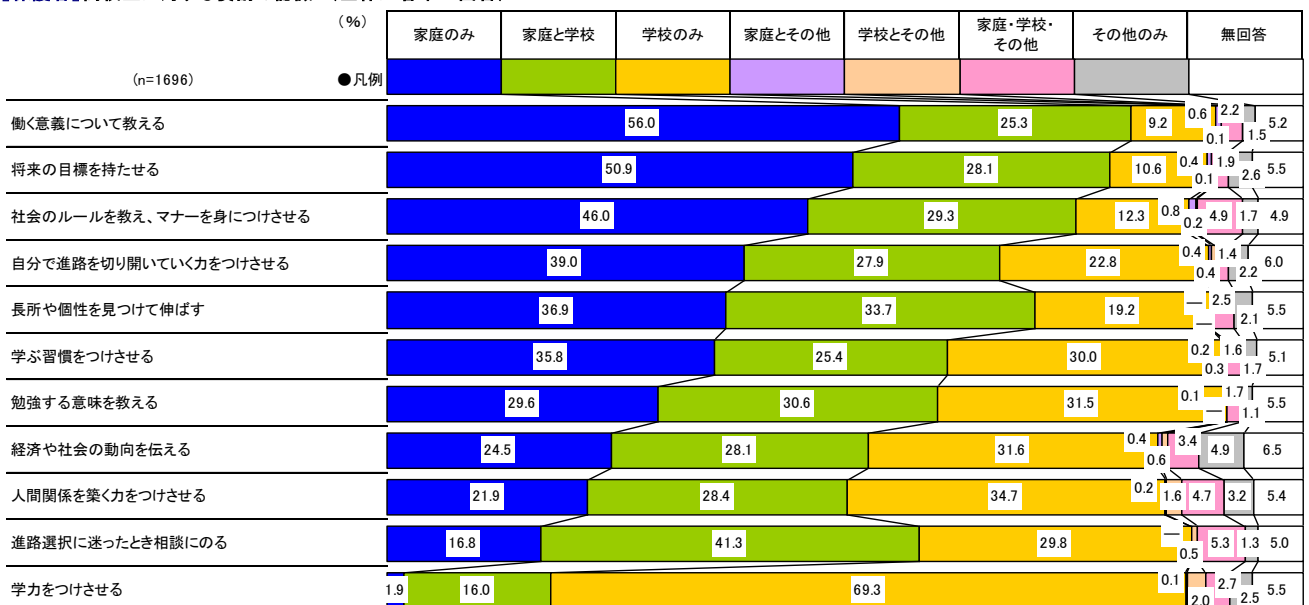
※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

29.家庭と学校の役割に関する認識

▶ 保護者の高校生の教育に関して、「働く意義について教える」「将来の目標をもたせる」のは主に家庭の役割、「学力をつけさせる」のは主に学校の役割と認識。

- 高校生の教育に関する11項目について、「家庭」「学校」「その他」のうち誰の役割なのか。該当すると思うものを項目ごとに選んでもらい、回答状況を分類した。
- 「家庭のみ」の役割は、「働く意義について教える」「将来の目標をもたせる」が過半数。
 - ① 働く意義について教える(56%)
 - ② 将来の目標をもたせる(51%)
 - ③ 社会のルールを教え、マナーを身につけさせる(46%)
- 「家庭と学校」両方が役割を担う教育は、「進路選択に迷ったとき相談に乗る」「長所や個性をみつけて伸ばす」が多く、家庭と学校との連携を期待している。一方で、「長所や個性をみつけて伸ばす」は「家庭のみ」の回答も同程度おり、保護者によって認識が分かれるという結果である。
 - ① 進路選択に迷ったとき相談にのる(41%)
 - ② 長所や個性をみつけて伸ばす(34%)
- 「学校のみ」の役割は、保護者の過半数が「学力をつけさせる」と回答。ついで「人間関係を築く力をつけさせる」「経済や社会の動向を伝える」も3割と多く、学力に加え人間関係構築や経済動向についての指導も期待されている。
 - ① 学力をつけさせる(69%)
 - ② 人間関係を築く力をつけさせる(35%)
 - ③ 経済や社会の動向を伝える(32%)
 - ④ 勉強する意味を教える(32%)
 - ⑤ 学ぶ習慣をつけさせる(30%)

【保護者】高校生に対する役割の認識（全体／各単一回答）



※「家庭のみ」の値で降順ソート

Hh_Q27SA_M

30.進路指導への要望

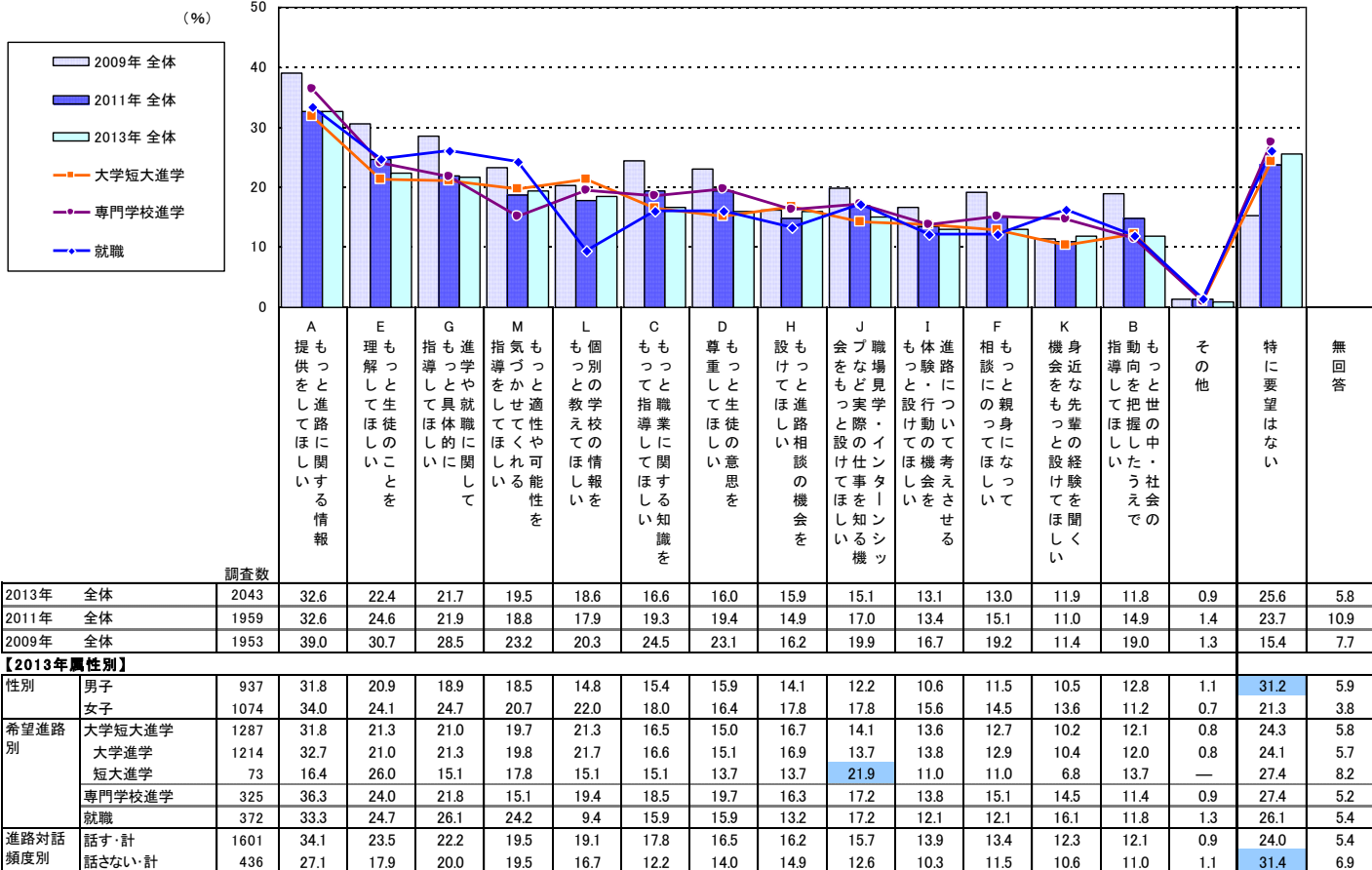
▶ 高校の進路指導に対する高校生の要望は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。

- ① もっと進路に関する情報提供をしてほしい(33%)
- ② もっと生徒のことを理解してほしい(22%)
- ③ 進学や就職に関してもっと具体的に指導してほしい(22%)
- ④ 適性や可能性を気づかせてくれる指導をしてほしい(20%)
- ⑤ 個別の学校の情報をもっと教えてほしい(19%)

▶ 「ひとりひとりの生徒のことを理解してほしい」など、画一的ではなく個人の希望を聞いたうえでの指導をして欲しいという意見・要望も。

- 高校の進路指導についての要望を、高校生と保護者それぞれにすべて選んでもらった。高校生の回答上位は上記のとおり。トップは「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。また、個人に合った・具体的指導についての要望が上位に挙がった。
- 男女とも上位の顔ぶれは同様だが、女子のスコアが男子より高い項目が多く、進路指導への要望が幅広い。
- 希望進路別にみると、進学・就職いずれの進路も「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」がトップ。大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は「個別の学校の情報をもっと教えてほしい」、就職希望者は「進学や就職に関してもっと具体的に指導してほしい」「適性や可能性を気づかせてくれる指導をしてほしい」のスコアが高く、それぞれの進路につながる情報提供を要望している。

【高校生】高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q34

<フリーコメント> 高校や教師に対する意見や要望【高校生】

- もっと職業や大学などについて調べる時間を設けてほしい [北海道/女子/短大]
- 一人一人の生徒のことをもっと知ってほしい [滋賀/女子/就職]
- 進学校だからといって、個人の夢をバカにしたりするのはやめて下さい [富山/女子/大学]

- 課題が多すぎて、やりたい勉強ができない [岩手/男子/大学]
- 中学みたいにもっと生徒に関わって面倒見てほしい。そうしたらその分、生徒も頑張れると思う [東京/女子/大学]
- 不安や悩みがあるのに「とりあえず勉強しろ」じゃ意欲がわかない。もっとやる気にさせるような授業をしてほしい [佐賀/女子/大学]

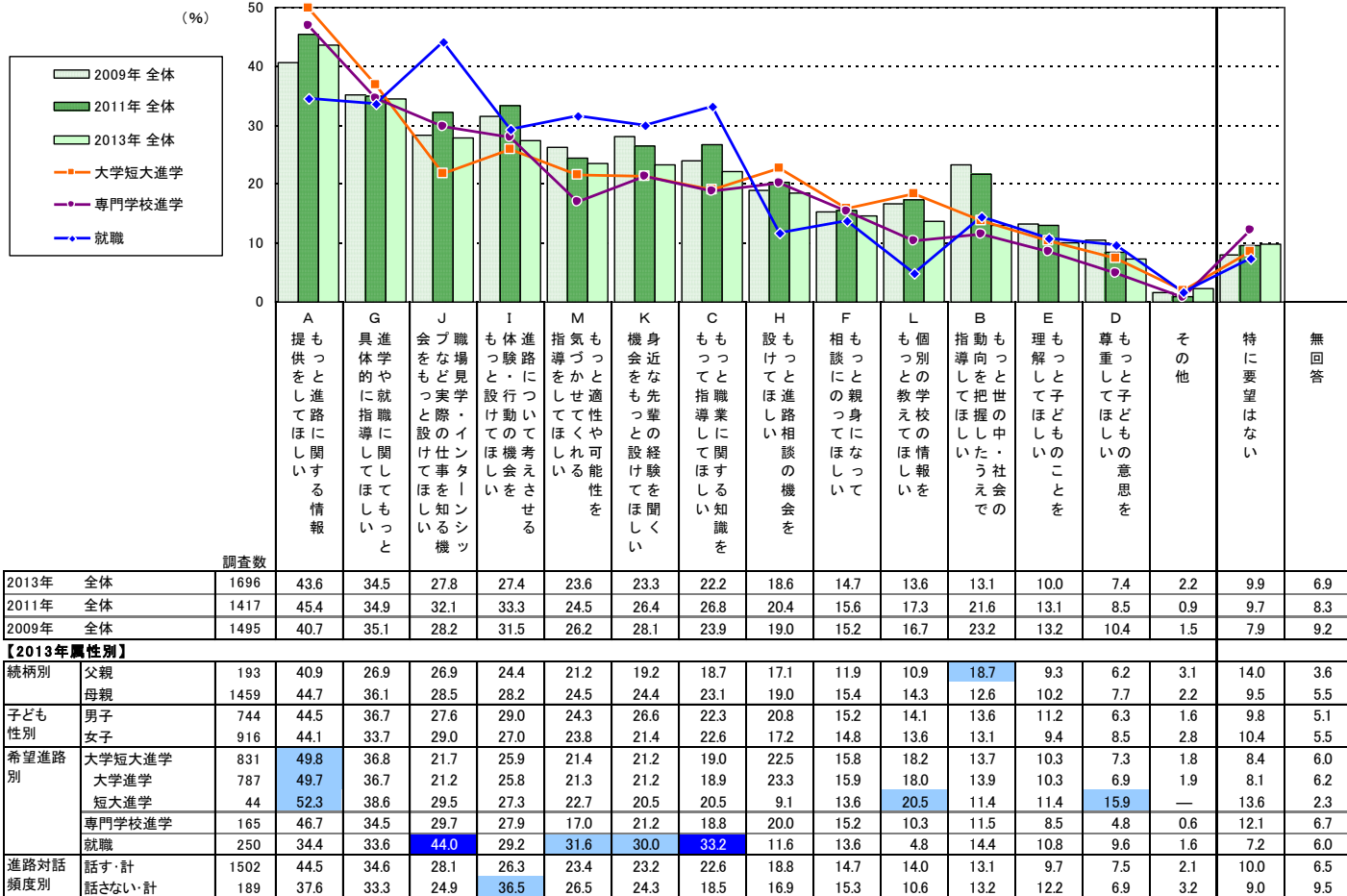
▶ 高校の進路指導に対する保護者の要望も、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。

- ①もっと進路に関する情報提供をしてほしい(44%)
- ②進学や就職に関してもっと具体的に指導してほしい(35%)
- ③職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい(28%)
- ④進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい(27%)
- ⑤適性や可能性を気づかせてくれる指導をしてほしい(24%)

▶ フリーコメントでは子どもの進路選択に不安を持っている保護者から「家庭でできることを教えて欲しい」という声も。

- 保護者の回答上位は上記のとおり。トップは高校生と同様、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」で、半数近くが要望している。以下、「進路について考えさせる体験・行動の機会」「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会」が上位に挙がり、保護者は進路や職業を知る体験・行動を伴う指導の要望が多い。
- 希望進路別にみると、大学短大進学、専門学校進学の進学希望者は「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」、就職希望者は「職場見学・インターンシップなど実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい」がそれぞれトップ。

【保護者】高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh_Q28

＜フリーコメント＞ 高校や教師に対する意見や要望【保護者】

- 子供に否定的な言動はやめてほしい。相談しやすい先生になってほしい【富山/母親/女子】
- 親の方が不安。どうして良いかわからないため、子供が自分で進路を詳しく調べる時間を設けてほしい【香川/母親/女子】
- 進路指導のスケジュールが3年間の中でどのように予定されているかわからない。相談のタイミングがわからない【東京/母親/男子】

- SNSでの投稿で企業・店舗に多大な迷惑をかけている若者がいる。ネット社会の怖さについて大きくとらえてほしい【富山/母親/男子】
- 授業のプロとして「この先生がいるから学校に行きたい」と生徒が思う授業をする先生が沢山いてほしい【東京/母親/男子】
- 学校でどのような事をしているのか教えてほしい。家でも、何か出来ることがあるのならば教えてほしい【静岡/母親/女子】

31. キャリア教育の認知と期待

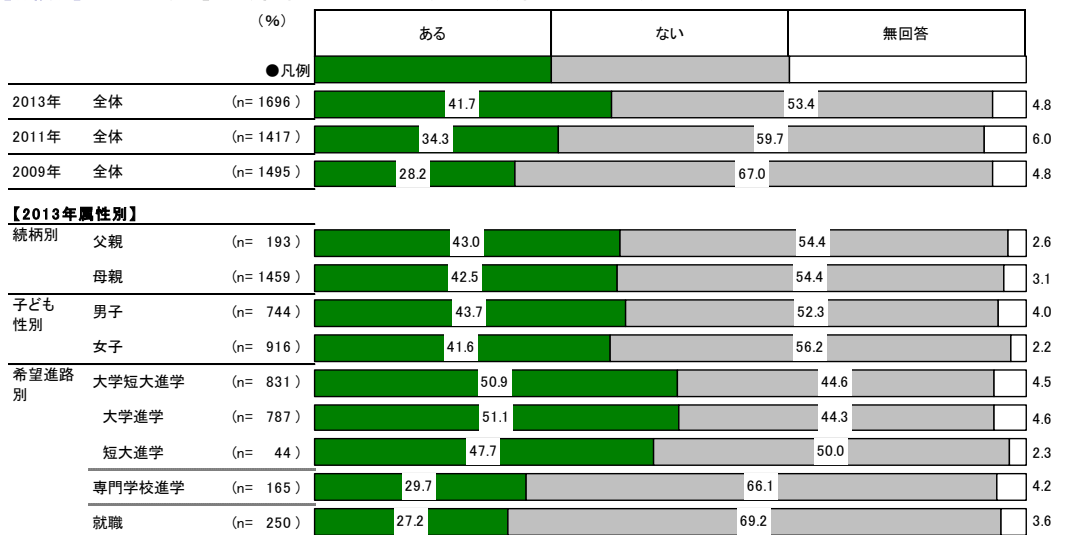
- ▶ 保護者の『キャリア教育』の認知率は2009年から増加し、42%。
- ▶ 8割がキャリア教育について「良いことだと思う」。しかし「非常に良い」は減少傾向。

- 保護者に『キャリア教育』という言葉聞いたことがあるか尋ねたところ、42%が「ある」。2009年以降、認知率は上昇している。
- 次に、キャリア教育の定義を呈示したうえで、キャリア教育が推進されていくことをどう思うか尋ねた。「非常に良いこと」は33%、「まあまあ良いこと」の48%と合わせ82%が「良い」と評価している(思う・計)。過去調査と比較すると、「(良いと)思う・計」のスコアには変化がないが、「非常に良いことだと思う」のスコアは過去調査より減少傾向。

※調査で提示した『キャリア教育』の定義

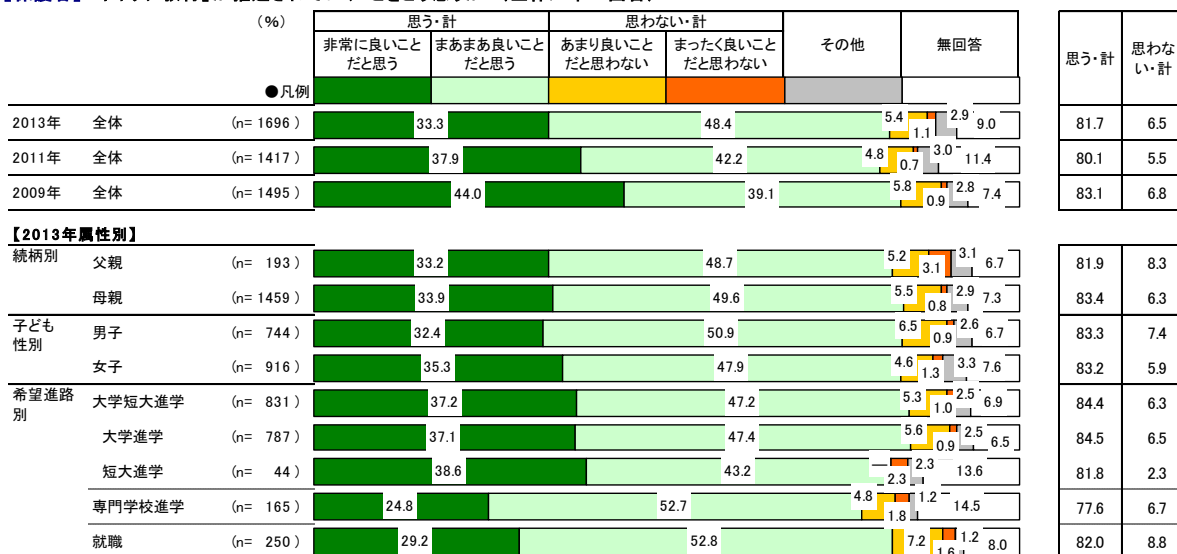
「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」

【保護者】「キャリア教育」という言葉聞いたことがあるか (全体/単一回答)



Hh_Q29.1

【保護者】「キャリア教育」が推進されていくことをどう思うか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh_Q29.2

＜フリーコメント＞ キャリア教育に対する意見や要望【保護者】

- 興味を持った企業、会社への職業体験、就業体験の機会を作るカリキュラム作りを希望 [東京/母親/男子]
- 学校の先生は学校のこじかわからないので、外部の人なども必要だと思う [佐賀/父親/女子]
- 高校になってから急にキャリア教育をしようとしても無理。高校入学時に将来の希望・ビジョンを持っているべき [東京/母親/女子]
- ワークライフバランスに応じたキャリアアップができるシステムもあることを伝えてほしい。特に女性は結婚・出産・子育てから仕事をすぐ辞める傾向にあるので目標をもってどう続けていくか考えられるようにしてほしい [香川/母親/女子]
- 学ぶことは一生なので、学校にこだわらず、いつまでもキャリア教育を受ける事も選ぶこともできることを伝えてほしい [神奈川/母親/男子]

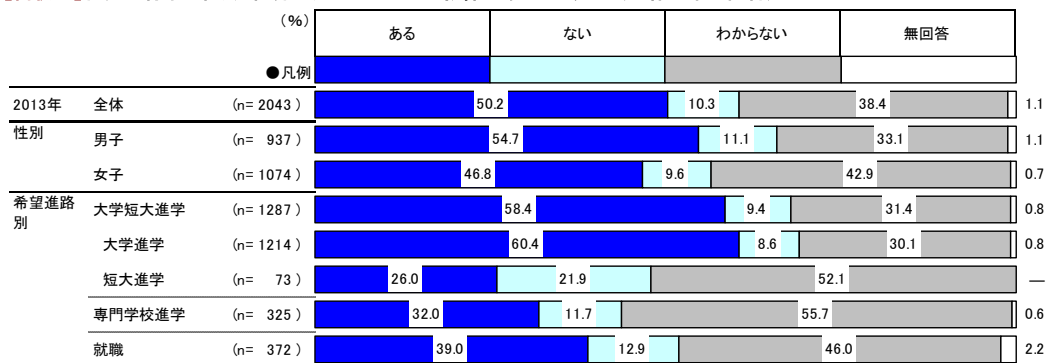
VI グローバル化社会における高校生と保護者の意識

32. 将来の進路に対するグローバル化社会の影響

▶ 社会・経済のグローバル化の影響について、高校生の50%、保護者の48%が「ある」と回答。

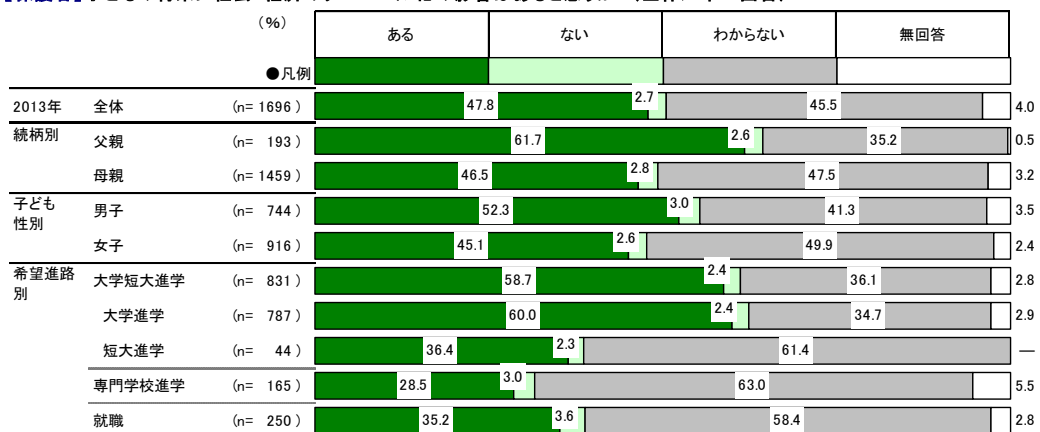
- 高校生に自分の将来に社会・経済のグローバル化の影響があると思うかを聞いた。50%が影響が「ある」と回答。ついで「わからない」が4割弱を占めている。
- 性別にみると、男子の55%が「ある」と回答し、女子(47%)を上回った。
- 希望進路別にみると、大学進学希望者では「ある」が6割を占め、短大進学・専門学校進学・就職希望者に比べてグローバル化意識が高い。
- 保護者に対しても同様に、子どもの将来に社会・経済のグローバル化の影響があると思うかを聞いた。「ある」と回答したのは48%で、高校生と同程度。「わからない」は46%と、高校生(38%)に比べて割合が高い。
- 続柄別にみると、母親よりも父親のほうが「ある」の割合が高い。
- 子どもの性別にみると、女子よりも男子のほうが「ある」の割合が高い。
- 希望進路別にみると、高校生の回答と同様に大学進学希望者の「ある」の割合が他の層に比べて高い。

【高校生】自分の将来に社会・経済のグローバル化の影響はあると思うか（全体／単一回答）



Kh.Q29

【保護者】子どもの将来に社会・経済のグローバル化の影響はあると思うか（全体／単一回答）



Hh.Q22

33.グローバル社会で通用する人材になりたい(なっしてほしい)か

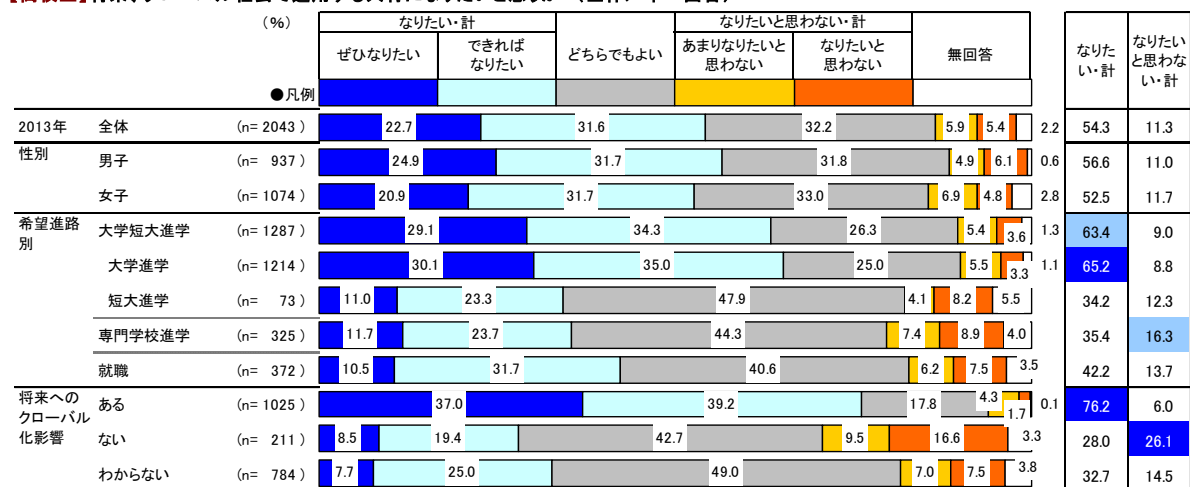
1) 高校生の認識

▶ 高校生の54%がグローバル社会で通用する人材に「なりたい」と回答。

▶ グローバル社会で通用する人材になることで「職業選択の幅が広がる」ことを期待。「通用しない人材は生き残れない」との意見も。

- 高校生に将来グローバル社会で通用する人材になりたいか尋ねたところ、「ぜひなりたい」は23%、「できればなりたい」の32%とあわせて54%が「なりたい」と回答した(なりたい・計)。
- 希望進路別では大学進学希望者の65%が「なりたい」と回答し、短大進学・専門学校進学・就職希望者に比べ意向が高い。
- 54ページの「将来へのグローバル化の影響」の回答別にみると、影響が「ある」と回答した者の76%が「なりたい」と回答。グローバル化の影響が「ない」もしくは「わからない」と回答した者でも3割は「なりたい」と回答した。
- グローバル社会で通用する人材になりたいと思う理由について、「職業選択の幅が広がる」「社会のグローバル化が進む中で、通用する人材でなければ生き残れない」などの意見が挙げられた。なりたくない理由としては、「英語が苦手」など語学面の不安と、「自分には関係ない」といった無関心さが挙げられた。

【高校生】将来、グローバル社会で通用する人材になりたいと思うか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Kh_Q30

＜フリーコメント＞ グローバル社会で通用する人材になりたい・なりたくない理由(高校生)

■ぜひなりたい

- 将来の就職の幅が広がるから [富山/男子/大学]
- この先、日本だけで生きていくのは不可能 [静岡/男子/就職]
- 英語で話せるとかカッコイイし、役に立つし、人脈が広がるから [富山/女子/大学]
- 価値観や考え、文化が異なる人々と共に仕事をするのは自分にとってプラスになると思うから [東京/女子/大学]
- 外交に不安があるため、自分の努力によって少しでも穏やかに仲良くしたいから [東京/女子/大学]
- 自分が海外に行かなくても海外から来る人はいるし、これから更に増えると思うから [岩手/男子/専門学校]

■できればなりたい

- 英語が得意でそれを活かす事ができたらいいと思うから [富山/女子/大学]
- いずれ社会はそうなる。その能力のない人は、排除されていく [香川/男子/大学]
- できればなりたいが英語が苦手…。しかし、なれた方が便利だろうとは思 [北海道/女子/短大]
- 社内公用語が英語の会社が増えつつあるから [静岡/男子/大学]
- 日本国内だけで働いていても、食べていけるか分からないから [佐賀/男子/大学]
- 留学したいので、結果的にそうなればいい [香川/男子/大学]

■どちらでもよい

- あまり英語が得意でないから [滋賀/女子/専門学校]
- いま「グローバル社会」を理解していない [佐賀/女子/大学]
- もし必要になれば、その時の自分にまかせる [香川/男子/大学]
- 英語が好きだから、活かせるのはよいと思うが、自信はない [静岡/女子/大学]
- 私のなりたいものは海外のこととはあまり関わりがないから [滋賀/女子/短大]
- 日本に住んでいるのだから関係ない [北海道/男子/大学]

■あまりなりたいと思わない

- 外国が怖いイメージ。あまり興味がない [東京/女子/大学]
- 言語が通用しないため、上手くコミュニケーションがとれないと思う [富山/男子/大学]
- 最近何かと「グローバル」と言っているが、地域のため・日本のために働く人も必要であると思うから [静岡/男子/大学]
- 日本国内だけでも何とかなると思うから [佐賀/男子/大学]

■なりたいと思わない

- 「グローバル社会」が何なのか分からないから [岩手/女子/就職]
- そんな企業は大手だけ [香川/男子/就職]
- 国内を良くしなければ話は始まらないから [神奈川/男子/大学]
- 日本語だけで、精一杯 [静岡/女子/短大]

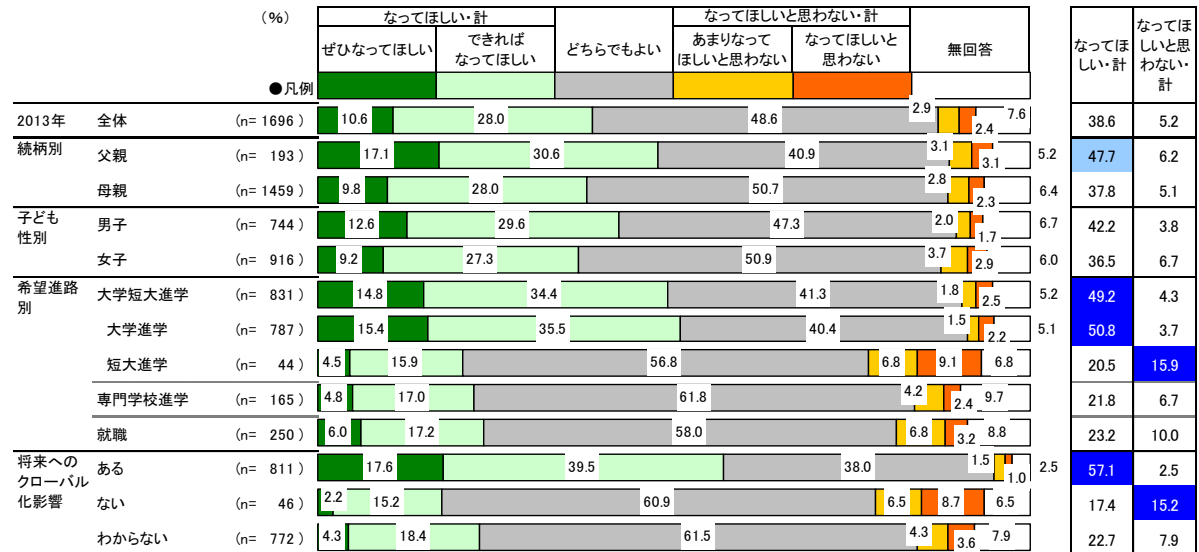
2)保護者の認識

▶ 保護者の39%が子どもにグローバル社会で通用する人材に「なしてほしい」と回答。

▶ 社会で認められる人材になるために「なしてほしい」という意見がある一方で、「子ども自身が考えること」という意見もある。

- 保護者に対しては、子どもにグローバル社会で通用する人材になしてほしいと思うかを尋ねたところ、「ぜひなしてほしい」は11%、「できればなしてほしい」の28%とあわせて39%が「なしてほしい」と回答した(なしてほしい・計)。保護者は「どちらでもよい」が49%と半数を占めており、高校生に比べて「なしてほしい(なりたい)」の割合は低い。
- 続柄別にみると、母親よりも父親のほうが「なしてほしい」の割合が高い。性別にみると、女子よりも男子のほうが「なしてほしい」の割合が高い。
- 希望進路別では大学進学希望者の「なしてほしい」割合が短大進学・専門学校進学・就職希望者にくらべて高い。
- なしてほしいと思う理由について、「グローバル化への対応」に加えて、視野の広い考え方・働き方をしてほしいという意見が挙がっている。また、「本人が決めること・考えること」であるため「どちらでもよい」と回答したという意見もみられた。

【保護者】子どもにグローバル社会で通用する人材になしてほしいか (全体/単一回答)



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

Hh_Q24

＜フリーコメント＞ グローバル社会で通用する人材になしてほしい・なほしくない理由【保護者】

■ぜひなしてほしい

- 子供が英語などに興味があり、それを生かした仕事につけると良い。できれば、色々な世界を見てほしい【神奈川県/母親/男子】
- 学ぶものが大きいと思うので、多くの海外の人達と交流を持ち、人間的に成長して欲しい【静岡県/母親/女子】
- 世界のあらゆる問題を自分の問題として考え、捉え、解決していきたいという高い志で生きてほしい【富山県/母親/男子】
- 日本の人口は減る一方で海外との交流が不可欠【静岡県/母親/男子】

■できればなしてほしい

- 「グローバル社会で通用する人材」=「会社で認められている人材」だから【香川県/母親/男子】
- どのような職業であっても、世界の国々と共存し、協力しあってより良い社会にしていく必要があると思うから【静岡県/母親/女子】
- 英語は手段として身につけておき、どんな状況に社会が変化したとしても、自分の使える武器にしていほしい【静岡県/母親/女子】
- 海外に行かなくても外国人は日本に来る。いづれどこで外国人と出会ってもひるむことなく接していほしい【神奈川県/母親/男子】
- 世界には多種多様な生き方があり、それを実感する事で自分の役割を探していほしいから【東京都/母親/女子】
- 様々な困難にぶつかっても、グローバルな考え(いろんな考え)を持って、乗り越えて欲しい【香川県/母親/女子】

■どちらでもよい

- 英語が得意で本人は望んでいるが、海外には治安が不安定な国があり、積極的に本人の思いを叶えたいと思えない【富山県/母親/女子】
- そもそもそれは親が考える事ではなく、子自身が必要と思えば私共はそれを応援するのみ【北海道/母親/女子】
- まず日本語のコミュニケーション能力が出来てからのグローバルだと思う【佐賀県/母親/男子】
- 外に向かっていく性格ではない。コミュニケーション力は高くないようなので無理してやることもない【静岡県/母親/男子】
- 自分らしさがあれば、特にグローバル社会で通用しなくてもよい【滋賀県/母親/女子】
- 製造業を希望しているので、工作上あまり関係ないような気がする【富山県/母親/男子】

■あまりなしてほしいと思わない

- 子どもにそこまで力がないと思うし、あまり遠くに行かないでほしいと思うから【滋賀県/母親/男子】
- 治安がわからず、不安や心配が沢山あるから【北海道/母親/女子】

■なしてほしいと思わない

- 子供の希望する職種にはグローバル化はあまり関係ないと思うし、本人も希望してない【北海道/母親/女子】
- 女性だし、地元で働いてほしいから【静岡県/母親/女子】

34.グローバル社会で通用する人材になるために必要な力

1) 高校生の認識

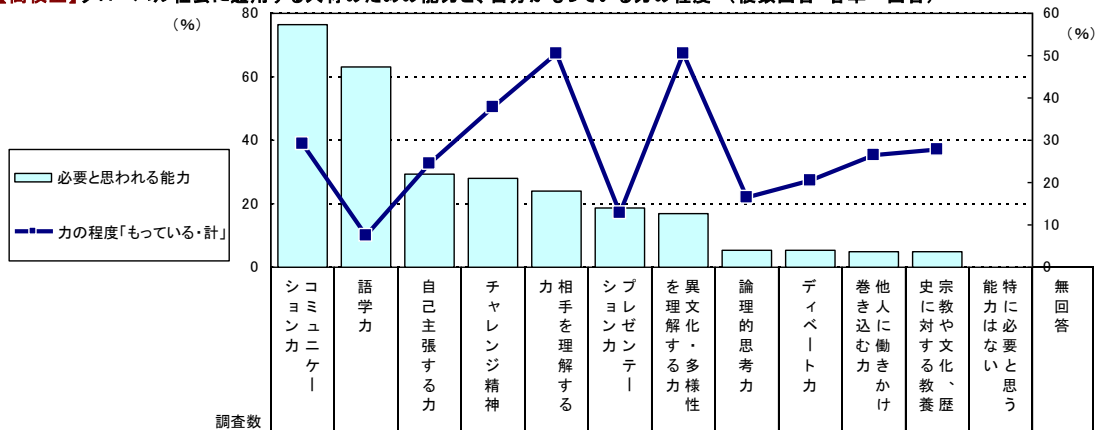
▶ 高校生が考えるグローバル社会に通用する人材に必要な力は「コミュニケーション力」「語学力」。

- 高校生にグローバル社会に通用する人材になるために必要な能力を最大3項目まで選んでもらったところ、トップは「コミュニケーション力」で76%、ついで「語学力」で63%。「自己主張」「チャレンジ精神」等は3割にとどまる。

▶ 「語学力」が必要と回答した高校生のうち、その能力を「もっている」と回答したのは7%にとどまる。

- 各能力を「必要」と回答した高校生に、自分自身がその能力をもっているかどうか回答を得た。「コミュニケーション力」が「必要」と回答した者のうち、能力を持っていると回答したのは29%(もっている・計)。同様に「語学力」では能力を持っているのは7%にとどまり、語学の必要性を認識しながらも、実際に能力を持っているのは1割に満たない。
- グローバル人材の育成について高校に要望することでは、「使える(話せる)語学力」のための英語の授業の改善希望が多い。また、外国・日本双方の文化・価値観について学びたいという声も挙がった。

【高校生】グローバル社会に通用する人材のための能力と、自分も持っている力の程度 (複数回答・各単一回答)



■①グローバル社会で通用する人材になるために必要と思われる能力(全体/3項目まで複数回答)

| 2013年 | 全体 | 2043 | 76.3 | 63.1 | 29.3 | 28.1 | 24.1 | 18.5 | 16.8 | 5.4 | 5.3 | 5.0 | 4.8 | 0.1 | 4.0 |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 性別 | 男子 | 937 | 74.8 | 63.1 | 30.2 | 26.9 | 24.9 | 20.6 | 14.9 | 6.7 | 5.1 | 6.2 | 5.3 | 0.2 | 3.5 |
| | 女子 | 1074 | 78.1 | 63.8 | 29.0 | 29.5 | 23.2 | 16.9 | 18.6 | 4.4 | 5.5 | 4.2 | 4.5 | — | 3.4 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 1287 | 76.5 | 64.9 | 31.8 | 26.3 | 23.2 | 19.7 | 17.2 | 5.6 | 6.5 | 5.4 | 5.6 | 0.1 | 2.5 |
| | 大学進学 | 1214 | 76.8 | 65.2 | 31.6 | 26.2 | 23.0 | 20.2 | 17.5 | 5.6 | 6.8 | 5.4 | 5.8 | 0.1 | 2.1 |
| | 短大進学 | 73 | 72.6 | 60.3 | 34.2 | 28.8 | 26.0 | 11.0 | 12.3 | 5.5 | 2.7 | 6.8 | 1.4 | — | 9.6 |
| | 専門学校進学 | 325 | 76.0 | 59.4 | 24.0 | 35.4 | 26.2 | 16.3 | 15.7 | 4.3 | 3.7 | 3.7 | 2.5 | — | 6.5 |
| | 就職 | 372 | 76.9 | 60.5 | 25.8 | 28.5 | 26.3 | 16.4 | 16.9 | 4.8 | 2.7 | 5.1 | 4.0 | — | 6.2 |

■②自分も持っている力の程度:「もっている・計」一覧(各能力「必要」回答者/各単一回答)

| 2013年 | 全体 | 29.1 | 7.4 | 24.2 | 37.6 | 50.3 | 12.7 | 50.4 | 16.4 | 20.4 | 26.2 | 27.6 |
|-------|--------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 性別 | 男子 | 30.1 | 9.1 | 25.4 | 42.1 | 52.4 | 15.5 | 47.9 | 22.2 | 27.1 | 17.2 | 40.0 |
| | 女子 | 28.5 | 5.7 | 23.2 | 34.7 | 49.4 | 9.9 | 53.0 | 8.5 | 13.6 | 37.8 | 14.6 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 27.9 | 7.1 | 24.7 | 36.0 | 50.7 | 13.4 | 52.7 | 20.8 | 20.2 | 30.0 | 26.4 |
| | 大学進学 | 27.8 | 7.3 | 24.2 | 35.8 | 50.9 | 13.9 | 53.5 | 22.1 | 19.5 | 32.3 | 26.8 |
| | 短大進学 | 30.2 | 2.3 | 32.0 | 38.1 | 47.4 | — | 33.3 | — | 50.0 | — | — |
| | 専門学校進学 | 27.8 | 7.3 | 24.2 | 35.8 | 50.9 | 13.9 | 53.5 | 22.1 | 19.5 | 32.3 | 26.8 |
| | 就職 | 30.2 | 2.3 | 32.0 | 38.1 | 47.4 | — | 33.3 | — | 50.0 | — | — |

※①「2013年 全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

※②「もっている・計」=「十分もっている」「まあまあもっている」の合算値

※③(力の程度)は①(必要と思われる能力)で選択した能力についてのみ回答 Kh_Q32

<フリーコメント> グローバル人材の育成について高校に要望すること【高校生】

- 「個」を尊重する。日本的な考えを押し付けない [東京/男子/大学]
- コミュニケーションに関わる授業を取り入れるべき [北海道/女子/専門学校]
- 海外大学の情報がほしい [東京/女子/大学]
- 英語でコミュニケーションをとる機会がほしい [静岡/女子/大学]

- まずは、日本(母国)について教えて下さい [神奈川/男子/大学]
- 海外情勢や文化について学ぶ機会がほしい [富山/女子/留学]
- 自己主張にかけている日本人をどうにかする為に関わり組んでほしい [富山/女子/大学]
- ネイティブの英語の授業を受けてみたい [東京/女子/大学]

2)保護者の認識

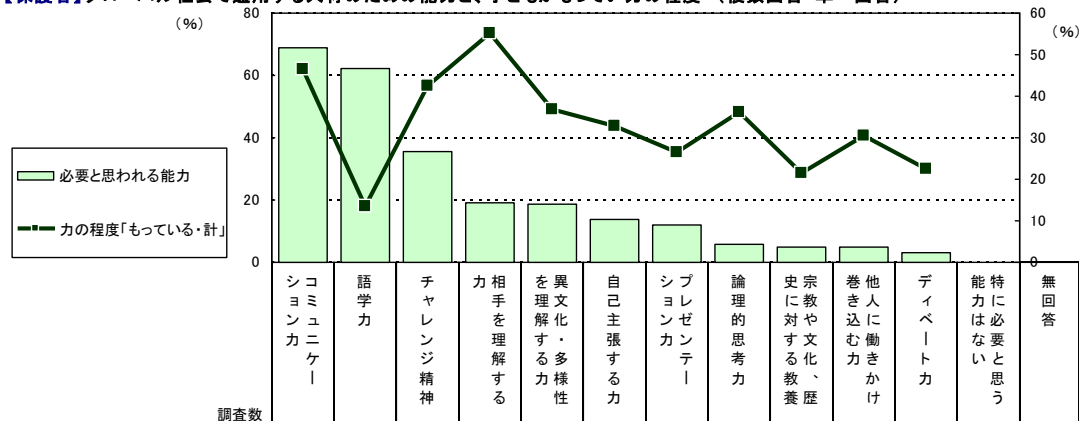
▶保護者が考えるグローバル人材に必要な力は、高校生同様に「コミュニケーション力」「語学力」。

- 保護者にも高校生同様、グローバル人材に必要な能力を最大3項目まで選んでもらったところ、「コミュニケーション力」(69%)、「語学力」(62%)で上位2項目は高校生と共通している。ついで「チャレンジ精神」は36%で、高校生の「必要」のスコアよりも高い。

▶「語学力」を必要と認識しながら、子どもがその能力を「もっている」と回答したのは13%にとどまる。

- 各能力を「必要」と回答した保護者に子どもがその能力をもっているかどうか回答を得た。「コミュニケーション力」は46%(もっている・計)、「語学力」は13%が「もっている」と回答し、高校生の「もっている」のスコアよりも高い。

【保護者】グローバル社会で通用する人材のための能力と、子どもがもっている力の程度（複数回答・単一回答）



■①グローバル社会で通用する人材になるために必要と思われる能力(全体/3項目まで複数回答)

| 2013年 | 全体 | 1696 | 69.1 | 62.1 | 35.6 | 19.1 | 18.6 | 13.7 | 11.9 | 5.9 | 4.7 | 4.7 | 2.9 | — | 13.5 |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|---|------|
| 続柄別 | 父親 | 193 | 68.4 | 52.3 | 32.6 | 29.0 | 16.6 | 15.5 | 10.9 | 9.8 | 6.2 | 4.1 | 3.6 | — | 13.5 |
| | 母親 | 1459 | 70.5 | 64.4 | 36.5 | 18.2 | 19.2 | 13.6 | 12.3 | 5.4 | 4.7 | 4.9 | 2.9 | — | 12.0 |
| 子ども性別 | 男子 | 744 | 71.0 | 61.3 | 36.8 | 19.8 | 19.4 | 12.6 | 12.5 | 7.0 | 5.4 | 6.0 | 3.2 | — | 11.4 |
| | 女子 | 916 | 69.8 | 64.5 | 35.5 | 19.0 | 18.3 | 15.0 | 11.8 | 5.2 | 4.4 | 3.7 | 2.7 | — | 12.8 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 831 | 73.8 | 67.1 | 33.9 | 17.2 | 22.1 | 13.4 | 13.8 | 8.3 | 5.2 | 3.9 | 4.0 | — | 9.4 |
| | 大学進学 | 787 | 74.5 | 67.2 | 34.2 | 17.2 | 22.1 | 12.6 | 14.1 | 8.6 | 5.2 | 3.9 | 3.9 | — | 9.0 |
| | 短大進学 | 44 | 61.4 | 65.9 | 29.5 | 18.2 | 22.7 | 27.3 | 9.1 | 2.3 | 4.5 | 2.3 | 4.5 | — | 15.9 |
| | 専門学校進学 | 165 | 63.0 | 52.1 | 37.6 | 18.8 | 10.3 | 14.5 | 9.1 | 4.8 | 4.2 | 6.1 | 1.8 | — | 20.0 |
| | 就職 | 250 | 60.4 | 63.2 | 37.6 | 22.4 | 15.6 | 20.4 | 10.8 | 2.8 | 5.2 | 8.0 | 1.6 | — | 14.0 |

■②子どもがもっている力の程度:「もっている・計」一覧(各能力「必要」回答者/各単一回答)

| 2013年 | 全体 | 46.3 | 13.3 | 42.2 | 54.9 | 36.7 | 32.6 | 26.4 | 36.0 | 21.3 | 30.4 | 22.4 |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 続柄別 | 父親 | 45.5 | 15.8 | 46.0 | 58.9 | 25.0 | 46.7 | 38.1 | 47.4 | — | 25.0 | 14.3 |
| | 母親 | 46.6 | 12.9 | 41.8 | 54.3 | 38.2 | 30.2 | 24.6 | 32.9 | 25.0 | 31.0 | 23.8 |
| 子ども性別 | 男子 | 47.7 | 10.3 | 39.8 | 55.1 | 34.7 | 29.8 | 31.2 | 40.4 | 15.0 | 28.9 | 20.8 |
| | 女子 | 45.4 | 15.6 | 44.0 | 55.2 | 38.7 | 34.3 | 22.2 | 31.3 | 27.5 | 32.4 | 24.0 |
| 希望進路別 | 大学短大進学 | 48.9 | 19.4 | 42.6 | 54.5 | 41.3 | 27.0 | 24.3 | 42.0 | 18.6 | 28.1 | 24.2 |
| | 大学進学 | 49.1 | 20.2 | 43.1 | 54.8 | 42.5 | 27.3 | 25.2 | 42.6 | 19.5 | 29.0 | 25.8 |
| | 短大進学 | 44.4 | 3.4 | 30.8 | 50.0 | 20.0 | 25.0 | — | — | — | — | — |
| | 専門学校進学 | 46.2 | 2.3 | 43.5 | 45.2 | 11.8 | 37.5 | 26.7 | 12.5 | 14.3 | 20.0 | 33.3 |
| | 就職 | 43.7 | 5.1 | 44.7 | 57.1 | 25.6 | 45.1 | 29.6 | 14.3 | 38.5 | 45.0 | 25.0 |

※①「2013年 全体」降順ソート

※「2013年属性別」は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

※②「もっている・計」=「十分もっている」・「まあまあもっている」の合算値

※②(力の程度)は①(必要と思われる能力)で選択した能力についてのみ回答 Hh.Q25

<フリーコメント> グローバル人材の育成について高校に要望すること【保護者】

- 英語に限らず外国語を話せるようにする対策をもっと実践して欲しい [東京/母親/女子]
- 外国語などの取得も大事だと思うが、自国の言語・文化・歴史などを、もっと勉強した方が良いのでは [静岡/母親/男子]
- 相手側の文化的背景や価値観を正しく理解するための見方や考え方 [神奈川/父親/男子]

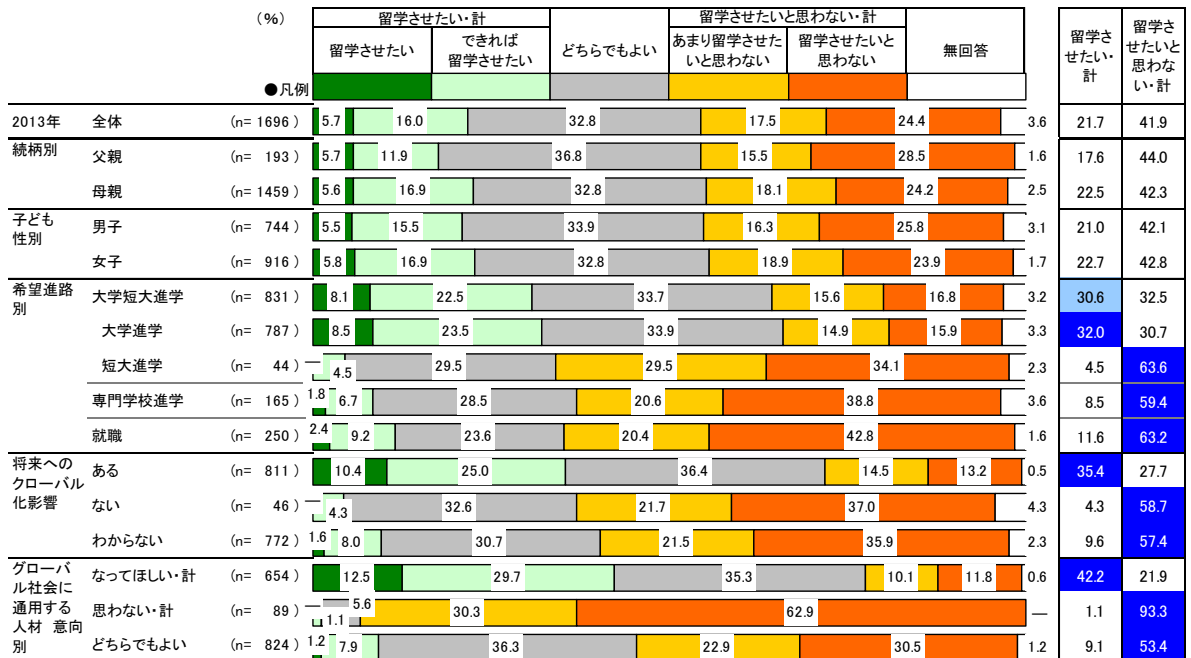
- 日本語でも良いので、伝える力と理解する力がほしい [静岡/母親/女子]
- 国内(県内)の海外の人と接する機会を増やして欲しい。グローバル経営の会社を訪問させてほしい [佐賀/母親/男子]
- 個人の性格もあるので、皆が皆、グローバル社会で通用するとは思えない。内気な性格な子供はどうすればよいのか? [富山/母親/男子]

35.子どもを留学させたいか／その理由

1)保護者の「子どもの留学」意向

- ▶子どもを留学させたいと考えている保護者は2割。留学させたいと思わない保護者は4割で、留学させたいと考えている保護者よりも多数派。
- ▶大学進学希望者の3割が「留学意向あり」。一方、短大進学・専門学校進学・就職希望者は6割が留学には否定的態度。
 - 保護者に子どもを留学させたいかどうかをきいたところ、「留学させたい」が6%、「できれば留学させたい」の16%とあわせ、子どもを留学させたいと考えているのは22%。
 - 続柄別にみると、父親よりも母親のほうが「留学させたい・計」の割合がやや高い。
 - 子ども性別にみると、「留学させたい・計」の割合は男子・女子で同程度。
 - 希望進路別では、大学進学希望者では3割が子どもの留学を希望しているが、短大進学・専門学校進学・就職希望者では「留学させたいと思わない・計」が6割を占めており、留学については否定的である。

【保護者】子どもを留学させたいか（全体／単一回答）



※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

2)留学させたい・させたいと思わない理由

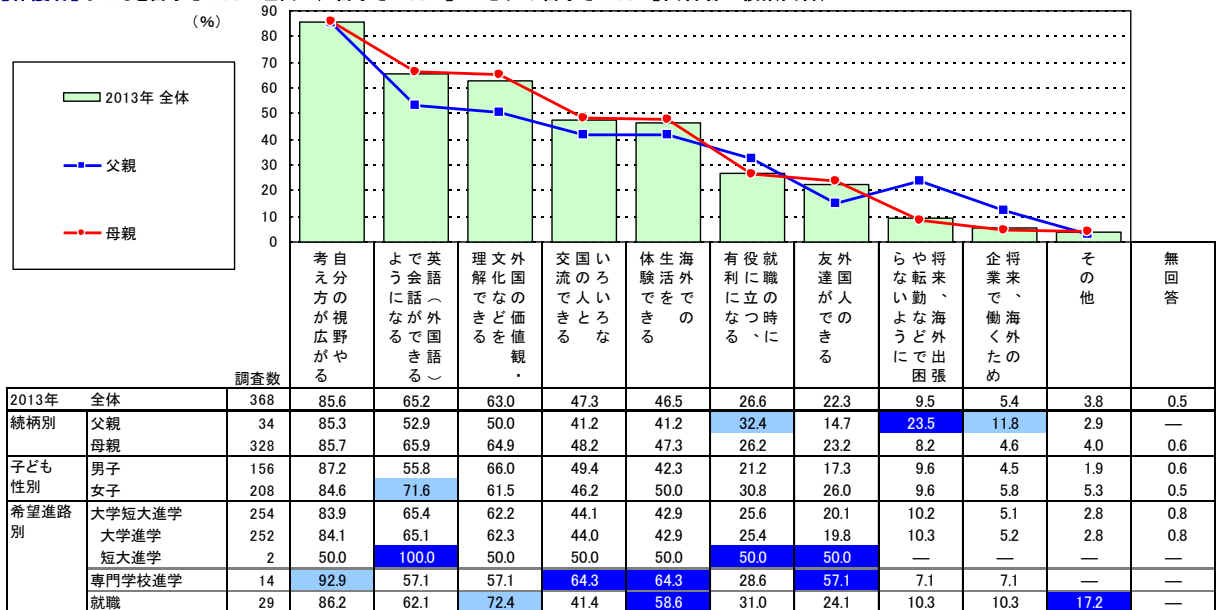
▶子どもを留学させたい理由のトップは「自分の視野や考え方が広がる」。

- 59ページの設問で子どもの留学意向がある保護者にその理由を選んでもらったところ、「自分の視野や考え方が広がる」が86%でトップ。ついで「英語で会話ができるようになる」「外国の価値観・文化が理解できる」が6割。
- 続柄別にみると、父親よりも母親のスコアが高いのは「英語で会話」「価値観・文化の理解」。一方父親のほうがスコアが高いのは「海外出張・転勤」「海外で働く」など、将来の職業・働き方への影響を考慮した項目。

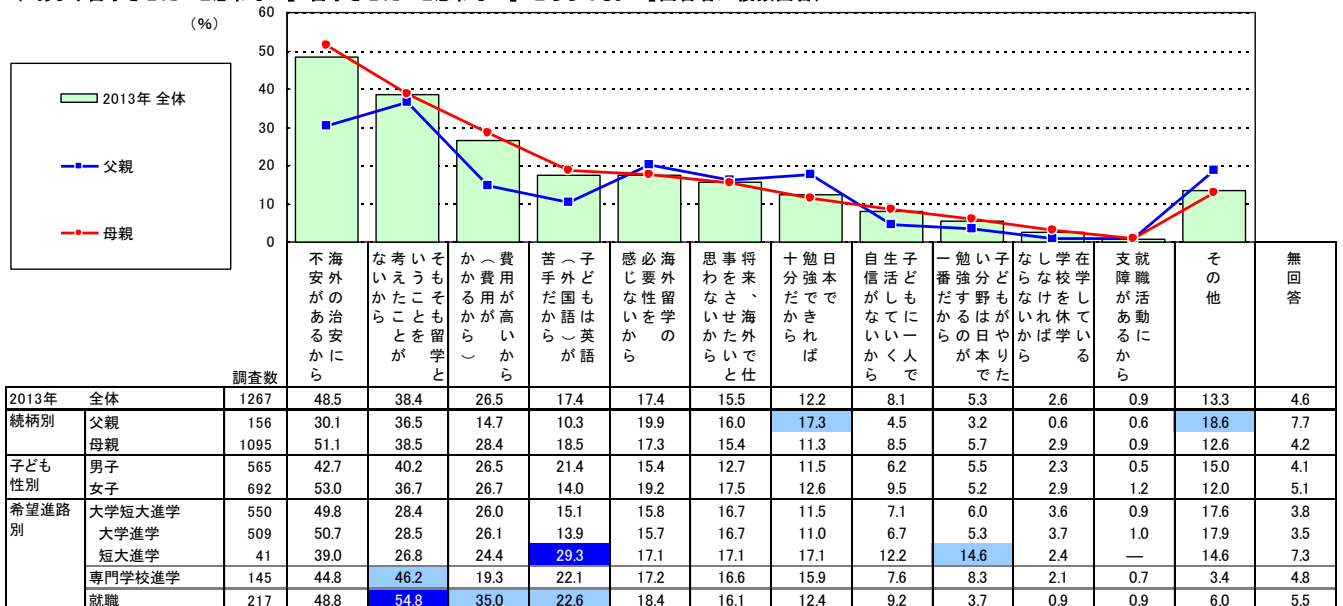
▶子どもを留学させたいと思わない・どちらでもよいと思う理由のトップは「海外の治安に不安」。

- 子どもの留学について「させたいと思わない」もしくは「どちらでもよい」と回答した保護者にも理由を選んでもらったところ、トップは「海外の治安に不安がある」で49%。ついで「留学を考えたことがない」(38%)。
- 続柄別にみると、父親よりも母親のほうが「海外の治安に不安」「費用が高い」「子どもが英語が苦手」の割合が高い。子ども性別にみると、男子よりも女子のほうが「海外の治安に不安」のスコアが高い。

【保護者】子どもを留学させたい理由（「留学させたい」「できれば留学させたい」回答者／複数回答）



【保護者】子どもを留学させたいと思わない・どちらでもよいと思う理由（「あまり留学させたいと思わない」「留学させたいと思わない」「どちらでもよい」回答者／複数回答）



※「2013年全体」降順ソート

※【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

36. 学生時代に積みたい海外経験／その理由

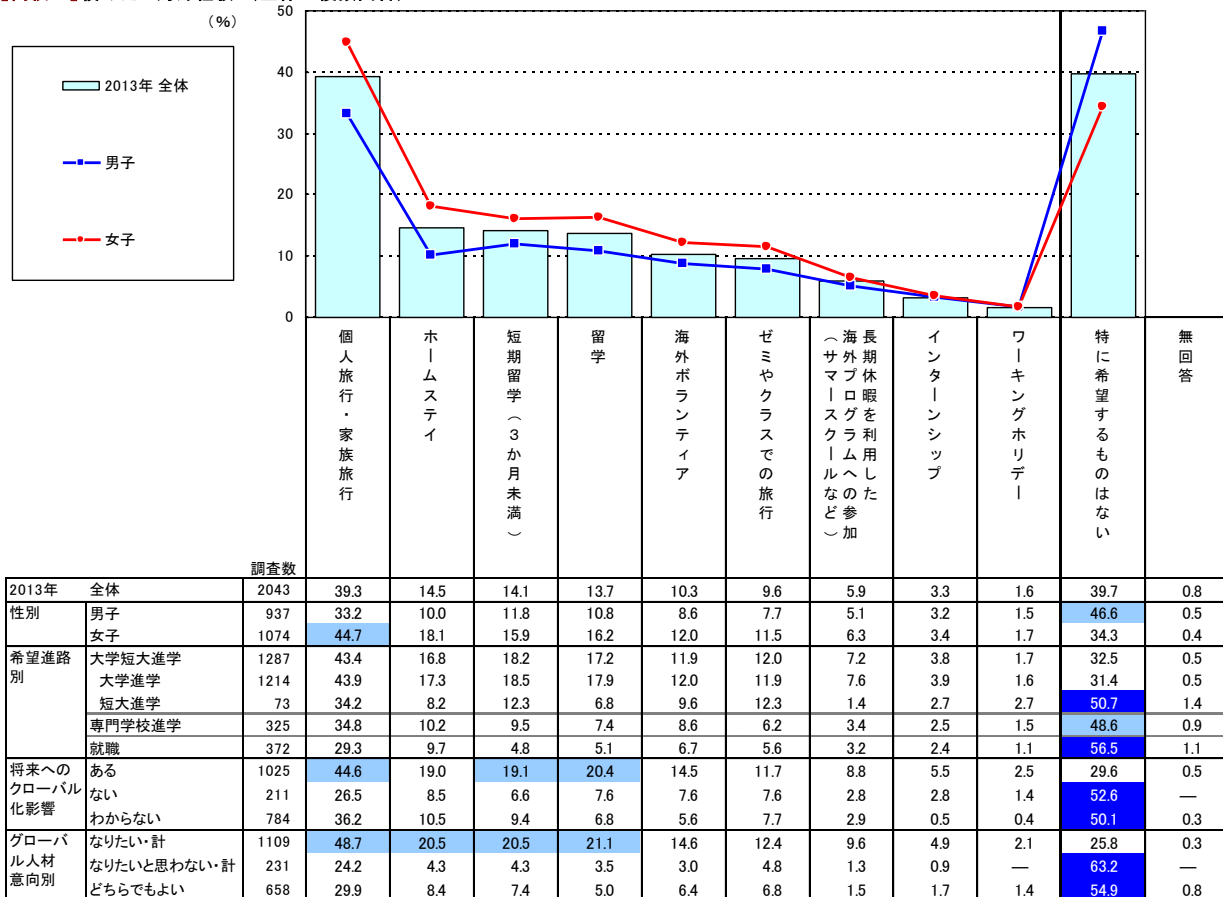
1) 学生時代に積みたい海外経験

▶ 高校生が学生時代に積みたい海外経験のトップは「個人旅行・海外旅行」。「留学」は1割強。

▶ 男子よりも女子のほうが積みたい経験が幅広い。

- 高校生に「学生時代に積みたい海外経験」をすべて選んでもらったところ、「個人旅行・家族旅行」が39%で突出。「ホームステイ」「短期留学」「留学」は1割強にとどまった。また「特に希望するものはない」は4割と、海外経験について興味を示さない者もいる。
- 性別にみると、全体に男子よりも女子のほうがスコアが高く、積みたい海外経験が幅広い。「特に希望するものはない」の回答も女子よりも男子が高く、海外経験については女子のほうが積極的である。
- 希望進路別では、大学進学希望者は他の層に比べて全体にスコアが高く、比較的海外経験に積極的である。
- 将来のグローバル化の影響を「ある」(54ページ)、もしくはグローバル社会で通用する人材に「なりたい」(55ページ)と回答した者は他の層に比べて「旅行」「ホームステイ」「留学」などのスコアが高く、海外経験を積むことに積極的である。

【高校生】積みたい海外経験 (全体／複数回答)



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け

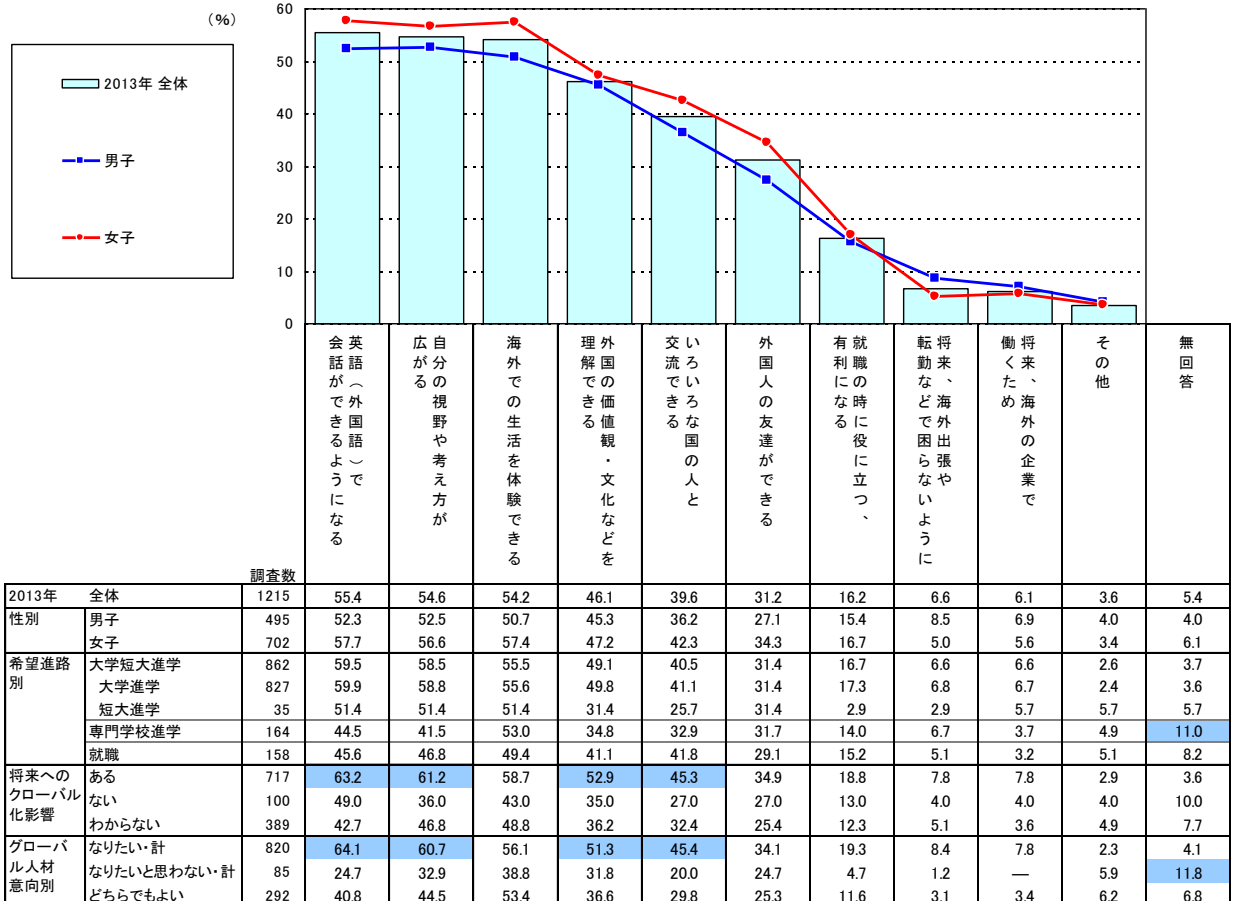
2)海外経験を積みたい理由

▶ 高校生が海外経験を積みたい理由は「英会話ができるようになる」「視野・考え方が広がる」「海外の生活を体験」。

▶ グローバル化を意識する層ほど「英会話」「視野・考え方が広がる」ことを期待。

- 61ページの設問でいずれかの海外経験を積みたいと回答した高校生にその理由をすべて選んでもらったところ、「英語(外国語)で会話ができるようになる」「自分の視野や考え方が広がる」「海外での生活を体験できる」が5割強で上位に並んだ。一方、「就職で役立つ・有利になる」など、将来の就職や仕事に関する項目は下位。
- 性別にみると、全体に男子よりも女子のほうがスコアがやや高く、海外経験に期待することが幅広い。
- 将来のグローバル化の影響を「ある」(54ページ)、もしくはグローバル社会で通用する人材に「なりたい」(55ページ)と回答した者は他の層に比べて「英会話」「視野・考え方が広がる」「価値観・文化の理解」「人との交流」などのスコアが高い。

【高校生】海外経験を積みたい理由 (いずれかの海外経験を積みたい/複数回答)



※ 「2013年全体」降順ソート

※ 【2013年属性別】は、「2013年全体」より5ポイント以上/10ポイント以上高い数値に網掛け